

雄飛

No. **46**

東北福祉大学体育会

令和7年 3月発行



東北福祉大学校歌

作詞者 扇畑忠雄
作曲者 古賀政男

天^{あまづと}伝う日の

光さやかに

青葉吹く風

胸にすずしく

丘べに立ちて

見^み放くる海よ

命ゆたかに

吾ら学ばん

真^{まこと}と法^{のり}を

ひたすら求め

ここに汲む

思索の泉

東北福祉大学応援歌

作詞者 梅沢伊勢三
作曲者 岩浪 隆
編曲者 岡崎 光治

名もかんばしき

梅檀の

双葉のほこり

高らかに

若人われら

敢然と

世紀の朝を

うちひらく

ああ ひかり

ひかり

このひかり

目 次

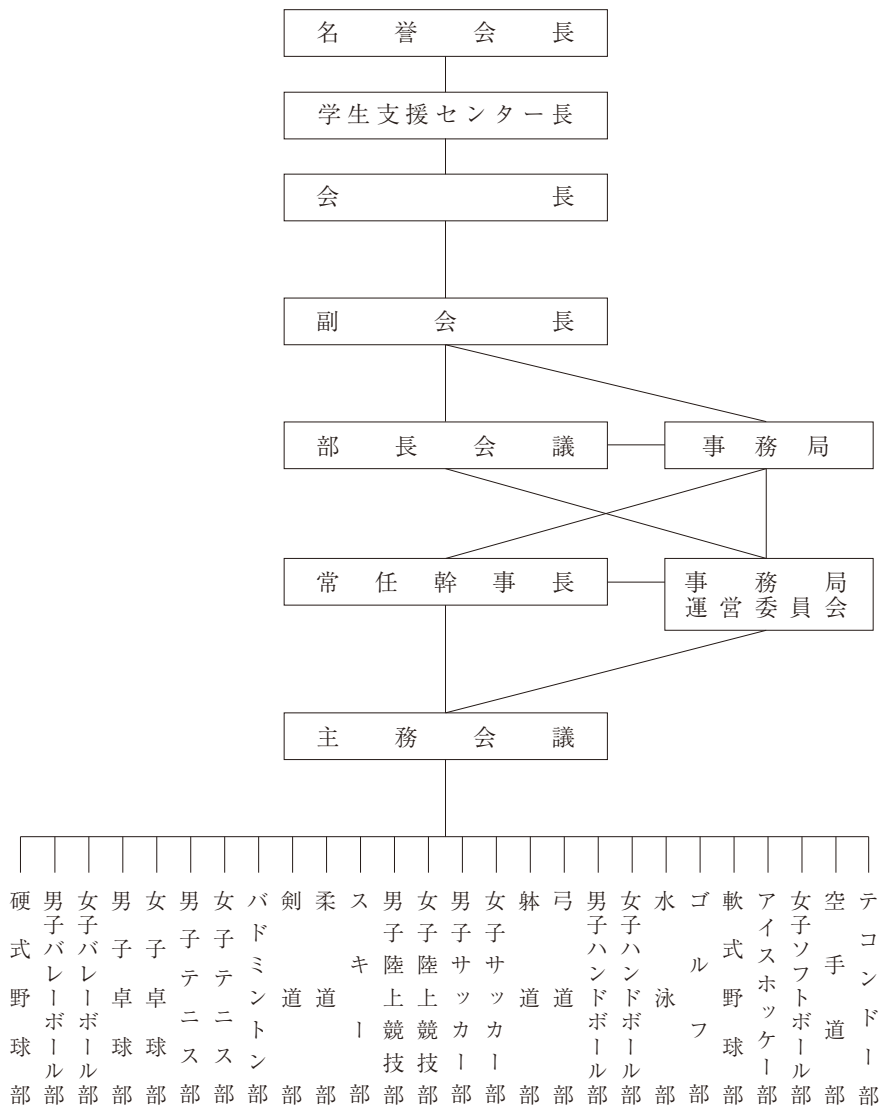
各部紹介 本年度結果報告

校 歌	1
体育会組織図	2
大学のスポーツ関連施設	3
常任幹事会	4
硬式野球部	6
男子バレーボール部	8
女子バレーボール部	10
男子卓球部	12
女子卓球部	14
テニス部	16
バドミントン部	18
剣道部	20
柔道部	22
スキー部	24
男子陸上競技部	26
女子陸上競技部	28
男子サッカー部	30
女子サッカー部	32
剣道部	34
弓道部	35
男子ハンドボール部	36
女子ハンドボール部	38
水泳部	40
ゴルフ部	42
軟式野球部	44
アイスホッケー部	46
女子ソフトボール部	48
空手道部	50
テコンドー部	52

26 部の歴史

各部紹介 我ら体育会

体育会組織図



大学のスポーツ関連施設



全天候型体育館



陸上競技場・サッカー場



野球場



武徳館



弓道場



福聚殿（体育館）



H-3GYM 内卓球場

体育会常任幹事会

会 長 渡 部 純 夫

副 会 長 阿 部 靖 彦

副 会 長 佐 藤 伊知子

幹 事 長 安 田 朋 夏 福祉心理学科 3年

副幹事長 池 田 慎 情報福祉マネジメント学科 3年・硬式野球部

活動報告

第53代体育会常任理事会です。

年度初めには体育会入会式を無事開催することができました。代が変わり、新たに発足した体育会幹事会が主体となり、顧問の先生方や教職員の方々の力をお借りしながら、滞りなく行うことができました。

8月は長野で行われた軟式野球部の大会へ、10月は仙台で開催された女子駅伝大会へ応援に駆けつけました。勝利のために懸命にプレーする野球部員、襷を繋げていく女子陸上部員の姿を間近で見ることができ、部員の方々の日々の努力や勝利に対する熱い思いを強く感じ、それに伴い我々の応援の熱も一気に上がっていったと思います。誰かを応援すること、選手側も応援する側も一体となって盛り上げられるスポーツの素晴らしさを改めて感じた経験になりました。

年度末には昨年に引き続き、主将主務研修会を開催しました。スポーツに関わる者としてどうあるべきか、また各部ごとに主将主務として今後どうしていくべきか、普段あまり交流の無い部活同士が意見を交わし、部のこれからを深く考えるいい機会になったのではないかと思います。

幹事会活動を終えて

今年度体育会常任幹事会の幹事長を務めさせていただきました安田です。

昨年度に比べ、今年度はコロナウイルスで規制がかかる以前と同じような活動ができてきたように思います。ここからさらに様々な活動を活発に行っていき、体育会、そして東北福祉大学を盛り上げていきたいと思います。

常日頃より体育会常任理事会の為に協力してくださる体育会会長・副会長の先生方や学生生活支援課の方々をはじめとする東北福祉大学教職員の皆様からご指導いただきながら活動できております。厚く御礼申し上げますと共に、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

(記 安田 朋夏)



全日本大学女子駅伝にて体育会応援メンバー

硬式野球部

部長	渡部	純夫
副部長	千幸	喜彦
副部長	阿部	靖生
監督	山路	哲平
コーチ	我妻	敏平
コーチ	諏佐	航大
主将	木下	我
主務	岩田	圭一郎

情報福祉マネジメント学科 4年

情報福祉マネジメント学科 4年

大会結果報告

令和6年度仙台六大学野球春季リーグ戦

4/13 - 5/26

準優勝

令和6年度仙台六大学野球秋季リーグ戦

8/31 - 10/13

準優勝

私たち、硬式野球部は現在、渡部部長をはじめとして山路監督・我妻コーチ、諏佐コーチの下、4年生36名、3年生35名、2年生35名、1年生36名、計142名で日々練習に励んでいます。今年度までに全日本大学野球選手権では、優勝3回(91・04・18)、準優勝5回(87・88・90・95・00)、明治神宮大会では、準優勝5回(96・98・02・05・08)という成績と共に多くのプロ野球選手を輩出してきました。

今年1年を振り返り、コロナによる制限が緩和され2年連続春季鴨川キャンプを行いました。多くの方々に支えて頂き、無事に春季鴨川キャンプを終えることができました。

しかし今年1年の大会結果としては満足のいく結果にはなりません。4月13日に仙台六大学春季リーグ戦が開幕。優勝をかけた仙台大学とのカードでは、ストレートでの敗戦。春季リーグは2年連続で仙台六大学野球の優勝を逃しました。悔しい思いを胸に夏場の練習に取り組み、8月31日から秋季リーグ戦が開幕しました。秋季リーグ戦でも仙台大学との優勝をかけたカードとなりました。仙台大学が東北工業大学に勝ち点を許す形となった為、東北福祉大学は仙台大学に1勝することで優勝が決まる展開で迎えて最終節。第一戦、仙台大学の投手の好投により3対0で敗戦。続く2戦目、5回終了時0対1と接戦の中、8回裏に同点とし試合はそのままタイブレークに入りました。10回表の攻撃は相手の好守備により惜しくも無得点となりました。その裏、バント処理をミスしサヨナラ負け、春・秋とても悔しい思いをし、明治神宮大会への道は絶たれました。

私たちの目標である「日本一」を達成する事は出来ませんが4年生を中心としたまとまりのあるチームができたと思います。また、この悔しい思いは後輩たちも感じ、このチームで何が足りなかったのか、これからどのような練習をしていけば「日本一」を達成できるのかを考え更なるチームのレベルアップに繋げてほしいです。来年度、「日本一」を必ず取るべく、これからも練習に励んで参ります。そして自分たちだけでなく、相手チームにも周りの方々にも良いチームだと思って頂けるように「三方良し」のチームを目指し日々活動して参ります。

最後になりましたが、今年度中多大なるご支援、ご協力を賜りました関係各位の皆さまに厚く御礼申し上げますと共にご指導の程宜しくお願い申し上げます。

4年間の思い出

私たち硬式野球部は、目標は「日本一」目的は「人間形成」というスローガンを掲げ、日々練習してきました。

春季リーグ戦は、優勝決定戦で敗れ準優勝という悔いの残る結果に終わりました。負けてしまった直後は、チームのまとまりが無くなってしまった時期もありました。このままではいけないと、選手間でのミーティングを増やし意見交換を重ね、次第にチームはまた一つの目標に向かってすすむことができました。

秋季リーグ戦では、あと1勝というところまで来ましたが惜しくも敗れてしまい、春季と同様に準優勝という結果に終わりました。春季と秋季の両方のリーグ戦で優勝する

ことの出来なかった悔しさは、私たち4年生だけではなく後輩たちも感じていたと思うので、この思いは後輩たちに託したいと思います。

私は昨季から主将を務めてきましたが、私1人だけではここまで来ることはできませんでした。マネージャーや学生コーチなどの学生スタッフや、4年生の幹部メンバーが支えてくれたからこそ、私は1年間主将を務めることが出来ました。この野球部で山路監督をはじめとする指導者の方々から学んだことや、経験したことを今後の人生に生かし、これからも頑張りたいと思います。

(記 木下 大我)



令和6年度仙台六大学野球秋季リーグ戦にて

男子バレーボール部

部長 佐藤 伊知子
監督 安 重 司
主将 太田 萩 也 社会福祉学科 4年
主務 山田 卓 弥 福祉行政学科 4年

大会結果報告

4月20日～5月26日

第63回 東北バレーボール大学男女リーグ戦
6位

6月19日～6月22日

第43回 東日本バレーボール大学選手権
二回戦敗退

9月21日～10月27日

第64回 東北バレーボール大学男女リーグ戦
5位

11月25日～11月30日

第72回 全日本バレーボール大学男子選手権大会
一回戦敗退

私たち男子バレーボール部は佐藤伊知子部長を始めとして、安重司監督の元、日々熱心に部活動に励んできました。今年の結果と致しましては、あまり満足のいく結果にはならず、悔しい気持ちになる事が多い1年になったと感じました。春リーグでは、入替戦にギリギリいかない6位という順位となってしまう、その要因として、チームの中での関係性や、親交度が深まっていなく、バラバラになってしまった事です。入念なミーティングや、話し合いを通して、お互いの悪いところ良いところを尊重し合う事で、徐々にチームの指揮が高まったと感じています。東日本インカレでは1回戦の札幌大学に勝利し、2回戦で日本体育大学に負けてしまいました。元からのパワーや、技術、高さ、システムが私たちとは素人目から見ても違うと感じました。しかし、とても良い学びに繋がり、秋リーグでは4位通過で全日本インカレに出場する事ができました。秋リーグもチームのモチベーションや、コミュニケーションがあまり満足のいくものでは無く、不安要素があった中での試合でしたが、春リーグで勝てなかったチームに対しての対策を全員で話し合いながらする事で、勝利につながる事が多くなり、また各学年のメンバーが自分自身の役割を持ち、それを全うできた事が、4位という結果に繋がったと思います。全日本インカレでは初戦敗退でしたが、全員が初めて同じ目標を持った試合で、チーム一丸になれた気がして、とても楽しい試合でした。私自身キャプテンをしていて、結果が伴わない事はとても悔しかったです。しかし、それよりも大事な事、例えば人間性であったり、人と人の関係性、コミュニケーション能力など、人間として成長する事を1年間やってきたので、それが後輩に伝わっていると良いなと思います。来年度は主力メンバーが多く残り、東北リーグ優勝は本当に目指せる事だと思うので、是非優勝して、次の大きな目標に向かって頑張っていって欲しいと思います。最後になりますが、沢山のご支援・ご声援をいただきました関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。今後とも東北福祉大学男子バレーボール部を宜しくお願い申し上げます。

4年間の思い出

私は同期に恵まれながらも、キャプテンという使命を任されて、辛い時期やキャプテンを辞めたい時が多くありました。しかし、同期に全員から選ばれたのだから、そんな無責任なことを言うなら、辞めてしまえと言われ、一気に火がつきました。また、私はそれほどバレーに詳しく無いので、後輩や同期が練習内容を考えてくれたり、どうすれば勝てるかを考えてくれたり、相手の対策を考えてくれたりと、チームのメンバーにはとても頭が上がりませんでした。そして引退する時も、感謝の気持ちを言われたり、寂しいと言われたり、それが建前だとしても、今までキャプテンをやってきて良かったと思います。そのくらい優秀で技術も高い選手ばかりなので、来年度は本当に頑張っただけだと思います。また、私は怪我をする事が多く、練習に参加できない日が他の人よりも多くあったと思いま

す。しかしその中で筋力トレーニングに励んだり、練習試合で動画を撮ったり、データをとったりして、出来ることを1つ1つやり、それがレシーブするときに瞬発力が上がり取れなかったボールも取れるようになったり、マイナスな事があっても、そのマイナスを努力でカバーする事で結果に繋がることを学び、とても良い経験でした。最後に4年間東北福祉大学男子バレーボール部で活動してきて、沢山の方のご支援やご声援があり自分たちが活動出来ていることを実感しました。この4年間で多くのことを学びました。満足できる結果を残すことはできませんでしたが、周りの方々にはとても感謝しています。これからも東北福祉大学男子バレーボール部の応援をよろしくお願いします。

(記 太田 萩也)



女子バレーボール部

部長	佐藤 伊知子	
監督	松田 健太郎	
コーチ	江刺 静恵	
コーチ	遠藤 友枝	(外部コーチ)
主将	本開 有紗	社会福祉学科 4年
主務	大室 友華	福祉心理学科 4年

大会結果報告

4/20～5/19

第63回東北バレーボール大学男女リーグ戦
優勝

6/19～6/22

第43回東日本バレーボール大学女子選手権大会
3回戦敗退

8/16～8/18

第78回国民スポーツ大会東北ブロック大会
バレーボール競技
優勝

10/6～10/9

第78回国民スポーツ大会バレーボール競技
1回戦敗退

9/14～9/15

令和6年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール
選手権大会東北ブロックラウンド
第3位

9/21～10/14

第64回東北バレーボール大学男女リーグ戦
準優勝

11/25～12/1

第71回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール
大学女子選手権大会
1回戦敗退

東北福祉大学女子バレーボール部は東北大会 113 連覇という輝かしい歴史があります。この連覇記録を超えられるよう、チーム一丸となって日々精進しています。過去には、東日本インカレ優勝 3 回（平成 8 年度、12 年度、28 年度）、準優勝 6 回（昭和 60 年度、平成 9 年度、11 年度、15 年度、16 年度、27 年度）、全日本インカレ優勝 1 回（平成 8 年度）、準優勝 3 回（昭和 61 年度、平成 4 年度、14 年度）という成績を収めてきました。

今年も佐藤伊知子部長をはじめ、松田健太郎監督、江刺静恵コーチ、遠藤友枝コーチの指導の下、4 年生 5 人、3 年生 4 人、2 年生 1 人、1 年生 4 人、計 14 名で「大学日本一」を目標に掲げ活動してきました。今年は全ての大会が有観客での実施となり、沢山の方々からご支援やご声援を頂きました。沢山の方々の支えがあって私達はバレーボールが出来ていることを改めて身に感じ、その方々に結果で恩返しするという強い気持ちを持って日々練習に励みました。

今年は例年とは異なり、3 月までのオフシーズンという期間にレシーブ練習だけに特化して行うのではなく、レシーブ、スパイク、ブロック、サーブの全てを練習しました。今年は去年からのレシーブの要であるメンバーが残っていることから攻撃力を上げることを優先的に練習しました。チーム全体的に身長があまり高くはないので、ブロックアウトや逆打ちという技術を身につけられるようにまずは打力を上げるトレーニングから行いました。どのプレーにおいても体の使い方、基礎から見直しました。シーズンに入ってから各大会後の反省点、課題点を中心に次の大会に向けて練習しました。

大会結果としては、春季リーグ戦優勝、秋季リーグ戦準優勝、全日本インカレでは青山学院大学に敗れ 1 回戦敗退でした。自分達の目標としていたものに遠く及ばず、悔しい気持ちと情けない気持ちでいっぱいです。達成できなかった「大学日本一」を達成できるためには何が足りなかったのか、今後どのような練習をするべきなのかを一人一人が真剣に向き合い考え、更なるレベルアップに繋げていきます。そして周りの方々に今後も応援してもらえるチームを作っていきます。

最後になりますが、沢山のご支援・ご声援を頂きました関係各位の皆様へ厚く御礼申し上げます。今後とも東北福祉大学女子バレーボール部を宜しくお願い申し上げます。

4年間の思い出

私達は4年間「大学日本一」という目標を掲げて練習してきました。様々な練習試合や遠征、大会を通して個人としてもチームとしてもレベルアップのできる良い経験をさせて頂きました。しかし、各大会でその経験を活かして結果を残すことが出来ず、悔いが残る形で終わってしまいました。今年は少人数チームならではのメリット、デメリットがあり普段の練習で試合を想定したチーム練習がしっかりと出来ない中で練習試合の機会を沢山作ってくださったことをとてもありがたく思います。日々、新しい課題と向き合って練習することが出来ました。

今年の反省としてはチームとして最上級生としての甘さだと思います。チーム全体としての雰囲気や集中力、常識、礼儀など様々なものが欠けており、本来の東北福祉大学女子バレーボール部とは程遠いチームになってしまいました。常識や礼儀、向上心などチームの当たり前を教えることが出来ませんでした。このようなことが繰り返し起こらないよう女子バレーボール部であるべき姿に戻して欲しいと思います。

東北福祉大学女子バレーボール部に入部して楽しいことも辛いことも挫折し心が折れることもありましたが、常にご指導してくださった先生方や先輩方、いつでも明るい後輩達、何事にも一緒に乗り越えてきた同期、4年間支えてくれた家族、本当に沢山の方々に支えられながらここまですることが出来ました。結果も残せないことの不甲斐なさ、悔しさで腐りかけていた時にチームに多くの応援と支えてくださる方々の温かさに何度も救われました。

4年間での多くの経験、人の温かさに感謝し、これからは私達も同じく女子バレーボール部を支えてあげられる存在となっていきます。ずっと応援し続けてくださった方々、大学までのバレーボール人生を支え続けてくれた両親、本当にありがとうございました。

東北福祉大学女子バレーボール部は必ずまた上に昇るために精進して参ります。今後も東北福祉大学女子バレーボール部の応援よろしく願いいたします。

(記 本開 有紗)



集合写真

男子卓球部

部長	大倉峰雄	
監督	須藤豊	
コーチ	田中慎也	(学外)
コーチ	菊池琢也	(学外)
主将	入江崇武	福祉行政学科 4年
主務	飯田康平	社会福祉学科 4年

大会結果報告

5月18日～5月19日
2024年度東北学生卓球連盟春季リーグ戦
兼 第93回全日本大学総合卓球選手権大会
(団体の部) 予選大会
男子団体：優勝

6月15日～16日
第76回東北学生卓球選手権大会
男子ダブルス：準優勝
男子シングルス：ベスト8

7月4日～4月7日
第93回全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部)
決勝トーナメント進出

8月26日～8月28日
2024年度東北学生秋季リーグ戦
兼 第90回全日本大学総合卓球選手権大会
(個人の部) 予選大会
男子団体：優勝
男子ダブルス：3ペア
男子シングルス：4名
全国大会出場

10月28日～31日
第90回全日本大学総合卓球選手権大会
(個人の部)
男子ダブルス：1回戦2ペア敗退
2回戦1ペア敗退
男子シングルス：1回戦4名敗退

第47回東北学生卓球連盟会長杯争奪卓球大会
男子ダブルス：優勝
男子シングルス：優勝

私たち東北福祉大学男子卓球部は現在、大倉部長、須藤監督をはじめ、4年生11名、3年生5名、2年生6名、1年生8名、計30人で日々の練習に取り組んでいます。部長を務めてくださっている大倉部長は中国代表選手として世界選手権に出場しており、男子ダブルス3位入賞という結果を残しております。その後は卓球留学生として来日し、全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)を4連覇しており、歴代最多優勝記録を持っています。創部62年目を迎える男子卓球部は、春季リーグ、秋季リーグともに、団体戦で優勝することができ、東北の代表として全国大会に出場しました。しかし、全国大会の舞台では、なかなか勝ち上がることができず、悔しい結果となってしまいました。年々卓球界のレベルは向上しており、勝ち進むことが困難になっていますが、日頃の練習に全力で取り組み、全国でも勝ち進める卓球部にしていきます。

最後になりましたが、日頃から多大なる御支援、御協力をしていただいている関係者各位の皆様に厚く御礼申し上げます。これからも部員一同誠心誠意を持って日々の活動に取り組んで参りますので、御指導、御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

4年間の思い出

私は、4年間体育会男子卓球部の一員として活動してきました。東北福祉大学男子卓球部は、これまで東北大会優勝や全国大会での入賞など、数多くの大会で実績を納めてきた伝統のある部活動です。また、私が卓球を始めた当初から東北福祉大学卓球部の方々が試合で活躍する姿を観客席の方から拝見しており、憧れを抱いておりました。したがって、伝統深き部活動でかつ私にとって特別な存在であるチームの一員として活動をできたことを非常に誇りに思います。また、大倉部長、須藤監督をはじめとするコーチの方々には、部活動や就職活動など幅広い分野において多大なサポートをしていただき、とても感謝しております。その他にも、先輩方、同期、後輩たちと卓球を通して巡り合い、毎日の辛い練習を共に乗り越えてきたこの経験は私にとって大学1番の思い出であり、一生の財産です。

4年間で数多くの思い出を作ることができました。その中で最も印象に残っていることは日々の練習です。ほぼ毎日厳しい練習に取り組みました。時には逃げ出したくなるようなこともあったのですが、部員の仲間が支えてくれたおかげで、乗り越えることができました。また、深夜遅くまで卓球について仲間と語り合い、次の練習に寝不足の状態に参加していた日々は私にとって最高の思い出であ

り、宝物です。このような経験から、自分1人の力には限界があるということを学ぶことができました。もし仮に、最高の部員に出会うことができていなかったら、私は今頃挫折を乗り越えることができず、途方に暮れていたでしょう。「仲間」というかけがえのない存在がいたからこそ、困難を乗り越え充実した大学生活を送ることができたのです。仲間と協力することで私たちの可能性は無限大に広がるという大切なことを大学部活動で学ぶことができました。加えて、先輩方は私たちに道標を示してくれるお手本のような存在であり、同期や後輩はチームメイトでありながらライバルといった、とても良い関係を築くことができました。改めて、1つの目標に向かってチームが団結することの素晴らしさについても気が付くことができました。

最後に、私自身卓球に全力で打ち込むことができたのは多くの方が支援してくださったおかげです。また、その中でも1番近くで約16年間もの間サポートしてくれた両親には本当に感謝しております。卒業後は、今まで支えてくださった方々への感謝と恩返しの気持ちを胸に刻み、新天地において新たな夢に向かって日々精進して参ります。4年間、本当にありがとうございました。

(記 入江 崇宗)



女子卓球部

部長 本間 雅人
監督 岩周 宏展
コーチ 須藤 豊
主将 三浦 亜加莉 社会福祉学科 4年
主務 佐藤 理佳子 医療経営管理学科 4年

大会結果報告

2024（令和6）年度春季リーグ戦
第93回全日本大学総合卓球選手権大会（団体の部）
予選会（2024年5月18日～19日）
女子団体 団体準優勝

第76回東北学生卓球選手権大会
（2024年6月15～16日）
女子ダブルス 準優勝
女子シングルス 優勝

第93回全日本大学総合卓球選手権大会（団体の部）
（2024年7月4日～7日）
予選リーグ 2位通過

2024（令和6）年度秋季リーグ戦
第90回全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）
予選大会（2024年8月28～31日）
女子団体 団体優勝
全日学 ダブルス3組・シングルス7名通過

第90回全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）
（2024年10月28日～31日）
9名出場

第47回東北学生卓球連盟会長杯争奪卓球大会
（2024年11月2日～3日）
女子ダブルス 準優勝
女子シングルス 優勝

第20回全日本学生選抜卓球選手権大会
2名出場

私たち体育会女子卓球部は、本間部長をはじめ岩周監督のもと、4年生6名、3年生4名、2年生2名、1年生3名の計15名の選手で日々活動を行っています。今年は、昨年に引き続き東北学生卓球選手権3冠を達成することはできませんでしたが、全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）にダブルス4枠中3枠、シングルス8枠中7枠を獲得することができました。

学業との両立を第一に日頃の練習では、選手一人一人が課題意識を持って練習に取り組んでいます。監督・コーチの方には、休日にもかかわらず熱心に指導をしていただいています。女子卓球部では、「日本一を目標に単に卓球技術の向上だけでなく、人間としても向上していけるように努力を重ねる」というチームの目標のもと卓球技術はもちろん、社会に出た時に必要な礼儀作法も指導していただいています。これからも体育会女子卓球部の伝統ある歴史を受け継ぎ、全国大会での上位進出を目指して練習に取り組んでいきます。

最後となりましたが、今年度中にも多大なるご支援・ご協力いただきました関係者の皆様、活動にご理解・ご声援いただきました保護者の皆様、OB・OGの皆様、ご指導いただきました先生・監督・コーチの方々に厚く御礼申し上げますと共に、さらなるご指導の程よろしくお願い申し上げます。

4年間の思い出

私たち6名の4年生は、多くの方々に支えられながら学業と部活動を両立させ、無事に大学生活を終えることができました。1年生の時、当時4年生の先輩方がコロナウイルスの影響で最後の大会が中止となり、悔しい思いをされている姿を目の当たりにしました。その時、「自分たちが4年生になった時、大会に出られることや練習ができることがどれだけありがたいことなのか」を強く実感しました。

入学当初、私たちはなかなか良い成績を残すことができず、先輩方に追いつくことが精一杯でした。しかし、時間と共に技術を向上させ、合わせて精神的にも大きく成長することができました。その結果、東北学生選手権で優勝し、インカレで活躍できる選手にもなれたと実感しています。

他学年と比べて同期の人数が多かった私たちですが、その仲間たちが私にとって大きな支えとなりました。私がキャプテンに就任してからは、仲間の支えを最も頼りにしており何度も助けられました。同期には本当に感謝

しています。

一人の大人として、この4年間で多くの成長を遂げるために、悩みや苦しみを乗り越えながら様々な経験を積むことができました。その経験が社会人としての糧になると思います。これまでの努力が決して無駄ではなかったと、今改めて実感しています。

最後になりますが、チームを支えながら大人としての礼儀を教えてくださいました部長、技術を惜しみなく教えてくださいました監督、常に私たちの味方でいてくれた保護者の皆様、最後まで共に歩んでくれた後輩、そして一緒に頑張ってくれた同期の皆に心から感謝申し上げます。また、卓球を通じて多くの方々と交流し、その方々にも沢山お世話になりました。これまでの全ての出会いが今の私たちを人として成長させてくださいました。本当にありがとうございました。

この4年間で得た経験を、社会に貢献する形で恩返しできるよう、これからも精進していきます。

(記 三浦亜加莉)



テニス部

監督 菅原隆志
外部コーチ 今野優子（学外）
主将 葛西伶音 医療経営管理学科 4年
主務 吉川柊太 福祉行政学科 2年

大会結果報告

- 第62回宮城学生ソフトテニス春季選手権大会
第3位 小野・葛西組
ベスト8 齋藤（楓）・廣谷組、村田・石田組、吉川・吉田組
- 第66回会長杯争奪東北学生ソフトテニス大会
団体 準優勝
- 第44回東北学生男子ソフトテニス春季選手権大会
第3位 齋藤（楓）・廣谷組
ベスト8 小野・葛西組
ベスト8 村田・石田組
- 第23回東北学生春季シングルス選手権大会
優勝 小野 智史
準優勝 齋藤 楓雅
- 第7回東北学連杯争奪東北学生ソフトテニス大会
団体 優勝
- 第72回東北学連杯争奪東北学生ソフトテニス選手権大会
第3位 小野・葛西組
第3位 齋藤（楓）・廣谷組
ベスト8 村田・石田組
- 第29回東北学連杯争奪東北学生ソフトテニスシングルス選手権大会
準優勝 佐藤 太登
第3位 齋藤 楓雅
- 第74回東日本大学対抗ソフトテニス競技大会
団体 二回戦敗退
- 第79回東日本学生ソフトテニス選手権大会
二回戦敗退
- 第67回東日本学生ソフトテニスシングルス大会
ベスト64 村田 優斗
- 第78回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会
団体 1回戦敗退
- 第79回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会
ベスト64 齋藤（楓）・廣谷組
- 第81回東北学生ソフトテニス競技大会
団体 準優勝 Aチーム
ベスト8 Bチーム
ダブルス 準優勝 齋藤（楓）・廣谷組
ベスト8 吉川・吉田組
シングルス 優勝 小野 智史
第3位 齋藤 楓雅
- 第46回宮城学生ソフトテニス秋季リーグ
団体 第3位
- 第62回宮城学生ソフトテニス秋季選手権大会
第3位 鈴木（謙）・廣谷組
ベスト8 齋藤（楓）・石田組
- 第44回宮城学生ソフトテニス新人選手権大会
ベスト8 工藤・齋藤（運）組
- 第35回宮城学生ソフトテニスシングルス選手権大会
雨天のため中止
- 第54回東北学生選抜ソフトテニスインドア選手権大会
ベスト8 小野・葛西組
齋藤・廣谷組

私たちテニス部は、菅原隆志監督、今野優子コーチの元で活動しています。現在、4年生4名、2年生6名、1年生9名の計19名となっております。

昨年度勝ち取る事の出来なかった東北地区優勝と全国大会上位入賞を目標に部員全員が意見を出し合い、練習内容及び練習日程を決めました。また、個々の課題練習時間を設け、助言し合いながら部員間の信頼も強固なものに出来たと思います。

全国大会入賞こそ届きませんでしたが、昨年達成することの出来なかった東北地区団体優勝を成し遂げることが出来ました。コロナウイルスにより大会自体無くなることもありましたが、過去4年間届かなかった東北地区優勝をしたことはこれからの弊部にとって結果以上に大事な一步になることを確言しています。全国大会上位入賞は成し遂げられませんでした。今年度の活動で積極的に意見を出し、意思決定に関わり、いいチームを作る過程に大きく携われたことは現2年生にとって非常に有意義な年だったと考えています。

また、今年度は昨年以上に多くの方の支援下にあることを強く感じました。毎日出勤前に来て指導して下さる監督、週末にはコーチや卒業生及び現実業団の選手が足を運んでくださいました。本年の取り組みを継続しつつ、常に感謝を忘れず、外部の方からも良い評価をされる組織を築いていきます。また、来年度の目標に対しても全部員同じ方向を向き、適宜活動を評価しながら歩んでいきます。最後になりますが、皆様の手厚い支援下に部が運営できること、感謝の念に堪えません。関係各位の皆様に厚く礼申し上げます。

今後とも皆様の温かいご声援の程宜しくお願い申し上げます。

4年間の思い出

初めに、弊社で活動できたことを誇りに思うと共に関係各位の皆様に感謝申し上げます。

活動を振り返ると、常に人に恵まれていたなと感じます。多くの先輩方が技量・人格共に優秀で、私が評価するに余りある方々ばかりでした。技量の無い私に対しても冷遇せず、指導していただきながら、共に考えてくれました。また、後輩にも非常に恵まれました。

私の方針や指導を真摯に受け止め、実行してくれました。私にとって今までで最高の後輩だったと思います。そして、最高の同期を持ちました。私の方針を理解し、チームに浸透するように努めてくれていたと感じます。また、私の説明をより細分化して後輩に伝えてくれていたことも感謝しています。最後に指導者に恵まれたと心から思います。菅原監督は実績・人格共に弊社には勿体ない方だと

常々感じていました。部活動を始め、学校生活、就職活動においても常にサポートしていただき、感謝してもしきれないと感じています。また、コーチもお身体の調子が良くない時でも顔を出していただきご指導してくださったことを忘れません。私及び弊部は非常に人に恵まれていた環境だと強く思います。

後輩へのメッセージとして、自己分析をしてください。まずは自分がどんな人間か分析し、自身の強み弱み、特徴を知ってください。それによって活動にどんな影響が出るのかを考えてください。そして、チームに貢献するように努めてください。常に俯瞰し、感謝の念を忘れないようにしてください。こんな偉そうに言っていますが、私より人格者で常について来てくれた君たちが好きです。今までありがとう。

(記 葛西 伶音)



バドミントン部

部 長	五十嵐 守
監 督	谷 内 貴 昭
男子主将	橋 爪 良 介 産業福祉マネジメント学科 4 年
男子主務	小 野 玲 来 産業福祉マネジメント学科 1 年
女子主将	藤 原 里 菜 医療経営管理学科 3 年
女子主務	佐 藤 瑞 姫 社会福祉学科 1 年

大会結果報告

令和6年度 春季リーグ戦

2024年5月12日(日)～5月17日(金)

男子団体 二部リーグ 1 位

女子団体 一部リーグ 3 位

女子シングルス

熊谷 雅 2 位

佐藤 瑞姫 8 位

女子ダブルス

熊谷 雅・志田 遥 2 位

藤原 里菜・佐藤 瑞姫 5 位

混合ダブルス

橋爪 良介・志田 遥 3 位

須藤 暉斗・藤原 里菜 4 位

令和6年度第67回東日本学生バドミントン選手権大会

2024年9月5日(木)～9月13日(金)

男子団体一回戦敗退

女子団体一回戦敗退

令和6年度第75回全日本学生バドミントン選手権大会

2024年10月10日(木)～10月16日(水)

女子シングルス

熊谷 雅 一回戦敗退

女子ダブルス

熊谷 雅・志田 遥 一回戦敗退

混合ダブルス

橋爪 良介・志田 遥 一回戦敗退

須藤 暉斗・藤原 里菜 一回戦敗退

令和6年度 東北学生バドミントン秋季リーグ戦

2024年11月11日(月)～11月13日(水)

男子団体 二部リーグ 1 位

女子団体 一部リーグ 2 位

令和6年度東北新人学生バドミントン選手権大会

2024年12月1日(日)～12月5日(木)

男子団体 2 位

女子ダブルス

佐藤 瑞姫・永岡 由帆 3 位

私たちバドミントン部は、五十嵐部長をはじめ谷内貴昭監督の下、男子8人(4年生1名、3年生1名、2年生1名、1年生5名)と女子4名(3年生3名、1年生1名)の計12名の選手で日々活動を行っています。今年度はフィジカル面、メンタル面強化を中心としたノックなどの練習を多く取り入れ、限られた時間の中で選手一人一人が自分の課題を見つけ出し、切磋琢磨しあいながら課題を克服しどんなに厳しい練習でも乗り越え、質の高い練習をすることができたと思います。

春リーグでは男女ともに団体戦での全日本インカレの出場を逃してしまいましたが、個人戦では女子シングルス・ダブルスと混合ダブルスで全日本インカレの出場権を獲得しました。男女ともに団体戦で勝つことができず悔しい結果となってしまいましたが、少ない人数の中でも確実に全員が一步步成長できていると感じています。来年度は新入生も入部するので、全種目全日本インカレ出場を目指して、心技体の強化、チームとしての強さを試合で発揮したいと思います。

最後になりましたが、たくさんのご支援・ご声援を頂きました関係各位の皆様には厚くお礼申し上げますとともに、今後とも東北福祉大学バドミントン部のご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

4年間の思い出

今年度は、春季、秋季リーグともに男子団体戦で一部復帰することが出来ず終わってしまったのがとても悔しいです。私と若手メンバーが主力となるチームだったため、戦略的な考え方や力量をしっかり頭に入れることが出来ず、団体戦で勝ち上がる難しさを痛感した1年でした。一人一人違う個性があり、能力も違う、その中でどれだけ自分を追い込めるか理解できるかで目標の自分に近づけるということを4年間、通して感じました。また、最上級生になり今まで以上に自分の周りへの視野を広げて考えなければならぬことが難しく最後の1年を振り返ると主将として至らない点が多かったです。それでも、個人戦のミックスダブルスで全日本インカレに出場することができたのは、「ペアを組んでくれた子がいるということ」や「自分の努力が結果につながった。」というだけではなく、4年間多くの方からご指導をいただき、支えられていたからこそその結果だと思っています。全日本インカレに出場したことがゴールでは

なかったのですが、私が思い描いていた未来は甘くはありませんでした。これからは、バドミントンを通して様々な方に楽しさや素晴らしさを提供できるようにサポートしていきたいです。後輩たちには私では成し遂げることのできなかったことをできる力はあると思うので、自分自身と見つめ合ってみんで切磋琢磨して成長してほしいと心から願っています。最後に、東北福祉大学で4年間バドミントン部として活動してきて、たくさんの方々からご支援・ご声援があってこそ私たちが活動できていることを実感しました。4年間このチームで経験したことは私たちにしかできなかったことばかりで、多くのことを学ばせていただきました。悔いの残らない結果を残すことはできませんでしたが、これまで皆様からの手熱いサポートには感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。今後ともご指導・ご声援の程よろしく願いたします。

(記 橋爪 良介)



剣道部

部 長	金	義	信
監 督	太	田	善
監 督	田	村	佑
コーチ	伊	藤	雄
コーチ	石	橋	力
主 将	小野寺	蓮	産業福祉マネジメント学科 4年
主 務	千 葉	昂	医療経営管理学科 3年

大会結果報告

第72回東北学生剣道選手権大会及
第72回全日本学生剣道選手権大会 東北予選
第58回東北女子学生剣道選手権大会及
第58回全日本女子学生剣道選手権大会 東北予選

5月26日(日) 塩釜ガス体育館
男子個人
2年 木川 魁理 (福祉行政学科)
ベスト16 全国大会出場決定

令和6年度東北地区大学体育大会 剣道の部
6月30日(日) 青森県立武道館
男子団体、女子団体 予選リーグ敗退

第72回全日本学生剣道選手権大会
6月30日(日) 武蔵野の森総合スポーツプラザ
男子個人 一回戦敗退

第72回東北学生剣道優勝大会
第72回全日本学生剣道優勝大会 東北予選
第50回東北女子学生剣道優勝大会
第43回全日本女子学生剣道優勝大会 東北予選

9月15日(日) 塩釜ガス体育館
男子団体、女子団体 予選リーグ敗退

第3回東北学生剣道新人大会 団体の部・個人の部
11月30日(土)～12月1日(日) 名取市民体育館
団体の部 男子団体・女子団体 一回戦敗退
個人の部 最高成績 男子個人 3回戦敗退

第18回全日本学生剣道オープン大会
12月14日(土)～12月15日(日)
カメイアリーナ仙台 (仙台市体育館)
男子三段以上の部
団体戦 4チーム出場 予選リーグ敗退
女子三段以上の部
団体戦 2チーム出場 予選リーグ敗退
男子二段以下の部
個人戦 決勝トーナメント 1回戦敗退
女子二段以下の部
個人戦
1年 千坂 双葉 ベスト16 敢闘賞

私たち剣道部は、4年生7名、3年生8名、2年生5名、1年生8名合計28名にて週5日国見々丘第1キャンパス「武徳館」1階剣道場において、本学剣道部の修行の精神「心法」の教えのもとに、「剣道の理念」である『剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である』を志し、日々稽古に励んでおります。また、毎日の稽古は勿論「学業」にも積極的に取り組んでおり、部員1人ひとりが様々な活動を通して社会に必要な実践力を身に付け、4年間の大学生活を充実させております。今年度の大会結果としましては、第72回東北学生剣道選手権大会で男子個人13位に入賞しその結果第72回全日本学生剣道選手権大会に出場しましたが1回戦敗退という悔しい結果になりました。大会を通じて全国の層の厚さを感じ、全国の中で勝ち上がれる力をつけなければいけないと感じました。この1年間活動していく中で多くの気づきや経験をすることができました。その中で「日々の練習の大切さ」、「部員全員が同じ目標に向かって取り組むこと」の大事さを改めて感じることができました。この悔しい思いを忘れずに稽古を行います。また、他大学との練習試合を多く取り組み、他の大会に向け、部内全体の結束力を高めていき、切磋琢磨の精神で、自分達のマイナス部分をすべてプラスに変え男女アベック全国大会で優勝を目指し精神して参ります。最後になりますが、今年度多大なる御指導、御協力を賜りました先生、先輩方、関係各位の方々に厚く御礼を申し上げます共に、今後変わらぬ御指導、御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

4年間の思い出

私たち東北福祉大学剣道部4年生は、男子6名女子1名計7名で活動し先生方や外部コーチやOB・OGの皆さんに手厚いご指導の下部活動に励んできました。

この4年間はとても充実した日々を送ることができ、私自身剣道だけではなく多くの事を学べたそんな4年間でした。

1年時には新型コロナウイルスの影響で感染防止の為練習時間の短縮、人数を分けての練習、行事、大会等の中止と思うように練習が出来ない日々が続き不甲斐ない日々多く過ぎてきました。2.3年時では後輩ができ先輩として自覚を持ち、新型コロナウイルスも終息し当たり前前に練習出来る事に感謝をしながら選手権大会、優勝大会に向け練習に励みました。

その結果男子個人全日本学生選手権大会出場、女子団体全日本女子学生剣道優勝出場という結果が出せました。4年時では先輩方が引退し今までは先輩方が引っ張ってききましたが今度は私たちの学年が中心となり新たな気持ちで臨もうと部員全員で同じ方向性で気持ちを1つに切磋琢磨し日々の練習に励みまし

た。

時には稽古だけではなく部全体がよくなるように練習内容について部員全員でミーティングする時間を設けその際には先輩後輩関係なしに意見言い合う時間を作り良い関係性が出来今の部活動を続けられているのだと思います。

この4年間は、私たちだけで活動できたのではなく様々な方の協力がり、支えてくださった先生方、外部コーチ、OB・OGの先輩方の皆さんが私たちの良い所を伸ばし、可能性を引き出す為に多くの時間、労力をかけていただきました。技術の指導の指導だけではなく、時には精神的なサポートなど学生の視点から親身になり支えてくださいました。本当にありがとうございました。

最後になりますが、この4年間の経験学んだ事を今後の社会人人生に活かして日々精進していきたいと思います。

そして東北福祉大学体育会剣道部の今後のさらなる活躍を願っています。

4年間ありがとうございました。

(記 小野寺 蓮)



柔道部

部長・男子監督	三浦友和	
コーチ・女子監督	五戸芳	
コーチ	川畑雅孝	
コーチ	高橋美奈	
主将	笹森翔夢	総合マネジメント学部、産業マネジメント学科 4年
主務	蝦名琴音	社会福祉学科 3年
副主務	西出寛吾	社会福祉学科 3年

大会結果報告

男子

2024・7・7 全日本ジュニア体重別選手権大会
東北予選

100 超級 菅原 道生 優勝

2024・8・31 東北学生体重別選手権大会

60 キロ級 大坂 颯希 第2位

100 超級 菅原 道生 第2位

女子 東北学生柔道優勝大会

女子五人制 第2位

私たち柔道部は、三浦部長をはじめ、五戸コーチ・川畑コーチ・高橋コーチのご指導の下、4年生9名、3年生11名、2年生9名、1年生7名の36名で活動してきました。

男子は7月に行われた全日本ジュニア体重別選手権では3年生の菅原道生が優勝しました。また秋田県武道館で行われる、東北学生柔道体重別選手権大会で4年生の大坂颯希と3年生の菅原道生が2位となり全国大会に出場しました。女子も東北学生優勝大会では、女子五人制団体で2位となり全国への切符をつかみました。今年は、北海道と東北の大学を集めて開催された北日本錬成大会や新潟食料農業大学での合宿稽古、山梨学院大学への出稽古など男女ともに様々な形で練習に取り組んできました。

また課題としていた筋力強化という面では五戸コーチのトレーニングに加え、道場内にトレーニングルームを設置し個々が大会で成果を出せるように励んでいます。

これからは、現3年生にとって最後の大会となる春の大会を見据えて練習に取り組み、男子は、悔しくも今年度達成できなかった団体戦で全国大会に出場するという目標、女子は、全国大会で一勝するという目標を実現できるよう、また、個人戦では1試合でも多くの勝利をつかめるように頑張っていきます。選手・主務一丸となって努力して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

4年間の思い出

入学当初は、大学の柔道部のレベルの高さに圧倒され、自分がこの環境でやっていけるのか不安に感じたことを覚えています。しかし、先輩方や同期、そして後輩たちと共に切磋琢磨するうちに、次第に自信がつき、柔道を通じて多くのことを学びました。

三年生の八月からは主将を務めさせていただきました。主将を任された以上チームとして団体戦全国出場を目標に掲げてきました。部員一人一人が意識を持ってついてくれたことで部を運営することができました。しかし、目標は叶いませんでした。私の力不足です。減量や怪我人が多くそれぞれ故障を抱

えながら戦った部員達、また部活動やそれ以外も全面的にバックアップしていただいた先生方、設備を整えてくれたOB.OG 保護者の皆様、本当にありがとうございました。

また後輩達には柔道だけの人間になってほしくないです。今活動できていることを当たり前だと思わず、周りの方々への感謝を忘れず敬意を払って柔道やそれ以外の目標を叶えてください。また、三浦監督を胸上げされることを楽しみにしています。

本当に四年間ありがとうございました。

(記 笹森 翔夢)



スキー部

部 長	佐々木 栄太郎
監 督	佐々木 栄太郎
コーチ	平 間 正 志 (学外)
コーチ	八 島 徹 也 (学外)
主 将	浅 井 征 人 社会福祉学科 3 年
主 務	宮 坂 涼 太 社会福祉学科 4 年

大会結果報告

第 98 回全日本学生スキー選手権大会 (2025 年 2 月 20 日～2 月 22 日開催)

男子 2 部 10 km フリー	22 位	村田 和久
女子 2 部 5 km フリー	優勝	中嶋 愛優
	10 位	落合 楽
男子 2 部大回転	20 位	浅井 征人
	32 位	中野渡慶大
	50 位	小沼 一哉
	59 位	菅井 幸杜
男子 2 部 15 km クラシカル	33 位	村田 和久
女子 2 部 10 km クラシカル	優勝	中嶋 愛優
	6 位	落合 楽
男子 2 部回転	7 位	中野渡慶大
	25 位	浅井 征人
	38 位	菅井 幸杜
	DS	小沼 一哉 (記録なし)
団体成績 男子 2 部	総合 19 位	
女子 2 部	総合 8 位	

スノーボードアルペンジュニア世界選手権大会 (2025 年 3 月 4 日～6 日開催)

パラレルジャイアントスラローム	39 位	戸田 琉冬
パラレルスラローム	20 位	戸田 琉冬
混合パラレルスラローム	23 位	戸田 琉冬 他 1 名

今年度スキー部は、男子 7 名と女子 3 名の計 10 名、そのうち、アルペン競技 5 名、クロスカントリー競技 4 名、スノーボードアルペン競技 1 名で活動してきました。オフシーズンの練習では、ランニングやウエイトトレーニング、そして、それぞれの種目に合わせた練習メニューを組み、長期の合宿にも臨んできました。

今年度の結果としては、第 98 回全日本学生スキー選手権大会で、クロスカントリースキー競技で女子部員が 2 種目優勝のほか、アルペン競技とクロスカントリースキー競技で男女 1 名ずつ入賞という結果を残すことが出来ました。この他にも、国民体育大会・ジュニア世界選手権大会への出場なども果たし、個々が目標に向かって大会に挑んできました。

このような結果を残すことが出来たのは、監督・コーチをはじめ、応援して頂いた OB の皆様等、練習や大会での指導や心強いサポートのおかげだと思っております。関係者皆様に感謝申し上げます。今後も、競技力の向上に努め、東北福祉大学体育会スキー部を盛り上げていけるよう、努力して参ります。チームでより一層練習に励んでいきますので、これからもご指導とご声援の程よろしくお願い致します。

4年間の思い出

私は高校まで基礎スキーを中心に活動していたため、大学入学と同時に本格的にアルペン競技に挑戦しました。スキーを履けない夏場の陸上トレーニングや長期間の合宿など、すべてが初めての経験で慣れるまで時間がかかりましたが、先輩方や後輩たちのおかげで充実した4年間で過ごすことができました。

また、入学当初、新型コロナウイルスの影響によって、練習や合宿などの活動に制限がかかる状態が続きましたが、そんな中でも自

分たちが今できる事を考えながら活動した事は、今後の社会人生活にも生かしていきたいと思っています。

最後に部長をはじめ監督やコーチ、OBの皆様や保護者、部活動の仲間たちなど、すべての関係者の皆様、多大なご支援、ご協力賜り、部員を代表致しまして厚く御礼申し上げます。今後とも東北福祉大学体育会スキー部のご声援の方を宜しくお願い致します。

(記 宮坂 涼太)



男子陸上競技部

部 長	太 田 義 久
監 督	永 浦 和 也
駅伝監督	和 気 恭 平
主 将	齋 藤 陸 杜 社会行政学科 4 年
主 務	齋 藤 俊 弥 医療経営管理学科 3 年

大会結果報告

5/31～6/2

第 77 回東北学生陸上競技対校選手権大会

男子 400 m 第 1 位 菊池 拓哉

男子 100 m 第 3 位 日下 秀也

男子 4 × 400 mR 第 3 位
(日下・工藤・櫻庭・菊池)

8/12～8/14

第 46 回北日本学生陸上競技対校選手権大会

男子 100 m 第 1 位 日下 秀也 最優秀選手賞

9/19～9/22

天皇賜盃第 93 回日本学生陸上競技対校選手権大会

男子 100 m 出場 日下 秀也

男子 400 m 出場 菊池 拓哉

男子 4 × 400 mR 出場 東北福祉大
(菊池・佐藤・櫻庭・工藤)

私たち男子陸上競技部は現在、4 年生 8 名、3 年生 3 名、2 年生 7 名、1 年生 2 名、大学院生 1 名、計 21 名で日々の練習に励んでいます。

今年度の結果として、昨年に引き続き第 93 回日本学生陸上競技対校選手権大会において男子 4 × 400 mR と男子 400 m に出場し、さらに、今年度は男子 100 m でも出場することができました。3 種目予選敗退という悔しさの残る結果とはなりましたが、それぞれが自身の持つ力を最大限に発揮できるよう試合に向けた調整を重ね、全力で挑みました。また、第 46 回北日本学生陸上競技対校選手権大会では、日下秀也(1 年)が 100 m で追い風参考記録ながらも“10.16 秒”という大記録を出し、最優秀選手賞に選ばれました。これまでなかなか選出されることがなかった北日本規模の大会における最優秀選手賞は、チームにとっても大きな励みとなり、大変喜ばしい出来事でした。今後のさらなる成長につながる貴重な経験となりました。

次年度は、全日本インカレへの出場や東北・北日本インカレでの上位入賞、自己ベストの更新など自身の目標を 1 人でも多くの選手が達成できるようにこれまでに培ってきた経験や課題、悔しさを心に刻み、さらなる努力を重ね、競技力向上に努めていきたいと思えます。そして競技力向上だけではなく、1 人の人として成長し、礼儀や責任感など社会に出ても活躍できる人間性を養っていけるチームを目指していきます。

最後になりますが、今年度も多くの皆様から温かいご声援やご支援を賜り、心より感謝申し上げます。皆様の支えがあったからこそ、選手一同が全力で競技に取り組むことができました。次年度もさらなる成長を目指し、精進してまいりますので、引き続きご声援、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

4年間の思い出

私はこの4年を振り返るとあっという間に過ぎていったなと感じています。大学での初めての練習やこの地に引っ越してきたことを昨日の事であったかのように今でも鮮明に覚えています。

私は大学での競技生活で目標としていたのは、「自己ベスト更新」「出雲駅伝に出場」「全日本大学駅伝に出場」の3つでした。「全日本大学駅伝に出場」という目標は長距離を専門とする部員が少なかったため叶えることはできませんでした。しかし、「自己ベスト」「出雲駅伝に出場」という目標は叶えることができました。全てがうまくいく大学での競技人生ではありませんでしたが、良かった事も悪かった事も含め様々なことを学ぶことができたので充実していたと思います。

また、4年を振り返ると、自分たちを支えてくれた方々の顔ばかり浮かびます。指導者をはじめ、親や部活の仲間など様々な方に支えられて競技ができていたなと思います。こんなにも競技に熱中できる環境を支えてくれた方々には感謝してもしきれません。

今後はOB・OGとして、後輩たちの応援やサポートする立場になりますが、後輩たちには支えてくださる方々や応援してくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに競技に全力で取り組んでほしいと思います。

私たち4年生だけでなく、男子陸上競技部を応援・サポートしてくださった皆様、本当にありがとうございました。

(記 齋藤 陸杜)



女子陸上競技部

部長 太田 義久
監督 冠木 雅守
コーチ 小池 彩加 (学外)
主将 鈴木 華奈 医療経営管理学科 4年
主務 柴田 梨花 福祉行政学科 4年

大会結果報告

○第77回東北学生陸上競技対抗選手権大会 (2024年5月31日～6月2日)

【女子1,500m決勝】

第2位 村山愛美沙② 大会新記録
第3位 鈴木 結菜②
第4位 武田 莉奈②

【女子5,000m決勝】

第2位 中野 芽衣①
第4位 平藤 楠菜③

【女子10,000m決勝】

第1位 小林日香莉②
第2位 新山 愛乃①
第3位 柴田 梨花④

【女子800m決勝】

第1位 小林 望迪①
第2位 鈴木 結菜②
第3位 村山愛美沙②

【女子4×400m】

第5位
1走鈴木 2走小林(望) 3走武田 4走新山

○天皇賜盃第93回日本学生陸上競技対抗 選手権大会(2024年9月19日～22日)

【女子5,000m決勝】

第9位 佐々木 菜月②

【女子1,500m決勝】

第15位 小林 望迪①

【女子10,000m決勝】

第10位 小林日香莉②

○第42回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 東北地区予選会(2024年9月29日)

第1位(18連覇) 東北福祉大学

○第42回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 (2024年10月27日)

総合5位入賞(過去最高)

○2024全日本大学女子駅伝選抜駅伝競走大会 (2024年12月30日)

総合9位(過去最高)

私たち東北福祉大学女子陸上競技部は、全日本大学女子駅伝で8位入賞以上という目標を掲げて1年間取り組んできました。昨年度、東北史上初の8位入賞を果たすことができ今年度は昨年以上を目指し、東北でも全国で戦うことが出来るということを日本の陸上界に広めるため、チームスローガンである「小さな変化」を常に意識しながら練習から私生活までチーム全員で切磋琢磨してきました。4月から新チームとして活動を始め、東北学連春季競技会や日本学生個人選手権など4月から多くの大会に出場し、東北地域と全国での差を痛感しました。その経験を活かし、各々が全国の大学の選手と比べ、自分に何が欠けているのかを考え、監督や上級生、マネージャーからアドバイスをもらいながら練習を行いました。チームのために自ら動き、競技者として切磋琢磨し合うことがチームスローガンの実現や全日本大学女子駅伝、富士山女子駅伝の結果にも繋がったのではないかと感じます。4月のレースが終了し、5月はもう一度体づくりとして長距離の基本的な部分になるジョグや補強を徹底して行い、6月の大会が近づいて来た際にスピードを強化していく練習に移行しました。一日一日、しっかりとした目的を持ちながら練習に励むことができ、6月には、U20日本選手権や東北インカレに出場して東北インカレでは800mから10,000mまで多数種目に出場をし、東北福祉大の層の厚さを印象づけることができました。また、前半シーズンから自己ベストやシーズンベストを出した選手もとても多く、全日本大学女子駅伝に向けてチーム全体の士気も高まり、全国で戦う準備が出来始めた大会になったと感じます。7月の中旬から下旬にかけての期間は福島県の西郷村で走り込みの合宿を行いました。西郷村合宿では、アップダウンが激しいクロスカンントリーコースを走り、駅伝でのアップダウンに対応出来る力を身に付け、足場が悪いコースを走り、足づくりを徹底して行うことが出来ました。8月には北海道の北斗市で合宿を行い、北海道でも走り込みや坂を使った練習をして全日本大学女子駅伝や富士山女子駅伝の坂を上手く走るため、辛いときでも全員で声を掛け合いながら走りました。チームの雰囲気も盛り上げながら周りのことも考えるということが出来た合宿になったと思います。また、今年度は気温がとても高く厳しい猛暑が続きましたが、走る距離を分割したり時間の調整をしたりなど様々な工夫をしたことで、熱中症や暑さで体調不良になる選手も出ることなく、安全に練習に取り組むことが出来ました。これは、監督やマネージャーが選手のことを細かく気にして下さったり、暑さに対して色々な準備をして下さったりしたのおかげだと思います。夏に練習を継続して行うことが出来た為、9月の月上旬から福島県の檜原湖で行った合宿にもつなげることができ、9月の合宿からスピードを意識した練習に移りました。スポーツパーク檜原湖のグラウンドでレースに近いペースで走ることやグラウンドの周りのクロスカンントリーコースを使ってスピードを取り入れながら、レースを意識したインターバルの練習を全員が行うことができました。下旬には全日本大学女子駅伝東北予選会が行われ、ABチームが他大学に圧倒的な差をつけて走りきることが出来ました。10月の宮城県東松島市で行われた調整合宿では、東松島市のロードを使って練習を行い、全日本大学女子駅伝のコースの特徴に合わせて区間配置を決める大切な練習が行われました。練習の際は、チーム全体が引き締まった雰囲気を作り、声を掛け合いながら行いましたが、練習以外の食事の際は、学年関係なく楽しく話しながら過ごし、チーム力も高いまま全日本大学女子駅伝に向かうことができました。良いチームを作ることが出来たのは、冠木監督の熱心な指導と部員ひとりひとりの意識レベルが昨年よりも上がったからだと感じています。冠木監督や応援して下さいとたくさんの方々のために、全日本大学女子駅伝は必ず入賞以上を勝ち取るといった気持ちで頑張ってきました。10月の全日本大学女子駅伝では、目標にしていた8位入賞以上の5位入賞を果たすことができ、来年度無条件で出場することが出来るシード権を獲得することが出来ました。大会当日は東北福祉大学のOBやOG、職員、学生といった、多くの方々にサポートに協力していただきました。そういった方々が応援してくださったことで、チームスタッフやサポートメンバーを含め、チーム全員で入賞を掴み取ることができました。また、12月に行われた富士山女子駅伝では惜しくも9位という結果となり来年度全国のトップで戦うための課題が見えた大会となりました。その2つの全国駅伝大会で東北地域の大学でも全国で戦えるということを広めることが出来たと感じます。多くの人から支えられ、部活動が出来ているという感謝の気持ちを忘れず、来年度は更に成長した姿と結果、感動を届けられるように頑張りたいと思います。

4年間の思い出

今年は、「全日本大学女子駅・全日本大学女子選抜駅伝8位以内入賞」という目標を掲げ、チーム全員でスライトチェンジを意識し頑張ってきました。全日本大学女子駅伝では5位入賞、選抜駅伝では9位と2年連続の入賞とはならず、連続入賞することの難しさを知りました。

私自身大学入学当時は、自己ベストが誰よりも遅く、まずはチームのみんなに追いつくことを目標に練習を頑張ってきました。また、高校で練習の意味を考えてやってきていなかったこともあり、1つ1つの練習で意味を考えなければならぬのがすごく大変でした。しかし、練習の意味を考えるようになってから、ただただ練習をやっていた時よりも練習が自分の身になって、できる練習も増えていきました。私はケガが多かったため、監督が原因を見つけて下さり、フォームの改善をするため様々な方法で指導をしていただいたおかげで継続した練習ができるようになりました。

実際に2年生で選手に選ばれましたが失敗し、練習はできているのに試合では外すという、周りからの信頼を失いました。3年生では信頼を取り戻すために、1つ1つのレースや練習を安定して行い、駅伝を走らせていただきチーム目標であった「北日本・東北史上

初の全日本大学女子駅・全日本大学女子選抜駅伝8位入賞」を達成することができました。このような結果を残せたのは、当時の4年生2人がチームのために動いてくれたこと、監督や部長、マネージャーなどの多くの方々の支援があったからだと思います。

4年生の全日本大学女子駅伝では、私含め4年生が駅伝のメンバーとして走ることができませんでした。過去最高順位である5位という結果を残すことができました。選抜駅伝では選手として走らせていただき、チーム順位9位、個人4位で走ることができました。改めて、入学当時チームのメンバーに追いつくことを目標としていた私が全国の大学生と競えるくらい強くなったのは、チームメイトや監督、家族、OBOGなどたくさんの方々の支えがあったからだと思います。私だけでなく女子陸上部が多くの方々の応援や支援を通して強くなることができました。来年以降、多くの応援支援と同時に大きなプレッシャーがかかるとは思います。女子陸上部全員で助け合いながら頑張りたいと思います。

4年間、多くのことを学び、たくさんの経験をすることができました。本当にありがとうございました。今後も東北福祉大学女子陸上競技部の応援よろしくお願いします。

(記 柴田 梨花)



男子サッカー部

部長 大野 光 吉

監督 國井 精 一

コーチ 平野 貴 之

主将 鈴木 悠 生 社会福祉学科 4 年

主務 武藤 愛 可 社会福祉学科 2 年

大会結果報告

- ・第 49 回東北地区大学サッカーリーグ一部
第 8 位
- ・Zeal Cap 2024 年度
第 25 回東北地区大学サッカー選手権大会
ベスト 8

体育会男子サッカー部は、今年創部 47 年目を迎えました。國井監督、大野部長、平野コーチのご指導の下、日々練習に励んでいます。

今年度所属した東北地区大学サッカーリーグ 1 部リーグは敗戦が続き、2 部リーグへ自動降格という結果になりました。勝利試合や、チームの目標としていた 1 部リーグ残留には届くことができませんでした。敗戦から学び得たことは多くある 1 年となりました。

國井監督には、毎日の指導の中でサッカー面だけではなく、人間性についても沢山の事を教えて頂きました。

今季味わった悔しさを糧に、これからの険しい道の中で今まで以上の大きな力をつけて東北リーグに最高峰に戻って来られるよう精進して参ります。これから体育会男子サッカー部は、再びチーム一丸となって戦います。常にチームの今と未来を考え、一体感を持って進んで行きたいと思います。

最後にはなりますが、年間を通して支えて下さった保護者の皆様、学校関係者様、スポンサー様、応援して下さる皆様に支えて頂き、チームが活動することができました。

厚く御礼申し上げます。

皆様のご支援、ご声援のお陰で今年 1 年間、充実したシーズンとなりました。

チーム全員で頑張る、這い上がる姿を皆様にお見せできるように、チームを立て直し前へ進んで参ります。

今後とも、ご支援、ご声援の程宜しくお願いいたします。

4年間の思い出

私はこの1年が本気でサッカーに打ち込める最後の年でした。去年待望の東北大学リーグ2部南優勝、一部リーグ昇格という目標を37年ぶりに果たすことができ新たな挑戦の年でした。

去年はスタメン11人の内10人が3年生以下で構成されていた為、私自身主将として「東北福祉大学サッカー部」に大きな歴史を変える気持ちで日々の部活動に臨んでいました。新たに大きな目標を掲げトレーニングをしていた中での突然の「4年生引退」。3年間当たり前のように居たチームメイトがいなくなり受け入れられない現状でした。4年生が1人しかいない状況で戦った東北大学1部リーグ。どんな状況でも応援しに来てくれていた4年生に結果で恩返ししたかったです。リーグ戦1勝もすることができませんでした。4年生の主将として「一部リーグ残留」という大きな目標を達成できなかったことすごく後悔しています。4年間色々なことがありましたが4年生と戦った3年生の時のリーグ戦。点数が1点入るたびに飛び跳ねて喜べる、どんな状況でも声を切らず目標に向かって戦

い続けることができた大学サッカーはものすごく楽しかったです。本当にありがとうございました。

後輩たちへ、また今年から東北大学リーグ2部南でのスタートとなりますが、国井監督の指導を受け、東北福祉大学サッカー部のサッカースタイルを改めて学びまた「1部昇格」をして欲しいと思っています。厳しい試合もたくさんあると思いますが、悔いの残らない大学サッカー生活をして欲しいと思います。今まで一緒に部活動できた時間は非常に楽しく、この先も忘れられない思い出です。主将らしいこと一つもできませんでしたが、共にプレーできたことを覚えてくれてれば嬉しいです。

最後になりますが、どんなに苦しい状況でも諦めずにグラウンドに来て指導してくれた国井監督、素晴らしい環境で部活動にご尽力していただいた大野部長、平野さんをはじめとする関係者の皆様に感謝申し上げます。また、県外まで応援に駆けつけてくれた保護者の皆様、誠にありがとうございました。

(記 鈴木 悠生)



女子サッカー部

部長 大野 光 吉

監督 平野 貴 之

主将 柿 木 詩央里 教育学科 2年

主務 川 村 萌 絵 社会福祉学科 1年

大会結果報告

出場なし

私たち体育会女子サッカー部は、3年生1名、2年生5名、1年生3名の計9名で日々活動しています。平日は7時から、土日祝日は8時から活動を行っています。人数が揃わず、4、5人で練習する日もありますが、次年度に向けてあきらめずに活動を続けてきました。今年度は、インカレ予選に出場することを断念し、練習も思うようにいかず、悔しい思いをすることが多い一年でした。しかし、初めてビーチサッカー大会やソサイチの大会、なでしこリーグ2部にも参加し、切磋琢磨しあいながら頑張ってきました。人工芝のグラウンドという恵まれた環境で活動を行えるということに感謝し、これからも頑張っていきます。今年度中に多大なるご支援ご協力賜りました関係者各位の皆様に厚く御礼申し上げます。2025年度は、結果を残せるようチーム一丸となって頑張りますので、これからも応援やご指導の程、よろしくお願いいたします。

4年間の思い出

私たちサッカー部女子は部員数がとても少なく、練習も試合も困難なことが多かったです。しかし、チーム全体がスムーズに活動を続けられるように、チームのマネジメントや練習メニューを考えたり練習試合を組んだりなどできる限り自分たちで行ってきました。最後の一年は、4年生が就活活動で中々参加できない中で、後輩たちが頑張ってくれました。もともとぎりぎりの人数だったけど、入

部して一緒に活動してくれてありがとう。どれも部員数が少ないからこそできた貴重な経験でした。インカレ出場という目標には届きませんでしたが、その中でも一番良かったのはチームの仲間と共に活動できたことの喜びや楽しさがあったことだと思います。たくさんの経験ができたことにとても感謝しています。

(記 宮田 彩名)



躰道部

部長 武田圭矢
監督 青木寛敏
主将 佐野大河 教育学科 2年
主務 高見双葉 社会福祉学科 3年

大会結果報告

第6回 北日本学生親善大会
1回戦敗退
(2024年8月31日—9月1日)

第57回 全国学生躰道優勝大会
2回戦敗退
(2024年10月13日)

私たち躰道部は、武田部長をはじめ、青木監督のご指導の下、男子4名、女子1名の計5名が部活動に取り組んでおります。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の規制緩和により、コロナ禍で途絶えてしまった交流や伝統を復活したことが印象的でしたが、今年も新入部員の増加をはじめ、県大会、北日本地区大会、全国学生大会、東北大会などの大会に出場してきました。合同合宿や合同稽古も積極的に行うことができ、技術や経験だけでなく、様々な人との交流を昨年度よりもさらに深めるとともに、各面でも成長できたのではないかと感じています。

部員皆の協力と青木監督のお力添えいただいたおかげで今年度も成長の1年間となりました。

今後も変わらず、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



弓道部

部長 松 本 祥 子
監督 佐 藤 真 幸
主将 中 澤 未 来 社会福祉学科 3 年
主務 中 澤 愛 美 社会福祉学科 3 年

大会結果報告

- ・ 第 75 回東北地区大学体育大会
(2024 年 6 月 15・16 日)
【15 日】 女子団体 3 位→予選通過
中澤 愛美 個人 3 位
【16 日】 決勝 1 勝 2 敗 1 引分
- ・ インカレ個人予選(2024 年 7 月 7 日)
予選敗退
- ・ 第 72 回全日本学生弓道選手権大会
(2024 年 8 月 23 日)
【女子団体戦予選】 敗退
- ・ 第 55 回全日本学生弓道遠の選手権大会
(2024 年 8 月 25 日)
【1 次予選】 中澤 愛美 通過
中澤 未来 通過
【2 次予選】 敗退
- ・ 第 54 回東北地区秋季女子学生弓道大会
(2024 年 10 月 12・13 日)
【団体】 第 3 位
【個人】 中澤 愛美 第 2 位
- ・ 第 28 回東北学生弓道新人戦(2024 年 12 月 7 日)
【団体】 敗退
【個人】 八巻 愛香 予選通過→敗退

私たち東北福祉大学体育会弓道部は、部長の松本祥子先生をはじめ、佐藤真幸監督ご指導の下、現在 3 年生 2 名、1 年生 2 名、の計 4 名が在籍しています。1 本 1 本を大事にし、どこが良くてどこが悪かったのかを自己分析しながら日々練習をしています。

大学内に弓道場があるという恵まれた環境で練習することができることに感謝し練習を重ねています。活動休止を経て今年度は再始動の 1 年間となりました。少人数ながら 1 人 1 人の背負うものが大きかった反面、大きく成長できたと感じています。

大変短くはありますが、今年度中も多大なるご支援、ご協力賜りました関係者各位の皆様には厚く御礼申し上げます。今後とも東北福祉大学体育会弓道部へのご支援・ご声援の程よろしくお願いいたします。



男子ハンドボール部

部 長 千 葉 伸 彦

監 督 影 山 陽 大

主 将 青 柳 成 健康科学部医療経営管理学科 3年

主 務 岩 渕 大 和 社会福祉学科 3年

大会結果報告

5月8日～12日

令和6年度第59回東北学生ハンドボール

春季リーグ戦大会

準優勝

8月8日～10日

令和6年度第46回東日本学生ハンドボール

選手権大会 Presented by トヨタ自動車東日本

Cブロック 2位

9月14日～16日 9月21日～9月23日

令和6年度第69回東北学生ハンドボール

秋季リーグ戦大会

優勝

11月5日～10日

高松宮記念杯男子67回女子60回令和6年度

全日本学生ハンドボール選手権大会

1回戦敗退

私たち男子ハンドボール部は千葉部長をはじめとして影山監督のもと、3年生5名、2年生3名、1年生10名で春季・秋季リーグ優勝・東日本インカレ優勝・全日本インカレベスト8を目標に学生が主体となって日々の練習に取り組んでいます。記憶に新しいのは全日本インカレです。関西の関西学院大学さんと対戦し序盤は自分たちのペースで試合を進めることができ、自分たちは全国でも通用できる戦い方だと思っていましたが、徐々に相手に流れを持っていかれまた自分たちのパスミスやシュートミスからの速攻で得点を奪われるシーンがかなりありました。ですが、チーム一丸となって戦えたことはどのチームにも負けないくらいに団結できたと思いました。この結果を踏まえて、前回の成績を超えられるように日々の練習に取り組み、また新たな東北福祉大学男子ハンドボール部の歴史を築き上げていきたいと思います。

今年度は、春季リーグ準優勝、東日本インカレCブロック準優勝、秋季リーグ優勝、全日本インカレ一回戦敗退と自分たちの目標を達成したものもあれば達成できなかったものもあったため課題の残る年になりました。昨年と違ったことは練習の量は変わっていませんが質がかなり変わったと思います。影山監督と選手同士で話し合いながら練習メニューを決めたり、ウエイトトレーニングの取り組み方についても決めました。練習メニューなどでは、1対1の強化や3対3の連携して守る、攻めたあとのバックチェックなどおもにディフェンスメインで練習を行っていました。また、チームないでも常に選手同士で意見交換や自分たちは今何が足りないかなどコミュニケーションをとりながらチームのために一人ひとりがやるべきことをやっていました。人数が増えたことによってベンチに入れる選手とそうでない選手が出てくるようになってポジション争いも激しいときもありました。ですが、その争いがあったからこそ勝負時に力を発揮できていましたし試合を勝ち切ることが出来たと思っています。限られた時間でやっていることもあり集合時間などを徹底して守り、凡事徹底を一人ひとりが心掛けていましたしチーム内で切磋琢磨しながら日々の練習で結果を残そうと奮闘していました。

最後になりましたが、今年度中にも多大なるご支援、ご協力を賜りました関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。そして、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

4年間の思い出

この4年を振り返ると本当にたくさんの思い出ができました。楽しかったことや辛かったこと様々です。特に4年生の春リーグは1点差で敗北し2位で大会を終えました。あの時、味わった言葉にはできない感情は忘れられません。その経験をしたからこそ秋リーグ全勝優勝を成し遂げ全日本インカレに出場することができたと改めて感じます。最後の仙台大学戦は東北福祉大学男子ハンドボール部の集大成と言える試合だと思っています。試合に出ているメンバーだけでなく、ベンチメンバーやスタンドで見ていたメンバーが完全に一つになり、もはやお祭りでした。かけがえのない仲間とともにあの瞬間を味わえたことが人生で一番の思い出です。また、この瞬間を様々な理由からともに味わうことができなかったメンバーもいますが、そのすべての人にこの優勝を捧げます。そして、

家庭や仕事で忙しいのもかわらず、常に向き合ってくれた影山監督には感謝しかありません。千葉部長、影山監督がいたから今このチームがあります。また、いつも試合へ応援に来て支えてくれた家族の存在のおかげでここまで頑張ることができました。本当にありがとうございます。4年間の思い出はここには書ききれないほどありますが、1つ言うならばこのチームで良かったです。自信を持っていえるほど素晴らしい指導者、先輩、同期、後輩のみんなでした。最後になりますが、千葉部長、影山監督をはじめとする関係者各位の皆様、これまでたくさん支えてくれた家族の皆さん本当にありがとうございました。今後とも東北福祉大学男子ハンドボール部のご声援をよろしくお願いします。

(記 櫻井 一成)



秋季リーグ 優勝時の集合写真

女子ハンドボール部

部長 齋藤 昌宏

監督 千葉 伸彦

主将 松田 帆乃佳 福祉行政学科 4年

主務 柳原 ひとゑ 福祉行政学科 3年

大会結果報告

5月10日～12日

第59回 東北学生ハンドボール春季リーグ
優勝

8月8日～10日

第46回 東日本学生ハンドボール選手権大会
ブロック2位

9月14日～23日

第69回 東北学生ハンドボール秋季リーグ
準優勝

11月6日～10日

高松宮記念杯男子67回女子60回
全日本学生ハンドボール選手権大会
一回戦敗退

私たち女子ハンドボール部は齋藤部長、千葉監督のご指導の下、4年生2名、3年生2名、2年生6名、1年生4名の計14名で活動しています。「インカレ一回戦突破」を目標に日々練習に励んでいます。今年度最初の大会となった春季リーグでは、チーム一丸となり3年連続での優勝と、東日本学生選手権の出場権を手に入れることが出来ました。しかし東日本学生選手権では、チームの持ち味であるディフェンスから速攻というプレーが発揮できず、準優勝という結果となりました。秋季リーグは2週間に分けて4試合行われ、全国大会の出場権獲得には、2以内に入ることが必須でした。1週目は1勝1敗で、2週目に2勝しなければ優勝出来ないという状況でした。しかし攻守ともにミスが多く、準優勝という結果でした。全国大会の出場権は得られましたが、多くの課題が残った試合でした。11月には全日本学生選手権が行われ、一回戦は関西学院大学と対戦しました。序盤から点差をつけられ、立て直すことが出来ず敗戦となりました。目標としていた「インカレ一回戦突破」には届きませんでしたが、多くの下級生が全国大会でコートに立てたことは良い経験になったと思います。次年度は全国大会で一つでも多く勝利できるように日々努力し、全員で一つになり練習に励んでいきます。

最後になりましたが、今年度も多大なるご声援、ご協力を賜りました関係各位の皆様へ厚く御礼申し上げます。そして次年度も引き続き女子ハンドボール部へのご支援、ご声援のほど宜しくお願い申し上げます。

4年間の思い出

私は、四年間のハンドボール部での活動を通して、様々な経験をさせて頂きました。小学6年生の頃からハンドボールを始めましたが、高校生までは指導者に言われたことをただこなすことが多く、自分のプレーに自信ありませんでした。しかし、大学生になり、自分たちで考えてプレーすることが増え、分からないこともありましたがチームで改善点を話し合い、成長することが出来ました。そして、4年生になり主将を任せられるようになりましたが、不安でいっぱいでした。どのようにしたら練習の質があがるのか、みんながプレーしやすくなるのか、自分の判断は間違っていないのか、他にも多くの

ことを考えさせられました。目標は達成することが出来なかったけど、最後の大会まで全員がついてきてくれて、本当に感謝の言葉しかありません。不甲斐ないことが多かったなと引退した今でも思いますが、同級生と後輩たちと多くの経験が出来て本当に良かったと思っています。また、たくさんの経験と指導して下さった先生方にも感謝申し上げます。今後は、この部活動で得たものを活かしていきたいと思います。

今後も女子ハンドボール部のご声援宜しくお願いします。

(記 松田帆乃佳)



水泳部

部長 幕内 孝
 コーチ 清水石 寛
 主将 小堺 虎太郎 社会福祉学科 4年
 主務 中村 柚 希 社会福祉学科 3年

大会結果報告

第13 回北部学生春季公認記録会 兼
 第20 回宮城県 FGST 四大学春季公認記録会
 小堺虎太郎(4年) 50m 平泳ぎ 優勝
 庄司 桜花(3年) 100m 自由形 優勝
 大村 心優(3年) 50m バタフライ 優勝
 山際 啓斗(2年) 200m 背泳ぎ 優勝
 100m 背泳ぎ 優勝
 篠原布納華(1年) 200m 個人メドレー 優勝
 中村 匠吉(1年) 200m 個人メドレー 優勝
 大野 篤史(1年) 1,500m 自由形 優勝
 400m 自由形 優勝
 女子4×200 フリーリレー 優勝
 (大村心優・茂庭侑里・庄司桜花・篠原布納華)

第17 回北部学生選手権水泳競技大会
 庄司 桜花(3年) 100m 自由形 3位
 50m 自由形 5位
 大村 心優(3年) 100m バタフライ 5位
 400m 個人メドレー 3位
 藤代 陸翔(2年) 1,500m 自由形 3位
 400m 自由形 8位
 山際 啓斗(2年) 200m 背泳ぎ 優勝(インカレ出場権獲得)
 100m 背泳ぎ 2位(インカレ出場権獲得)
 茂庭 侑里(2年) 800m 自由形 3位
 400m 自由形 5位
 大野 篤史(1年) 1,500m 自由形 優勝(インカレ出場権獲得)
 400m 自由形 優勝(インカレ出場権獲得)
 中村 匠吉(1年) 400m 個人メドレー 3位
 篠原布納華(1年) 200m 個人メドレー 優勝(インカレ出場権獲得)
 50m 自由形 2位(インカレ出場権獲得)
 男子4×100m フリーリレー 5位
 (大野篤史・藤代陸翔・高橋安久里・山際啓斗)
 男子4×100m メドレーリレー 6位
 (山際啓斗・小堺虎太郎・熊坂綾介・高橋安久里)
 男子4×200m フリーリレー 5位
 (藤代陸翔・高橋安久里・山際啓斗・大野篤史)
 女子4×100m フリーリレー 3位
 (庄司桜花・茂庭侑里・篠原布納華・大村心優)
 女子4×100m メドレーリレー 4位
 (大村心優・篠原布納華・庄司桜花・茂庭侑里)
 女子4×50m フリーリレー 3位
 (庄司桜花・茂庭侑里・篠原布納華・大村心優)

第75 回(令和6年度) 東北地区大学体育大会
 庄司 桜花(3年) 100m バタフライ 2位
 50m 自由形 2位
 大村 心優(3年) 100m 背泳ぎ 2位
 藤代 陸翔(2年) 400m 自由形 3位
 山際 啓斗(2年) 200m 背泳ぎ 2位
 100m 背泳ぎ 優勝
 茂庭 侑里(2年) 200m 個人メドレー 3位
 大野 篤史(1年) 400m 個人メドレー 優勝
 200m 個人メドレー 優勝
 中村 匠吉(1年) 200m 平泳ぎ 2位
 100m 平泳ぎ 2位
 篠原布納華(1年) 800m 自由形 優勝
 100m 自由形 2位

第100 回日本学生選手権水泳競技大会(インカレ)
 山際 啓斗(2年) 200m 背泳ぎ
 100m 背泳ぎ
 大野 篤史(1年) 1,500m 自由形
 400m 自由形
 篠原布納華(1年) 200m 個人メドレー
 50m 自由形

私たち水泳部は、幕内部長、清水石監督ご指導の下4年生3人、3年生4人、2年生4人、1年生6人で活動を行っています。月曜日から土曜日まで週6日間の朝7時から9時まで活動しており、場所は東北福祉大学近くの国見スイミングスクールをお借りして日々練習に取り組んでいます。ミーティングや、各学年での話し合いを重ね、練習メニューを選手たちで考え取り組んでいます。個々の日標はもちろんです、日本学生選手権に一人でも多くの人が出場できるように、全体で共通の目標を決め練習を行ってきました。

令和6年度の北部学生選手権水泳競技大会は長水路での開催でしたので、福島県郡山市のプールやGW期間にはグランディ21を借りて練習をし、長水路で泳ぐことを強化しました。そして、2年生1人、1年生2人が日本学生選手権水泳競技大会への出場を果たすことが出来ました。2年生部員は2年連続の出場となりました。初出場の1年生は全国大会の会場で感じるものが沢山あったと思います。この経験を今後の活動に生かして欲しいです。

今年度から新しい取り組みも始めました。月に1回、部内記録会と、ミーティングを行うことです。部内記録会ではミーティングで種目を決めその種目のタイムを部内で競い合います。これは大会が少ない時期にモチベーションが下がってしまうことが、部内の課題として上げられたので、月に1度大会形式で行うことで、それに向けて練習をして、モチベーションを保とうという意図があります。大会形式で行うことで楽しく盛り上がることで、身体に負荷をかけることもできるのでとても良い影響を与えていると思います。また、月に1度ミーティングを行うことにし、そこでは、主にメニューの改善や、先月の課題、改善点、次月の予定を話し合っています。頻繁にミーティングを行うことで、意見を言えるようになった人が増え話し合いが以前よりできていると感じ、仲を深めることが出来ていると思います。この取り組みでチームがより良いものになると期待しています。今後も新しいことにどんどん挑戦し各種大会で日々の練習で積み重ねてきた努力が十分に発揮できるよう期待しています。東北福祉大学水泳部が1つのチームとして選手一人一人との絆を大切にしながら高め合い、お互いを大切にしていけるような部活動を行えたらと思います。練習をさせてもらっているこの環境に感謝し、今後もさらに精進して参ります。

最後になりますが、今年度も多大なるご支援、ご協力を下さりました関係各位の皆様には厚く御礼申し上げますと共に、今後ともご指導の程宜しくお願い申し上げます。

4年間の思い出

大学4年間の部活動を振り返ると、本当に多くの貴重な経験をさせてもらいました。先輩たちとともに大会記録を樹立したこと、表彰台に上がった時のこと、チーム一丸となって目標に向かって練習に励んだこと、どれもかけがえのない思い出です。毎日の厳しい練習や試合のプレッシャーを乗り越えることができたのは、共に戦った仲間がいたからこそだと思います。私は実家を離れての大学生活でしたが、その分、チームメイトや顧問と過ごす時間は家族よりも長くなりました。次第に、部活動は私にとって“もうひとつの家族”のような存在になっていきました。嬉しい時も苦しい時も、常にそばにいて励まし合い、時にはぶつかりながらも共に成長できた仲間がいたことは、本当に幸せだったと思います。

一方で、新型コロナウイルスの影響による大会の中止や、思うように活動ができなかった時期もありました。部員同士の衝突や意見の違い、部内の問題など、決して楽しいことばかりではなく、悩み、苦しんだ日々もありました。しかし、そうした困難も、この“家族”のような存在とともに乗り越えてきたからこそ、今の自分があると感じています。あの時、苦しい状況に向き合いながらも前を向いて努力した経験は、きっとこれからの人生

にも生きてくると思います。

水泳は「個人競技」と言われることが多いですが、私は決してそうは思いません。自分ひとりの力だけでは続けられる競技ではなく、先輩や後輩、チームメイト、顧問や指導者、そして家族の支えがあったからこそ、最後まで泳ぎ切ることができました。試合前に仲間と交わした励ましの言葉、辛い練習の中でかけてもらった声、支えてくれる人たちの存在が、どれほど心の支えになったか計り知れません。

この4年間で、本当にたくさんの人に出会い、支えられ、多くの協力をいただきました。私がここまで頑張れたのは、間違いなく皆さんのおかげです。こんな主将についてきてくれた同期や後輩たちには、心から感謝しています。直接伝えるのは少し照れくさいですが、本当にありがとうございます。

これからはOBとして、水泳部のさらなる活躍を楽しみにしています。皆さんの努力が実を結び、さらに素晴らしいチームになっていくことを願っています。これからも挑戦を続け、誇りを持って戦い抜いてください。応援しています！

(記 小堺虎太郎)

ゴルフ部

総 監 督	阿 部 靖 彦	
コ ー チ	梶 井 亮 介	
コ ー チ	樋 口 璃 乃	
男子主将	唐 下 明 徒	社会福祉学科 4 年
女子主将	橋 本 美 木	社会福祉学科 4 年
主 務	柿 沼 瑛 亮	社会福祉学科 3 年
主 務	斎 藤 彩 絵	社会福祉学科 4 年

大会結果報告

5/5～6

関東学生春季 A ブロック対抗戦
優勝

6/1～2

関東女子学生春季 A ブロック対抗戦
優勝

6/19～21

全国大学ゴルフ対抗戦（男女）
男子 2 位
女子 2 位

9/9～13

関東秋季 A ブロック対抗戦
優勝

9/18～19

関東女子秋季 A ブロック対抗戦
優勝

11/5～8

常陸宮杯全日本大学ゴルフ選手権（男女）
男子 優勝
女子 2 位

令和 6 年度は、男女四冠を目指して 1 年間戦いましたが、男子 3 勝・女子 2 勝と惜しいシーズンとなりました。個人では、日本学生で、2 年の田村が優勝・1 年の志村が 2 位となり、日本女子学生で、4 年の益田が 3 位で、文部科学大臣杯争奪日本学生ゴルフ王座決定戦ではあまりいい成績が残せずシーズンを終わりました。これまでに沢山の偉大な先輩方や東北福祉大学ゴルフ部の伝統や歴史を作っていただき、素晴らしい練習環境で練習することができ、沢山の方々からのサポートしていただき、関係者の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。来年度も東北福祉大学ゴルフ部として、男女四冠達成をするために、チーム一丸となって切磋琢磨しあっていきます。

4年間の思い出

私はこの4年間で同じ日々を過ごした仲間たちが思い出として残っています。コロナ禍という苦しい時間を過ごし、楽しい時間もうまくいかず苦しい時間も同級生や先輩、後輩

たちと一緒にゴルフ部として4年間過ごせた日々は私の宝物です。

(記 唐下 明徒)



軟式野球部

部長	阿部 靖彦	
監督	山内 純護	
コーチ	富樫 純平	
主将	栗飯原 虎之介	産業マネジメント学科 4年
主務	山本 彩乃	福祉心理学科 4年
主務	水本 華蓮	教育学科 2年
主務	沓澤 綸	社会福祉学科 2年

大会結果報告

令和6年度
全日本軟式野球東北地区春季リーグ
(令和6年4月6日～5月18日) 優勝

第5回ゼット杯令和6年度東北王座決定戦
奥羽・東北ブロック大会
(令和6年6月1日～15日) 準優勝

第4回全日本大学軟式野球選抜大会
(令和6年8月) 出場

第47回全日本大学軟式野球選手権大会
東北地区予選
(令和6年9月14日～10月5日) 優勝

第47回全日本大学軟式野球選手権大会
(令和6年11月) 出場

今シーズンは、新たな監督とコーチを迎えてのスタートとなりました。昨シーズンの悔しさや反省をバネに、「日本一」という目標を達成すべく活動した1年でした。結果は全国大会で2回戦敗退でしたが、自分たちらしい野球をすることができたと感じています。昨シーズンの結果よりも成績を残すことができただけでなく、チームとして成長を感じられました。しかし、全国という壁の大きさを痛感させられる場面が多々あったシーズンともなりました。その壁をチームや個々で一つひとつ解決していき、東北地区内で勝ち切ることにこだわり、目標である日本一を達成すべく、日々の練習に励んでいます。

4年間の思い出

昨年も東北福祉大学軟式野球部への温かいご声援、誠に有難う御座いました。

昨年は、新たな監督やコーチを迎え、新体制での活動がスタートした年となりました。初めは私たちが今まで積み重ねてきたものの、当たり前だったこととの違いに悩まされ、困難を感じる場面もありました。ですが、何度も納得のいくまで話し合うという時間を設け、互いの価値観や考え方をすり合わせていくうえで、チームとして一丸となって大会に向かっていくことができました。

部員が多く、同じポジションにおいてのスタメン争いやベンチ争いがそれぞれの刺激となり、個人としての技術向上のみならず、部としても互いに切磋琢磨し合い、仲間を尊重し合いながら、よい雰囲気での1年間活動ができたと感じます。これも、私たちの力だけでなく、私たちの日頃の活動にご理解とご協力をいただいております、関係者の皆様のおかげです。有り難う御座います。

昨年は春季と秋季の二季連続全国大会出場にとどまらず、一回戦突破を果たし、チームとしての成長を感じることができたシーズンでした。ですが、それとともに2回戦の壁の大きさ、チームとして全国という場面においても勝ち続けることの難しさも痛感したシー

ズンとなりました。

また、私自身、チームの主将としての在るべき姿、部員や指導者との接し方、物事の伝え方等、様々なことに悩まされ、成長させていただいた1年間となりました。チームの勝利のために個人として、主将として、私に何ができるのか、自分自身を見つめることも多々ありました。1年半ほどこのチームの主将としてチームを牽引してきましたが、私一人の力ではこれほどの結果を残すことができなかったと思います。部員一人ひとりがこの部にとって欠かせない存在であり、その仲間たちの支えがあったからこそ、チームの主将として先頭に立ち続けることができました。

来年度は、まずは東北地区内を勝ち切ることにより、さらには、全国という舞台でも勝ち進むことを目標に、そして私たちが成し遂げられなかった日本一を叶えてくれることを願っております。今後とも東北福祉大学軟式野球部への変わらぬご声援、よろしくお願い申し上げます。

最後に、軟式野球部熊ヶ根球場の整備に関しまして、大学関係者の方には大変尽力されたこと心より感謝申し上げます。有り難うございました。

(記 栗飯原虎之介)



アイスホッケー部

部長	門馬利光	
総監督	渡辺伸彦	
監督	今村雄太郎	
コーチ	瀬野尾尚大	(学外)
コーチ	深田真治	
主将	後村大輔	情報福祉マネジメント学科 4年
主務	高橋満央	産業福祉マネジメント学科 4年

大会結果報告

令和6年度東北地区学生アイスホッケー秋季大会
(2024年9月21日～9月22日)
第4位

第25回大学アイスホッケー交流戦苫小牧大会
セカンドステージ(2024年9月11日9月15日)
1回戦敗退

第28回宮城県アイスホッケー連盟会長杯
(2024年11月19日～11月28日)
1回戦敗退

第56回宮城県アイスホッケーリーグ戦
(2024年10月22日～11月11日)
第5位

令和6年度東北地区学生アイスホッケー選手権大会
兼第97回日本学生氷上競技選手権大会東北地区予選
(2024年11月15日～11月17日)
第4位

第97回日本学生氷上競技選手権大会
セカンドディビジョン
(2024年12月20日～12月22日)
優勝

今年度はインカレ本戦出場の目標を掲げてチーム一丸となって努力することができました。基本となる氷上練習や陸上トレーニングに加え、合宿や練習試合、それらに対するミーティングなどを行い、自分たちにできることを全力で行ってきました。また、試合中や試合終わりなどにチームメンバーと話し合い、今後の改善点や動きの確認なども行っている姿があり、インカレ予選に向けて着実に準備を進めることができました。

そして11月、目標としていたインカレ本戦ファーストディビジョンへの出場を懸けたインカレ予選が開催されました。しかし、結果は4位となり出場権を獲得することは出来ませんでした。この結果を受けて、部員全員が本来持てるチームの力を発揮しきれなかったことへの悔しさを感じ、準決勝の勝利へあと一歩足りなかった部分は何であったのかをチームメンバーと話し合い、考えました。そして、ファーストディビジョンへの出場は叶わなくとも、最終的に自分たちに残されたセカンドディビジョンで優勝するために、最後の1か月間はチームのため、4年生のためという想いを胸に、より一層選手達は努力を重ねました。その結果、セカンドディビジョンでは優勝を勝ち取ることができました。この結果は選手一人一人が闘志を燃やし皆のためにと全力を尽くしたからこそ手に入ったものだと思います。こうして締め括った今年度の活動は、間違いなくお互いがお互いを誇らしく思い、チームとして大きな感動を味わった時間となりました。この経験は選手たちにとってもチームプレーの大切さや、仲間の支えがどれほどの力を持つのかを実感する良い経験になったと感じました。

様々な刺激を受け、部員それぞれが課題を見つけ成長を実感したこの経験をもとに、来年度も一回一回の練習を大切に、話し合いなどのコミュニケーションの場も設けながら、今年度以上にチームで一致団結して、次こそ目標とするインカレ本戦のファーストディビジョンに出場できるよう一層精進してまいります。

最後になりますが、日頃よりご支援いただいております保護者の皆様、卒業生の皆様、そして大学関係者の皆様に対しまして厚く御礼を申し上げますとともに、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

4年間の思い出

これから4年間の振り返りを述べさせていただけます。振り返りとしては主に4年間で学んだこととこれから後輩に伝えておくべきことの2つになります。

まず、4年間を通して学んだことについてです。4年間の中で最も大事だと感じたもの、それはコミュニケーションの大切さです。大学に入学してから、普段の生活でも、氷上の中でも意思疎通が出来ていなければうまく連携ができないのだと高校の時よりもさらに痛感しました。たまにぶつかり合う時や意見の食い違いなどでチームが空中分解しそうになる時もありましたが、苦しくてもみんなで手を取り合いながら私たちがなりにチームを作り上げてきました。その結果、インカレファーストディビジョンには行けなかったものの、昨年と同様セカンドディビジョンでは優勝を果たしこの1年間の集大成として有終の美を飾ることが出来ました。

また、学んだことでもうひとつ大事だと感じたことは全うすることです。これは今年度、主将を務めてからより痛感するようになりましたが、全うすることはとても苦しく覚悟があることなのです。しかし、いざ引退した今、考えてみるとアイスホッケーを頑張って続けてきたことやこのチームの主将を1年間全うしたことから素晴らしい達成感が生まれました。様々な経験をさせて頂きこのチームには本当に感謝しております。ありがとうございました。

そして、後輩たちにはこれから心新たに精進

していただきたいと思います。私が伝えてあげられることはリスペクトと感謝です。まず、仲間へのリスペクトを忘れないことです。この東北福祉大学アイスホッケー部は一人一人のキャラクターがあって誰もが持ち味を持っています。その持ち味に気づき、それぞれが役割を果たすことでこのチームはよりよくなっていくと思います。次はライバルへのリスペクトです。ライバルがいなければ自分自身も強くなりませんし、奮い立たせることもできません。自分よりプレイがうまかったり態度が良かったりなど、どんな点でもいいので見つけ出してリスペクトすることです。最後に感謝です。ほぼ毎回練習に来てくださっているチームスタッフの方々や、チームのために沢山の援助をしてくださっている大学関係者の方々やOBの方々、そして私たちに大好きなアイスホッケーをさせてくれる家族への感謝は絶対に忘れないでください。今の私たちがアイスホッケーをできているのはたくさんの人の支えがあってからこそです。リスペクトと感謝を忘れずに突っ走ってください。

最後になりましたが、この4年間たくさんのいい思い出が出来ました。このチームでしか味わえない経験が沢山出来て、本当に東北福祉大学アイスホッケー部に入部して良かったと思っています。4年間ありがとうございました。

(記 後村 大輔)



女子ソフトボール部

部長 長谷川 潔
監督 舟 山 健 一
主将 三 橋 愛 葉 社会福祉学科 4年
主務 松 本 芽 生 教育学科 4年

大会結果報告

4月27・28日
北海道・東北地区大学ソフトボール春季大会
優勝

5月18・19日
北海道・東北地区大学ソフトボール選手権大会
優勝

7月6～8日
東日本大学女子ソフトボール選手権大会
ベスト16

8月30～9月1日
全日本大学女子ソフトボール選手権大会
初戦敗退

9月14～16日
全日本総合女子選手権大会
初戦敗退

10月19・20日
北海道・東北地区大学ソフトボール秋季大会
優勝

私たちのチームの目標は「日本一」です。これを実現するために、個々の技術力向上を強化すると同時に、選手一人ひとりの満足度が高く、そして体育会の模範の部となるための「チームづくり」にも尽力してきました。具体的には、役割の明確化、挨拶・礼儀・マナーの徹底、人として在るべき姿、などに着目しました。チームづくりに力を入れた事で、下級生が大半を占める（3・4年生5人、1・2年生25人）若いチームでありながらも、自主性と統率のバランスの取れたいいチームになりました。

今年は「強」というスローガンを掲げて活動しました。このスローガンには、チームや自分自身と向き合う強さを持つ、個々の強みを大切にする、どんな状況でも強い気持ちを持つなどの意味が込められています。「強」というスローガンを日ごろから部員全員で共有・浸透できた事で、選手やチームがより大きく成長する事ができたと感じています。

1年の集大成となるインカレの結果は1回戦敗退でしたが、1人1人が役割を全うし、全員総力で戦えた素敵な試合となりました。

後輩たちには、これからも応援して下さる全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、勝利と模範に重きを置く「ソフトボール部らしさ」を継承してほしいと思います。

4年間の思い出

この4年間は、数えきれないほどの経験を
して、充実した時間を過ごす事が出来ました。

これまでを振り返ると同期や先輩後輩、ス
タッフの方々に恵まれていたと感じます。
チームについて真剣に話したり、意見が合わ
ずぶつかったり、そして困っていれば互いに
相談に乗り、時にはふざけて思いっきり笑い
合ったりしました。そして、そんな私たちを
スタッフの方々は、私たちが「日本一」とい
う目標を掲げると、一緒に目標を追って私た
ちと本気で向き合ってくださいました。

活動している時は楽しい事ももちろん沢山
ありましたが、それ以上に大変な事もあり、
決して「楽だった」言える4年間ではありま
せんでした。個人的には、技術に伸び悩み試
合に出たくても出られない期間や、4年目で
キャプテンを務めた事でキャプテンや最上級
生としてのあり方について考える日々などこ

こには書き切れないくらい多くの事がありま
した。ですが、同じ目標に向かう仲間やスタッ
フの方々がいたから、どんな事も乗り越えら
れたのだと思います。そして、今となっては
ただ楽をして楽しいことだけを経験するの
ではなく、「きつい」と感じる事にも逃げずに
しっかりと向き合う事が大切だという事にも
気づく事が出来ました。

最後になりますが、同期や仲間が支えてく
れたのはもちろんのこと、大学関係者の方々、
スタッフの方々、保護者の方々のご支援とご
協力があったから私たちはソフトボールと真
剣に向き合う事ができました。

私たちが果たす事の出来なかった「日本一」
は後輩たちに託します。

引き続き東北福祉大学女子ソフトボール部
をよろしくお願い申し上げます。

(記 三橋 愛葉)



空手道部

部長	石澤優紀	
監督	阿部晋二	(学外)
コーチ	瀬谷龍介	
コーチ	笠原理子	
主将	相澤烈夏	福祉行政学科 4年
主務	佐藤澄奈	社会福祉学科 4年

大会結果報告

第3回全日本空手道体重別選手権大会 東北地区予選会 (2024年4月28日)

男子組手	【+84 kg 級】山下 廉	準優勝
女子組手	【-50 kg 級】根岸 夢生	優勝
	【-55 kg 級】五十嵐那奈	第3位
	【-61 kg 級】女澤 美晴	第3位
	【-68 kg 級】児玉 真衣	優勝

第60回東日本大学空手道選手権大会 (2024年5月5日)

男子団体組手	1回戦敗退
女子団体組手	2回戦敗退

第22回東北地区空手道選手権大会 (2024年5月18日)

男子個人形	安藤 颯太	準優勝、高橋 健斗	第3位
女子個人形	高橋 菜里	優勝、浅野ひまり	準優勝、佐藤 遼奈 第3位
男子個人組手	相澤 烈夏	優勝、藤原 爽太	準優勝
女子個人組手	児玉 真依	優勝、酒井 ひな	準優勝、高橋 菜里 第3位

第75回東北地区大学体育大会 (2024年6月23日)

男子個人形	安藤 颯太	準優勝、高橋 健斗	第3位
女子個人形	浅野ひまり	優勝、高橋 菜里	準優勝、佐藤 遼奈 第3位
男子個人組手	阿部 匠寿	優勝、相澤 烈夏	準優勝、岩間 雄史 第3位
	栗野 翔太	第3位	
女子個人組手	酒井 ひな	優勝、児玉 真依	準優勝、高橋 菜里 第3位
	根岸 夢生	第3位	
男子団体組手	東北福祉大	優勝	
女子団体組手	東北福祉大	優勝	

第68回全日本大学空手道選手権大会 (2024年7月7日)

男子個人形	安藤 颯太	第1ラウンド敗退
女子個人形	浅野ひまり	第1ラウンド敗退
	高橋 菜里	第1ラウンド敗退
男子個人組手	阿部 匠寿	1回戦敗退、武田 優空 1回戦敗退
	内馬 煌仁	1回戦敗退、千葉 優大 1回戦敗退
	岩間 雄史	2回戦敗退、相澤 烈夏 3回戦敗退
女子個人組手	根岸 夢生	1回戦敗退、五十嵐那奈 1回戦敗退
	女澤 美晴	2回戦敗退、児玉 真依 2回戦敗退
	高橋 菜里	2回戦敗退

第3回全日本空手道体重別選手権大会 (2024年8月11日~12日)

男子個人組手	【+84 kg 級】山下 廉	予選ラウンド敗退
女子個人組手	【-50 kg 級】根岸 夢生	予選ラウンド敗退
	【-55 kg 級】高橋 結衣	予選ラウンド敗退
	【-61 kg 級】町田 理桜	予選ラウンド敗退
	【-68 kg 級】児玉 真衣	予選ラウンド敗退
	【+68 kg 級】高橋 菜里	予選ラウンド敗退

第23回東北大学空手道選手権大会並びに新人戦 (2024年9月23日)

男子個人形	安藤 颯太	準優勝、高橋 健斗	第3位
女子個人形	今野こはる	優勝、町田 理桜	準優勝
	根岸 夢生	第3位	
男子個人組手	阿部 匠寿	優勝、千葉 優大	準優勝
	内馬 煌仁	第3位、栗野 翔太	第3位
女子個人組手	根岸 夢生	優勝、福村 愛梨	準優勝
男子団体組手	東北福祉大学	優勝	
女子団体組手	東北福祉大学	優勝	

第35回関東及び東日本地区体重別選手権大会 (2024年10月27日)

男子個人組手	【-60 kg 級】内馬 煌仁	1回戦敗退
	【-67 kg 級】相澤 烈夏	1回戦敗退
	【-75 kg 級】阿部 匠寿	3回戦敗退
	【+84 kg 級】山下 廉	ベスト8
女子個人組手	【-50 kg 級】根岸 夢生	1回戦敗退
	【-55 kg 級】高瀬 結衣	1回戦敗退
	【-61 kg 級】町田 理桜	1回戦敗退
	【-68 kg 級】児玉 真衣	準優勝
	【+68 kg 級】高橋 菜里	1回戦敗退

第68回全日本大学空手道選手権大会 (2024年11月17日)

男子団体組手	1回戦敗退
女子団体組手	1回戦敗退

私たち空手道部は、石澤部長をはじめ、阿部監督、瀬谷コーチ、笠原コーチのご指導の下、4年生6名、3年生6名、2年生5名、1年生8名、計25名で日々の練習に打ち込んできました。

練習では部員全員が同じメニューをこなしていても、人によって課題が違うのでどうすれば改善できるかを考え、意識して練習に取り組み、伸び悩むことも多々ありましたが、先輩後輩関係なく話し合い、教え合い、成長していくことができるのが私たち空手道部の強みだと思います。また、どんなに辛くて心が折れそうになる練習やトレーニングでも声を掛け合い、笑顔で試合に勝つために1年間、やりきりました。これからも成長を続ける中で、全国の舞台で1つでも勝つためにどのような取り組みをすれば良いのか・何が自分自身及びチームに足りてないのか、また練習中や相手と向き合っている際に、何を意識するのか・何を考えるのか・相手の心理状態を考えることに着目し、今後とも成長を続け、大きな舞台で、笑顔で試合を楽しむことができるよう日々精進して参ります。

最後になりますが、今年度も多大なるご支援、ご協力をくださりました関係各位の皆様には厚く御礼申し上げますと共に、今後ともご支援、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

4年間の思い出

入学した1年目は、公式戦が新型コロナウイルスの影響もあり、マスクをつけての試合や試合自体が中止になることもありました。前年度に比べると開催された試合が多かったと思います。高校から大学という1つ上のカテゴリーで試合をするということもあり、1年生の前半は多少慣れない部分もあって勝ちきれないことがありました。ですが、後半にもなると慣れもあり勝つことが増えていったと思います。2年生の時は1年生よりも試合数も増え、初めて国体にも出場することができ、とてもいい経験になりました。3年生は私自身にとっては絶対に全国で勝ちたいと思った勝負の1年でした。大学生活の内の3年間に共にした先輩たちと戦える最後の年だったからです。この1年間はとても勝つことに貪欲だった年で今までの私には考えられないような1年だったと思います。4年生になり、学生最後の1年間で私は人生で初めて主将という立場を任されました。人をまとめることが苦手だったので私に務まるのかとても不安でしたが、同期や後輩の支えもあり最後までやり抜くことができました。私はこの4年間、非常に充実した部活動生活を送ることができ、部長や監督・コーチに加え、応援

してくれる家族やOB、OGの先輩方に結果で恩返しをしたいという気持ちがありました。結果的には悔いが残る4年間ではありましたが、それでも日々の練習を怠ることなく、精進することができました。

また、東北福祉大学空手道部に入部し、石澤部長、阿部監督、瀬谷コーチ、笠原コーチ、OB・OGの先輩方、同期、後輩とたくさんのお会いがありました。試合で勝つことも大事ですが、私は何よりも大切にしていきたいと思っていることが人との繋がりなのでこのお会いを今後も大切にしていきたいと思います。

最後になりますが、石澤部長を始めとする指導者の方々、ここまで空手道部を繋いでくださった先輩方、練習環境を整えていただいた本大学、そしてなにより家族や部員、この空手道部に携わったすべての人に感謝申し上げます。各々部活動で得た経験を社会で活かし、東北福祉大学空手道部の名に恥じない社会人になりたいと思います。4年間お世話になりました。改めて、ありがとうございました。

(記 相澤 烈夏)



4年生を送る会にて（最前列5名が4年生）

テコンドー部

部長 阿部 靖彦
監督 相原 儀雅 (学外)
主将 岡崎 陽向 社会福祉学科 2年

大会結果報告

第18回全日本学生テコンドー選手権大会
キョルギー 46 kg 優勝
(令和6年9月15日山梨県甲府市)

第18回全日本テコンドー選手権大会
キョルギー 49 kg 優勝
(令和6年12月12日愛知県名古屋市)

4th Qatar Taekwondo Open Championships
キョルギー 46 kg 優勝 (令和6年11月2日)

2024年スタートとともに五輪の選考会に負けてしまいパリ五輪への道は途絶えてしまいました。それでも、継続して応援してくださり、支えてくださった皆様のおかげで2024年を世界ランキング1位で締めくくることができました。

また、去年から目標に決めていた、国際大会の優勝、全日本学生選手権大会と全日本選手権大会の2連覇、そして来年の強化指定選手の内定と世界選手権大会の代表権の獲得を果たすことができました。

いいスタートを切ることはできませんでしたが、それでも毎日練習に励み、国内外での辛い強化合宿を乗り越えてきたことで、自分自身とても成長を感じられた1年となりました。

来年度には、大学生の五輪とも言われているユニバーシアードや世界選手権大会など主要な大会が控えています。大きな舞台で活躍できるよう、日々の積み重ねを大切に毎日の練習に励んでいきますので今後とも応援よろしくお願いいたします。



26 部の歴史

体育会（現常任幹事会）

西暦	元号	年数	歴代会長	歴代副会長	歴代幹事長	歴代副幹事長	卒業人数
1972年	昭和47年	1年目	細井 計		牛山 俊夫		0
73年	48年	2年目	細井 計		牛山 俊夫		0
74年	49年	3年目	岡本 正平		平石 和一		2
75年	50年	4年目	岡本 正平	大和田直樹	伊藤 弘晴		0
76年	51年	5年目	中西 武雄	大和田直樹	佐藤 聖也		1
77年	52年	6年目	中西 武雄	大和田直樹	近藤 亨	小野 哲夫	2
78年	53年	7年目	中西 武雄	大和田直樹	阿部 一哉		1
79年	54年	8年目	中西 武雄	大和田直樹	鈴木 誠	上野 幸志	4
80年	55年	9年目	山木 勝夫		赤川 義雄	三浦 進治	5
81年	56年	10年目	山木 勝夫		前田 尚彦	小川 英	3
82年	57年	11年目	山木 勝夫		小川 英	佐藤 仁志	1
83年	58年	12年目	山木 勝夫	柴田 幸男	木幡 藤夫	五味田 寿	1
84年	59年	13年目	山木 勝夫	柴田 幸男	松浦 正男	川村 直基	3
85年	60年	14年目	石澤 志郎	柴田 幸男	村上 英男	村松 徹	4
86年	61年	15年目	石澤 志郎	柴田 幸男	加藤 裕	岡本信太郎	2
87年	62年	16年目	石澤 志郎	柴田 幸男	小笠原 卓	秋山 清文	3
88年	63年	17年目	石澤 志郎	柴田 幸男	秋山 清文	村田 幸彦	4
89年	平成元年	18年目	石澤 志郎	柴田 幸男	村田 幸彦	森本 晃司	4
90年	2年	19年目	小松 紘	柴田 幸男	森本 晃司	志水 明恵	4
91年	3年	20年目	小松 紘	柴田 幸男	志水 明恵	斗々澤秀弥	4
92年	4年	21年目	小松 紘	柴田 幸男	斗々澤秀弥	白川 恵	4
93年	5年	22年目	小松 紘	柴田 幸男	白川 恵	近藤美和子	1
94年	6年	23年目	高橋 俊郎	柴田 幸男	甲山 睦美	千葉 幸子	3
95年	7年	24年目	高橋 俊郎	柴田 幸男	千葉 幸子	伊部菜穂子	5
96年	8年	25年目	高橋 俊郎	柴田 幸男	伊部菜穂子	吉田 卓	2
97年	9年	26年目	高橋 俊郎	柴田 幸男	吉田 卓	厚海 仁志	7
98年	10年	27年目	高橋 俊郎	柴田 幸男	厚海 仁志	菊池幸太郎	4
99年	11年	28年目	高橋 俊郎	柴田 幸男	菊池幸太郎	村上 章子	3
2000年	12年	29年目	高橋 俊郎	佐藤伊知子・鈴木 智彦	熊谷 圭介	村上 章子	1
01年	13年	30年目	高橋 俊郎	佐藤伊知子・鈴木 智彦	熊田 大輔	清水 泰之	3
02年	14年	31年目	高橋 俊郎	佐藤伊知子・鈴木 智彦	清水 泰之	小南 久俊	2
03年	15年	32年目	高橋 俊郎	佐藤伊知子・鈴木 智彦	渥美 京子	猪狩 宏恵	2

体育会（現常任幹事会）

西暦	元号	年数	歴代会長	歴代副会長	歴代幹事長	歴代副幹事長	卒業人数
04年	16年	33年目	高橋 俊郎	佐藤伊知子・鈴木 智彦	加藤 真浪	高野 智子	2
05年	17年	34年目	高橋 俊郎	佐藤伊知子・鈴木 智彦	樋口謙太郎	松本 千鶴	1
06年	18年	35年目	高橋 俊郎	佐藤伊知子・鈴木 智彦	松本 千鶴	佐藤 佑美	2
07年	19年	36年目	高橋 俊郎	佐藤伊知子・阿部 靖彦	新明 優子	大金 亨	2
08年	20年	37年目	高橋 俊郎	佐藤伊知子・阿部 靖彦	田崎麻由実	伊東 峻	5
09年	21年	38年目	高橋 俊郎	佐藤伊知子・阿部 靖彦	寒河江里奈	藤原 梓	2
10年	22年	39年目	高橋 俊郎	佐藤伊知子・阿部 靖彦	伊藤 早紀	板垣 恵美	3
11年	23年	40年目	大和田直樹	佐藤伊知子・阿部 靖彦	千田 和	三浦 千緩	5
12年	24年	41年目	大和田直樹	佐藤伊知子・阿部 靖彦	千田 和	三浦 千緩	7
13年	25年	42年目	代行 福富哲也	佐藤伊知子・阿部 靖彦	村上 千尋	石田 健人	9
14年	26年	43年目	松江 克彦	佐藤伊知子・阿部 靖彦	石田 健人	里見 昌則・青沼枝里香	5
15年	27年	44年目	松江 克彦	佐藤伊知子・阿部 靖彦	八重樫真優子	安島 宏尚	2
16年	28年	45年目	松江 克彦	佐藤伊知子・阿部 靖彦	伊藤 駿	水田 沙知	0
17年	29年	46年目	松江 克彦	佐藤伊知子・阿部 靖彦	堀 武尊	堀井美沙子	2
18年	30年	47年目	梶原 洋	佐藤伊知子・阿部 靖彦	尾形 昇平	佐藤 由菜	3
19年	令和元年	48年目	梶原 洋	佐藤伊知子・阿部 靖彦	尾形 昇平	橋本 泰洋	4
20年	2年	49年目	梶原 洋	佐藤伊知子・阿部 靖彦	橋本 泰洋	細越 康太	1
21年	3年	50年目	梶原 洋	佐藤伊知子・阿部 靖彦	早川 凜	園部慎一郎	1
22年	4年	51年目	梶原 洋	佐藤伊知子・阿部 靖彦	富樫 翼	神田 幸聖・菊池 留黎	0
23年	5年	52年目	梶原 洋	佐藤伊知子・阿部 靖彦	富樫 翼	神田 幸聖	2
24年	6年	53年目	渡部 純夫	佐藤伊知子・阿部 靖彦	安田 朋夏	池田 慎	0
計							143

硬式野球部（設立と同時に加盟）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	リーグ戦春	同 秋	全日本学生	明治神宮
1962年	昭和37年	1年目	上村 学	井上 隆雄	井上 隆雄	井上 隆雄	4				
63年	38年	2年目	上村 学	照井 昭	照井 昭	後藤 弘子	1				
64年	39年	3年目	大森 純夫	永井 義人	永井 義人	後藤 弘子	7				
65年	40年	4年目	大森 純夫	菅本 昭夫	菅本 昭夫	後藤 弘子	6				
66年	41年	5年目	上村 学	菅本 昭夫	白石 忠信	後藤 弘子	10				
67年	42年	6年目	上村 学	菅本 昭夫	市ノ渡康勝	伊藤 充子	2				
68年	43年	7年目	渡辺 信英	菅本 昭夫	石母田英武	伊藤 充子	4				
69年	44年	8年目	渡辺 信英	菅本 昭夫	切金 一夫	加藤 和彦	6	リーグ戦は昭和45年开始			
70年	45年	9年目	渡辺 信英	菅本 昭夫	加藤 和彦	加藤 和彦	3	6位	6位		
71年	46年	10年目	渡辺 信英	菅本 昭夫	大村田紀代輝	大村田紀代輝	5	6位	6位		
72年	47年	11年目	大竹 榮	菅本 昭夫	菅家 正	高階 秀知	4	6位	6位		
73年	48年	12年目	大竹 榮	菅本 昭夫	川村 静雄	高階 秀知	4	5位	2位タイ		
74年	49年	13年目	大竹 榮	菅本 昭夫	藤田富士夫	高階 秀知	2	6位	3位		
75年	50年	14年目	大竹 榮	菅本 昭夫	阿部 光徳	渡辺 秀彦	5	5位	2位タイ		
76年	51年	15年目	大竹 榮	菅本 昭夫	山崎 安則	渡辺 秀彦	5	3位	3位		
77年	52年	16年目	大竹 榮	菅本 昭夫	佐々木尚文	藤田 直巳	13	4位	4位		
78年	53年	17年目	大竹 榮	菅本 昭夫	千葉 満男	八木 久寿	9	5位	2位		
79年	54年	18年目	大竹 榮	菅本 昭夫	千葉 幸喜	品川 清美	12	優勝	優勝		1回戦敗退
80年	55年	19年目	大竹 榮	菅本 昭夫	古俣 義幸	五十嵐 功	6	3位	2位		
81年	56年	20年目	大竹 榮	菅本 昭夫	岩渕 一昌	高橋十四三	19	優勝	優勝		1回戦敗退
82年	57年	21年目	大竹 榮	菅本 昭夫	大竹 松男	倉田 義孝	11	2位	優勝		
83年	58年	22年目	大竹 榮	菅本 昭夫	野田 譲	倉田 義孝	16	優勝	優勝	1回戦敗退	2回戦敗退
84年	59年	23年目	大竹 榮	菅本 昭夫	中条 誠治	川上 純孝	24	優勝	優勝	1回戦敗退	
85年	60年	24年目	大竹 榮	伊藤 義博	田川 力徒	川上 純孝	16	優勝	優勝	ベスト8	1回戦敗退
86年	61年	25年目	大竹 榮	伊藤 義博	津屋 晃	長崎 郁雄	18	優勝	優勝	ベスト8	
87年	62年	26年目	大竹 榮	伊藤 義博	藤木 豊	小川 隆	19	優勝	優勝	準優勝	ベスト8
88年	63年	27年目	大竹 榮	伊藤 義博	福田 英彦	長島 光春	23	優勝	2位	準優勝	
89年	平成元年	28年目	大竹 榮	伊藤 義博	大塚 孝二	山本 将道	41	優勝	優勝	ベスト8	ベスト4
90年	2年	29年目	大竹 榮	伊藤 義博	矢野 輝弘	丸山 泰弘	26	優勝	優勝	準優勝	ベスト4
91年	3年	30年目	大竹 榮	伊藤 義博	伊藤 博康	林 香弘	38	優勝	優勝	優勝	ベスト4
92年	4年	31年目	大竹 榮	伊藤 義博	河内 浩二	大坪 拓也	23	優勝	優勝	ベスト8	ベスト8

硬式野球部（設立と同時に加盟）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	リーグ戦春	同 秋	全日本学生	明治神宮
93年	5年	32年目	大竹 榮	伊藤 義博	野島 正弘	佐野 秀聡	30	優勝	優勝	ベスト4	ベスト8
94年	6年	33年目	大竹 榮	伊藤 義博	和田 一浩	堀 真人	22	優勝	優勝	ベスト8	1回戦敗退
95年	7年	34年目	大竹 榮	伊藤 義博	仲村 史彦	堀 真人	30	優勝	優勝	準優勝	
96年	8年	35年目	大竹 榮	伊藤 義博	美甘 将弘	大竹 浩二	39	優勝	優勝	ベスト4	準優勝
97年	9年	36年目	大竹 榮	伊藤 義博	鈴木 郁洋	萩渠 高英	23	優勝	優勝	ベスト8	ベスト8
98年	10年	37年目	大竹 榮	伊藤 義博	魚住 俊文	和田 正史	37	優勝	優勝	ベスト8	準優勝
99年	11年	38年目	大竹 榮	伊藤 義博	星川 学	永井 秀司	25	優勝	優勝	2回戦敗退	ベスト8
2000年	12年	39年目	大竹 榮	伊藤 義博	結城 充弘	雨宮 理之	40	優勝	優勝	準優勝	1回戦敗退
01年	13年	40年目	大竹 榮	伊藤 義博	石原 慶幸	柳沼 純宏	34	優勝	優勝	ベスト8	ベスト4
02年	14年	41年目	大竹 榮	伊藤 義博	堂前 篤史	後藤 一成	29	優勝	優勝	2回戦敗退	準優勝
03年	15年	42年目	大竹 榮	山路 哲生	中村 公治	佐藤 雅大	35	優勝	優勝	ベスト4	2回戦負け
04年	16年	43年目	大竹 榮	山路 哲生	塩川 達也	有田 健一	35	優勝	優勝	優勝	出場なし
05年	17年	44年目	大竹 榮	山路 哲生	薄井 康博	櫛田 茂薫	40	優勝	優勝	ベスト8	準優勝
06年	18年	45年目	大竹 榮	山路 哲生	中矢 浩次	桑原 勇人	26	2位	優勝	出場なし	1回戦敗退
07年	19年	46年目	大竹 榮	山路 哲生	井戸 順平	鈴木 悠介	36	優勝	優勝	ベスト8	なし
08年	20年	47年目	大竹 榮	山路 哲生	神戸 宏基	岡野 義昭	25	優勝	優勝	ベスト8	準優勝
09年	21年	48年目	大竹 榮	山路 哲生	伊佐山和輝	天野 新	31	優勝	優勝	1回戦敗退	ベスト8
10年	22年	49年目	大竹 榮	山路 哲生	阿部 俊人	吉見 崇	34	優勝	優勝	1回戦敗退	出場なし
11年	23年	50年目	大竹 榮	山路 哲生	生多 良介	箱田 祥希	32	優勝	優勝	1回戦敗退	ベスト4
12年	24年	51年目	大竹 榮	山路 哲生	岸田 健人	上原子祐樹	31	優勝	準優勝	2回戦敗退	出場なし
13年	25年	52年目	大竹 榮	山路 哲生	伊藤 直輝	阿部功太郎	30	優勝	優勝	ベスト8	出場なし
14年	26年	53年目	大竹 榮	山路 哲生	佐藤 卓也	井上 陽平	26	3位	優勝	出場なし	出場なし
15年	27年	54年目	大竹 榮	大塚 光二	泉 裕斗	辻 拓実	21	2位	優勝	出場なし	1回戦敗退
16年	28年	55年目	大竹 榮	大塚 光二	長坂 拳弥	辻 拓実	27	優勝	準優勝	ベスト8	出場なし
17年	29年	56年目	大竹 榮	大塚 光二	菊名 裕貴	堀 武尊	23	優勝	3位	1回戦敗退	出場なし
18年	30年	57年目	大竹 榮	大塚 光二	古川 澄也	重富 良佑	31	優勝	優勝	優勝	出場なし
19年	令和元年	58年目	大竹 榮	大塚 光二	岩崎 魁人	田尻 亮平	29	優勝	優勝	ベスト8	1回戦敗退
20年	2年	59年目	寺下 明	大塚 光二	元山 飛優	田尻 亮平	32	中止	優勝	中止	中止
21年	3年	60年目	寺下 明	大塚 光二	上林 昌義	永井 涼太	31	優勝	準優勝	1回戦敗退	出場なし
22年	4年	61年目	渡部 純夫	大塚 光二	阿部 大夢	井上 直	39	優勝	準優勝	1回戦敗退	出場なし
23年	5年	62年目	渡部 純夫	山路 哲生	中川 苍生	神田 幸聖	31	準優勝	優勝	出場なし	出場なし
24年	6年	63年目	渡部 純夫	山路 哲生	木下 大我	岩田圭一郎	35	準優勝	準優勝	出場なし	出場なし
							計 1,371				

男子バレーボール部（設立と同時に加盟。名称はバレーボール部。昭和35年短大時の卒業生もいたが、4年制になった同37年から掲載）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	リーグ戦春	同 秋	東日本インカレ	東北総体	全日本インカレ
1962年	昭和37年	1年目			金子 拓男		1					
63年	38年	2年目			佐藤 和彦		2					
64年	39年	3年目			高橋 輝夫		2					
65年	40年	4年目			原田 道芳		4					
66年	41年	5年目			高橋 紘一		3					
67年	42年	6年目	青木 博		梶原 宗通		1					
68年	43年	7年目	細井 計		柏倉 啓二	佐藤 吉邦	3					
69年	44年	8年目	細井 計		鈴木 哲	沢口 允	4					
70年	45年	9年目	細井 計		森口 正道		1					
71年	46年	10年目	細井 計		金谷 博孝		3					
72年	47年	11年目	細井 計		熊谷 啓己		0					
73年	48年	12年目	細井 計		熊谷 啓己	熊谷 啓己	5					
74年	49年	13年目	大和田直樹		伊藤 範行		0					
75年	50年	14年目	大和田直樹		佐藤 吉夫		5					
76年	51年	15年目	大和田直樹		坂田 健次	後藤 義典	4					
77年	52年	16年目	大和田直樹		麻場 広高	後藤 義典	1					
78年	53年	17年目	大和田直樹		麻場 広高	後藤 義典	1					
79年	54年	18年目	大和田直樹		古川 正博	前田 邦昭	4	2位	2位	2回戦敗退	優勝	
80年	55年	19年目	大和田直樹		村越 克敏	伊藤 寿見	1					
81年	56年	20年目	大和田直樹		坪 昭博	小形 進	1		4位		2回戦敗退	
82年	57年	21年目	大和田直樹		高橋 寛之	笠原 昭紀	1	5位	4位			
83年	58年	22年目	大和田直樹		清野 邦則	笠原 昭紀	2		6位			
84年	59年	23年目	大和田直樹		加藤 智	笠原 昭紀	3	5位	6位		2位	
85年	60年	24年目	大和田直樹		吉田 修	今泉 善夫	2	5位	6位		3位	
86年	61年	25年目	大和田直樹		板橋 宏司	笠原 丈彦	2	6位	5位			
87年	62年	26年目	大和田直樹		五十嵐一雄	笠原 丈彦	2	6位	5位		3位	
88年	63年	27年目	大和田直樹		佐藤 洋幸	笠原 丈彦	7	5位	4位			
89年	平成元年	28年目	大和田直樹		今野 明寛	山崎 紀明	6	3位	5位		3回戦敗退	
90年	2年	29年目	大和田直樹		浜上 真一	山崎 紀明	8	4位	3位		3位	
91年	3年	30年目	富田 光一		西沢 進	武井 真	8	3位	3位	2回戦敗退	優勝	
92年	4年	31年目	富田 光一		古沢 晃一	内海 貞昌	5	3位	4位	ベスト16	優勝	
93年	5年	32年目	富田 光一		浜山 桂次	佐々木一仁	5	4位	4位		3位	
94年	6年	33年目	富田 光一	今野 英雄	木村 健司	小野寺康隆	5	4位	3位		優勝	

男子バレーボール部（設立と同時に加盟。名称はバレーボール部。昭和35年短大時の卒業生もいたが、4年制になった同37年から掲載）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	リーグ戦春	同 秋	東日本インカレ	東北総体	全日本インカレ
95年	7年	34年目	富田 光一	今野 英雄	福田 大祐	小野寺康隆	4	3位	4位			
96年	8年	35年目	富田 光一	今野 英雄	堀内 琢也	小野寺康隆	7	4位	3位	3回戦敗退	優勝	
97年	9年	36年目	富田 光一	鳥野 拓実	安倍 勉	加藤 誠	2	6位	4位	1回戦敗退	優勝	
98年	10年	37年目	富田 光一	鳥野 拓実	伊藤 嘉一	加藤 誠	3	準優勝	準優勝	ベスト16	優勝	
99年	11年	38年目	富田 光一	鳥野 拓実	下野 崇	熱海 大輔	3	準優勝	優勝	ベスト16	優勝	
2000年	12年	39年目	富田 光一	鳥野 拓実	金田 崇生	熱海 大輔	5	優勝	準優勝	ベスト16	優勝	
01年	13年	40年目	富田 光一	鳥野 拓実	高橋 健一	熱海 大輔	6	優勝	優勝	ベスト16	優勝	
02年	14年	41年目	富田 光一	鳥野 拓実	高橋 直人	小坂 健児	6	優勝	準優勝	ベスト16	優勝	
03年	15年	42年目	富田 光一	鳥野 拓実	安重 司	小坂 健児	4	優勝	優勝	ベスト16		
04年	16年	43年目	富田 光一	鳥野 拓実	福島慎太郎	小坂 健児	6	優勝	優勝	ベスト16	3位	
05年	17年	44年目	富田 光一	鳥野 拓実	山口 春樹	高橋 幹央	5	準優勝	準優勝	2回戦敗退	3位	
06年	18年	45年目	富田 光一	鳥野 拓実	宍戸 伸行	及川 潤也	9	準優勝	準優勝	ベスト16	準優勝	
07年	19年	46年目	富田 光一	鳥野 拓実	杉本 裕介	及川 潤也	9	優勝	優勝	ベスト16	優勝	
08年	20年	47年目	富田 光一	鳥野 拓実	河合 裕也	越田 大	5	3位	3位	ベスト16	優勝	
09年	21年	48年目	富田 光一	鳥野 拓実	伊達 雄太	越田 大	9	3位	4位	ベスト16	3位	
10年	22年	49年目	富田 光一	鳥野 拓実	大日向祐樹	村山 光	7	4位	4位	2回戦敗退	準優勝	
11年	23年	50年目	富田 光一	鳥野 拓実	横山 貴史	村山 光	8	中止	6位	2回戦敗退	中止	
12年	24年	51年目	富田 光一	金子 剛	荒川 洋介	三浦 洋誉	5	4位	4位	初戦敗退	3位	
13年	25年	52年目	富田 光一	金子 剛	村岡 恵太	洞口 雅人	3	5位	3位	初戦敗退	3位	
14年	26年	53年目	富田 光一	金子 剛	高橋 正樹	堀米 俊樹	7	4位	3位	2回戦敗退	3位	1回戦敗退
15年	27年	54年目	富田 光一	金子 剛	太野 祐介	佐藤 朋哉	0	5位	6位	1回戦敗退	3位	予選敗退
16年	28年	55年目	富田 光一	山口 春樹	太野 祐介	佐藤 朋哉	1	5位	6位	2回戦敗退	3位	不出場
17年	29年	56年目	富田 光一	山口 春樹	辻 駿介	佐藤 朋哉	2	3位	6位	1回戦敗退	3位	不出場
18年	30年	57年目	富田 光一	山口 春樹	岩崎 翔太	富田 功貴	4	5位	4位	1回戦敗退	2回戦敗退	1回戦敗退
19年	令和元年	58年目	富田 光一	山口 春樹	荒井 武志	富田 功貴	5	4位	5位	1回戦敗退	3位	1回戦敗退
20年	2年	59年目	富田 光一	山口 春樹	友部 光貴	富田 功貴	0	中止	5位	中止	中止	不出場
21年	3年	60年目	富田 光一	安重 司	友部 光貴	富田 功貴	4	5位	6位	中止	中止	不出場
22年	4年	61年目	富田 光一	山口 春樹	山口 春樹	藤井 熙	2	5位	7位	中止	中止	不出場
23年	5年	62年目	佐藤伊知子	安重 司	嶋津 陽斗	藤井 熙	5	準優勝	4位	2回戦敗退	2回戦敗退	1回戦敗退
24年	6年	63年目	佐藤伊知子	安重 司	太田 萩也	山田 卓弥	7	6位	5位	二回戦敗退	準優勝	一回戦敗退

計 245

女子バレーボール部（設立と同時に加盟。男女分離は昭和44年、同43年に卒業生1人あり）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	リーグ戦春	同 秋	全日本	東北選手権	東日本	東北総体
1969年	昭和44年	1年目	大和田直樹	大和田直樹	荒井 明子		1	2部	2部				
70年	45年	2年目	大和田直樹	大和田直樹	赤間 淑子		1	2部	2部				
71年	46年	3年目	大和田直樹	大和田直樹	佐久間みち		0	2部	2部				
72年	47年	4年目	大和田直樹	大和田直樹	佐久間みち		3	1部5位	1部4位				
73年	48年	5年目	大和田直樹	大和田直樹	佐藤 和子		1	2部	2部				
74年	49年	6年目	大和田直樹	大和田直樹	高橋真知子	高橋 昌子	3	2部	2部				
75年	50年	7年目	大和田直樹	大和田直樹	斎藤 裕子	皆川 嘉子	2	1部5位	1部3位		3位		2位
76年	51年	8年目	大和田直樹	大和田直樹	渡辺 孝子	渡辺 久子	2	1部2位	優勝		2位		2位
77年	52年	9年目	大和田直樹	大和田直樹	佐々木佐恵子	瀬戸 礼子	3	1部2位	優勝		2位		優勝
78年	53年	10年目	大和田直樹	大和田直樹	柴崎 京子	高橋 淳子	2	優勝	優勝	ベスト16	優勝	ベスト8	優勝
79年	54年	11年目	大和田直樹	大和田直樹	松屋 妙子	鈴木 節子	3	優勝	優勝	ベスト8	優勝	ベスト8	優勝
80年	55年	12年目	大和田直樹	大和田直樹	河村 久子	星野 文子	4	優勝	優勝	ベスト16	優勝	ベスト8	優勝
81年	56年	13年目	大和田直樹	大和田直樹	河村 久子	柴田 昌子	6	優勝	優勝	ベスト16	優勝	ベスト8	優勝
82年	57年	14年目	大和田直樹	大和田直樹	首藤まゆみ	木村 史子	3	優勝	優勝	ベスト8	優勝	ベスト8	優勝
83年	58年	15年目	大和田直樹	大和田直樹	鈴木みち枝	藤田 玲子	2	優勝	優勝	ベスト8	優勝	ベスト16	優勝
84年	59年	16年目	大和田直樹	大和田直樹	桜井 美紀	後藤千鶴子	2	優勝	優勝	ベスト8	優勝	ベスト16	優勝
85年	60年	17年目	大和田直樹	大和田直樹	桜井 美紀	堀口 素子	4	優勝	優勝	ベスト8	優勝	準優勝	優勝
86年	61年	18年目	大和田直樹	大和田直樹	佐藤伊知子	堀口 素子	3	優勝	優勝	準優勝	優勝	ベスト4	優勝
87年	62年	19年目	大和田直樹	大和田直樹	江刺 静恵	松本 国江	4	優勝	優勝	ベスト4	優勝	ベスト8	優勝
88年	63年	20年目	大和田直樹	大和田直樹	佐藤 潤子	門間 明子	6	優勝	優勝	3回戦敗退	優勝	ベスト4	優勝
89年	平成元年	21年目	大和田直樹	大和田直樹	菊地原晶子	荒井 美香	2	優勝	優勝	ベスト8	優勝	ベスト4	優勝
90年	2年	22年目	大和田直樹	大和田直樹	菊地原晶子	石川 春美	7	優勝	優勝	ベスト8	優勝	ベスト4	優勝
91年	3年	23年目	大和田直樹	大和田直樹	遠藤たかね	菅原さち子	6	優勝	優勝	ベスト4	優勝	ベスト4	
92年	4年	24年目	大和田直樹	大和田直樹	高橋由紀子	西郷由紀江	11	優勝	優勝	準優勝	優勝	ベスト4	
93年	5年	25年目	大和田直樹	大和田直樹	高橋由紀子	西郷由紀江	1	優勝	優勝	3位	優勝	ベスト4	優勝
94年	6年	26年目	大和田直樹	佐藤伊知子	沼里かおる	角田由美子	8	優勝	優勝	ベスト8	優勝	ベスト4	
95年	7年	27年目	大和田直樹	佐藤伊知子	板橋 恵	斎藤 倫恵	6	優勝	優勝	ベスト8	優勝	3位	
96年	8年	28年目	大和田直樹	佐藤伊知子	尾形かつえ	川口さゆり	7	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝
97年	9年	29年目	大和田直樹	佐藤伊知子	椎尾 紫乃	山島 祝子	7	優勝	優勝	ベスト4	優勝	準優勝	
98年	10年	30年目	大和田直樹	佐藤伊知子	福田まどか	大友美香子	3	優勝	優勝	予選敗退		ベスト8	優勝
99年	11年	31年目	大和田直樹	佐藤伊知子	旭 範子	大友美香子	8	優勝	優勝	ベスト16	優勝	準優勝	優勝
2000年	12年	32年目	大和田直樹	佐藤伊知子	白土 智子	石井 勝子	4	優勝	優勝	ベスト8	優勝	優勝	優勝
01年	13年	33年目	大和田直樹	佐藤伊知子	佐々木由香	佐々木礼弥	5	優勝	優勝	ベスト4		ベスト4	優勝

女子バレーボール部（設立と同時に加盟。男女分離は昭和44年、同43年に卒業生1人あり）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	リーグ戦春	同 秋	全日本	東北選手権	東日本	東北総体
02年	14年	34年目	大和田直樹	佐藤伊知子	吉田 あい	佐々木礼弥	6	優勝	優勝	準優勝		ベスト 8	優勝
03年	15年	35年目	大和田直樹	佐藤伊知子	上松 沙織	船橋 茜	10	優勝	優勝	ベスト 8		準優勝	
04年	16年	36年目	大和田直樹	佐藤伊知子	黒羽 桂子	成井 里穂	6	優勝	優勝	ベスト 8		準優勝	優勝
05年	17年	37年目	大和田直樹	佐藤伊知子	中谷 琴恵	成井 里穂	5	優勝	優勝	ベスト 8	優勝	ベスト 8	優勝
06年	18年	38年目	大和田直樹	佐藤伊知子	小田切桂子	須藤 香織	2	優勝	優勝	ベスト 8	優勝	ベスト 8	優勝
07年	19年	39年目	大和田直樹	佐藤伊知子	末永 理恵	須藤 香織	8	優勝	優勝	ベスト16	なし	ベスト 8	優勝
08年	20年	40年目	大和田直樹	大和田直樹	酒井 亜惟	佐藤 春奈	2	優勝	優勝	ベスト 8	なし	ベスト 8	優勝
09年	21年	41年目	大和田直樹	佐藤伊知子	川本 歩実	佐藤 春奈	9	優勝	優勝	ベスト16	なし	ベスト 8	優勝
10年	22年	42年目	大和田直樹	佐藤伊知子	佐藤絵理香	黒澤友紀子	6	1部2位	1部2位	初戦敗退	なし	ベスト16	優勝
11年	23年	43年目	大和田直樹	佐藤伊知子	入口 菜緒	皆川 郁	8	中止	優勝	ベスト 8	なし	ベスト16	中止
12年	24年	44年目	大和田直樹	佐藤伊知子	今井 千裕	山田 千鶴	5	優勝	1部2位	2回戦敗退	なし	ベスト 8	2位
13年	25年	45年目	鈴木 久子	佐藤伊知子	吉田 有里	濱地 翔子	7	優勝	1部2位	ベスト32	なし	ベスト 8	2位
14年	26年	46年目	鈴木 久子	佐藤伊知子	渡邊 久恵	佐藤 加菜	3	優勝	1部2位	ベスト16	なし	ベスト 8	2位
15年	27年	47年目	鈴木 久子	佐藤伊知子	齋藤加奈子	市川 愛理	2	優勝	優勝	ベスト 8	なし	準優勝	優勝
16年	28年	48年目	鈴木 久子	佐藤伊知子	齋藤加奈子	市川 愛理	5	優勝	優勝	ベスト 8	なし	優勝	優勝
17年	29年	49年目	鈴木 久子	佐藤伊知子	柳下 夏苗	猪股 琴音	6	優勝	優勝	ベスト16	なし	ベスト 4	優勝
18年	30年	50年目	鈴木 久子	佐藤伊知子	澤田 由佳	福井 美紗	3	優勝	1部2位	ベスト16	なし	ベスト 8	優勝
19年	令和元年	51年目	佐藤伊知子	松田健太郎	境 紗里奈	福井 美紗	10	優勝	優勝	ベスト16	なし	ベスト 8	優勝
20年	2年	52年目	佐藤伊知子	松田健太郎	高石 明美	前田 萌木	5	中止	優勝	ベスト 8	中止	中止	中止
21年	3年	53年目	佐藤伊知子	松田健太郎	中村 桃子	野原 彩衣	9	優勝	1部2位	初戦敗退	中止	中止	中止
22年	4年	54年目	佐藤伊知子	松田健太郎	間野安里彩	磯前明日香	7	1部2位	優勝	初戦敗退		2回戦敗退	
23年	5年	55年目	佐藤伊知子	松田健太郎	長谷川彩七	大室 友華	3	準優勝	優勝	2回戦敗退		2回戦敗退	優勝
24年	6年	56年目	佐藤伊知子	松田健太郎	本間 有紗	大室 友華	5	優勝	1部2位	初戦敗退		ベスト16	
計 262													

男子卓球部（設立と同時に加盟。女子加入は昭和39年、男女分離は同62年）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	リ－グ戦春	同 秋	全日本大学対抗	全日本学生	東北総体
1961年	昭和36年	1年目	細谷 昂	細谷 昂	佐藤 進一	佐藤 進一	0					
62年	37年	2年目	細谷 昂	細谷 昂	佐藤 進一	小原 茂明	0					
63年	38年	3年目	細谷 昂	細谷 昂	佐藤 進一	小原 茂明	0					
64年	39年	4年目	栗原 万修	栗原 万修	佐藤 進一	小原 茂明	1					
65年	40年	5年目	栗原 万修	栗原 万修	小原 茂明	石川 信光	1					
66年	41年	6年目			佐藤 明彦	若山 忍	2					
67年	42年	7年目			若山 忍	若山 静子	1					
68年	43年	8年目	渡辺 勝人	渡辺 勝人	佐藤 淑郎	佐々木憲子	2					
69年	44年	9年目	渡辺 勝人	渡辺 勝人	吉野 一之	皆川 透	4					
70年	45年	10年目	渡辺 勝人	渡辺 勝人	横田 慎夫	千葉 幸喜	3					
71年	46年	11年目	渡辺 勝人	渡辺 勝人	宮田 英夫	猪狩 寿夫	1					
72年	47年	12年目	坂本 孝温	坂本 孝温	猪狩 寿夫	福田 洋志	2					
73年	48年	13年目	坂本 孝温	坂本 孝温	村田 博之	板垣 平次	2					
74年	49年	14年目	坂本 孝温	坂本 孝温	吉田 勝彦	牛山 俊夫	1					
75年	50年	15年目	坂本 孝温	坂本 孝温	丸山 昭	島津 愛郎	1		Ⅱ部4位			
76年	51年	16年目	坂本 孝温	坂本 孝温	丸山 昭	島津 愛郎	5		Ⅱ部3位			
77年	52年	17年目	坂本 孝温	坂本 孝温	小関 正男	松田 長悦	3	Ⅱ部4位	Ⅱ部2位			ベスト16
78年	53年	18年目	坂本 孝温	坂本 孝温	佐藤 明彦	村山 秀雄	3	Ⅱ部1位	Ⅰ部5位			
79年	54年	19年目	坂本 孝温	坂本 孝温	竹中 弘光	小泉 富男	4	Ⅰ部3位	Ⅰ部3位	初出場		準優勝
80年	55年	20年目	坂本 孝温	柴田 幸男	中野 敏	相沢 正	5	Ⅰ部3位	Ⅰ部3位	ベスト32		優勝
81年	56年	21年目	坂本 孝温	柴田 幸男	秋葉 正昭	芳賀 浩平	5	Ⅰ部1位	Ⅰ部1位			優勝
82年	57年	22年目	坂本 孝温	柴田 幸男	本間 雅人	大滝 勤	3	Ⅰ部1位	Ⅰ部2位	ベスト32		優勝
83年	58年	23年目	坂本 孝温	柴田 幸男	三浦 高広	大滝 勤	7	Ⅰ部2位	Ⅰ部2位	ベスト32		準優勝
84年	59年	24年目	坂本 孝温	柴田 幸男	杉木 祥八	佐藤 英之	4	Ⅰ部3位	Ⅰ部1位	ベスト32		優勝
85年	60年	25年目	坂本 孝温	柴田 幸男	橘田 勝	佐藤 英之	8	Ⅰ部1位	Ⅰ部2位	ベスト32		優勝
86年	61年	26年目	坂本 孝温	柴田 幸男	岡山 光昭	横山 直哉	7	Ⅰ部1位	Ⅰ部1位	ベスト32	楊玉華 優勝	優勝
87年	62年	27年目	坂本 孝温	本間 雅人	渡辺 家伸	横山 直哉	6	Ⅰ部1位	Ⅰ部1位	ベスト32	楊玉華 優勝	優勝
88年	63年	28年目	坂本 孝温	本間 雅人	一毛 正典	岩瀬 潔	4	Ⅰ部1位	Ⅰ部1位	ベスト32	楊玉華 優勝	
89年	平成元年	29年目	坂本 孝温	本間 雅人	渡部 俊介	鈴木 博	12	Ⅰ部1位	Ⅰ部1位	ベスト8	楊玉華 優勝	優勝
90年	2年	30年目	坂本 孝温	本間 雅人	山崎 卓己	柴原 優	9	Ⅰ部1位	Ⅰ部1位	ベスト32		優勝
91年	3年	31年目	坂本 孝温	本間 雅人	沢島 寿徳	後藤信太郎	7	Ⅰ部1位	Ⅰ部1位	ベスト32		準優勝
92年	4年	32年目	坂本 孝温	楊 玉華	蛭田 仲達	大澤 敏行	5	Ⅰ部1位	Ⅰ部1位	ベスト32		準優勝

男子卓球部（設立と同時に加盟。女子加入は昭和39年、男女分離は同62年）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	リ－グ戦春	同 秋	全日本大学対抗	全日本学生	東北総体
93年	5年	33年目	坂本 孝温	楊 玉華	城丸 哲宏	高橋 俊行	3	I部1位	I部1位	ベスト16		優勝
94年	6年	34年目	坂本 孝温	本間 雅人	佐藤 智明	高橋 俊行	6	I部1位	I部1位	ベスト16		準優勝
95年	7年	35年目	坂本 孝温	本間 雅人	竹内 伸一	栗崎 正勝	7	I部2位	I部1位	ベスト16		優勝
96年	8年	36年目	坂本 孝温	本間 雅人	中村 賢治	三浦 浩治	2	I部2位	I部2位	ベスト16		優勝
97年	9年	37年目	坂本 孝温	楊 玉華	横山 公治	三浦 浩治	4	I部2位	I部1位	ベスト32		準優勝
98年	10年	38年目	坂本 孝温	楊 玉華	佐藤 修一	小林 道生	5	I部1位	I部2位	ベスト32		優勝
99年	11年	39年目	坂本 孝温	楊 玉華	木下 雅晴	大柳 徳寿	5	I部1位	I部1位	ベスト16	木下雅晴 15位	優勝
2000年	12年	40年目	坂本 孝温	楊 玉華	菊地 琢也	岩橋 聖高	3	I部2位	I部3位	ベスト16		3位
01年	13年	41年目	坂本 孝温	楊 玉華	木下 順晴	岩橋 聖高	4	I部3位	I部2位	ベスト16		3位
02年	14年	42年目	坂本 孝温	大倉 峰雄	中村 稔	高橋 康晃	5	I部3位	I部3位	ベスト32		準優勝
03年	15年	43年目	坂本 孝温	大倉 峰雄	小塚 利典	野村 智宏	6	I部2位	I部2位	ベスト32		ベスト8
04年	16年	44年目	坂本 孝温	大倉 峰雄	藤平 泰宏	平岩 徹	6	I部2位	I部2位	ベスト32		3位
05年	17年	45年目	坂本 孝温	大倉 峰雄	出村 祐二	西澤 尚輝	4	I部2位	I部2位	ベスト32		3位
06年	18年	46年目	坂本 孝温	大倉 峰雄	上原 幸貴	西澤 尚輝	6	I部2位	I部2位	ベスト32		優勝
07年	19年	47年目	坂本 孝温	大倉 峰雄	茂木 啓介	仲田 貴保	7	I部2位	I部2位	ベスト32		3位
08年	20年	48年目	坂本 孝温	大倉 峰雄	掛水 康平	矢野 達也	7	I部3位	I部3位	ベスト32		優勝
09年	21年	49年目	坂本 孝温	大倉 峰雄	土井 孝洋	刑部 貴明	5	I部1位	I部1位	ベスト32		3位
10年	22年	50年目	坂本 孝温	大倉 峰雄	得能 将平	刑部 貴明	8	I部3位	I部1位	ベスト32		2位
11年	23年	51年目	坂本 孝温	大倉 峰雄	田中 慎也	永澤 潤	7	I部2位	I部1位	ベスト32		2位
12年	24年	52年目	坂本 孝温	大倉 峰雄	才田 康久	菅野 智史	4	I部3位	I部3位	ベスト32		
13年	25年	53年目	大倉 峰雄	大倉 峰雄	齋藤 直道	寺田 健太	8	I部3位	I部2位	ベスト32		
14年	26年	54年目	大倉 峰雄	大倉 峰雄	佐々 翼	森田 浩之	7	I部2位	I部2位	ベスト32		
15年	27年	55年目	大倉 峰雄	大倉 峰雄	今野 文陽	小山 郷	3	I部1位	I部1位	ベスト32		
16年	28年	56年目	大倉 峰雄	大倉 峰雄	安藤 博貴	小山 郷	7	I部1位	I部1位	ベスト32		
17年	29年	57年目	大倉 峰雄	大倉 峰雄	須藤 豊	小山 郷	7	I部1位	I部1位	ベスト32		
18年	30年	58年目	大倉 峰雄	大倉 峰雄	相原 和幸	岩渕 晟	3	I部1位	I部1位	ベスト32		
19年	令和元年	59年目	大倉 峰雄	大倉 峰雄	加藤 大明	岩渕 晟	7	I部1位	I部1位	予選敗退		
20年	2年	60年目	大倉 峰雄	大倉 峰雄	今井 洸気	吉澤 寅泰	4	(すべて辞退)				
21年	3年	61年目	大倉 峰雄	大倉 峰雄	佐藤 汰一	吉澤 寅泰	9	I部2位	中止	予選敗退		
22年	4年	62年目	大倉 峰雄	須藤 豊	熊谷 悠誠	飯澤 大河	11	2位	1位	ベスト32		
23年	5年	63年目	大倉 峰雄	須藤 豊	入江 崇武	飯田 康平	5	I部1位	I部1位	ベスト32		
24年	6年	64年目	大倉 峰雄	須藤 豊	入江 崇宗	飯田 康平	11	I部1位	I部1位	ベスト32		
							計 304					

女子卓球部（設立と同時に加盟。女子加入は昭和39年、男女分離は同62年）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	リーグ戦春	同 秋	全日本大学対抗	全日本学生	東北総体
1964年	昭和39年	1年目	栗原 万修	栗原 万修	若山 静子	若山 静子	0					
65年	40年	2年目	栗原 万修	栗原 万修	若山 静子	佐々木憲子	0					
66年	41年	3年目			若山 静子	佐々木憲子	0					
67年	42年	4年目			若山 静子	佐々木憲子	1					
68年	43年	5年目	渡辺 勝人	渡辺 勝人	佐々木憲子	今 芳子	2					
69年	44年	6年目	渡辺 勝人	渡辺 勝人	今 芳子	小椋三栄子	3					
70年	45年	7年目	渡辺 勝人	渡辺 勝人	小椋三栄子	佐々木恭子	0					
71年	46年	8年目	渡辺 勝人	渡辺 勝人	斎藤ソノ子	富樫富貴子	0					
72年	47年	9年目	坂本 孝温	坂本 孝温	横山 泰子	実戸久美子	4					
73年	48年	10年目	坂本 孝温	坂本 孝温	菊地 裕子	川口三枝子	5					
74年	49年	11年目	坂本 孝温	坂本 孝温	氏田青津子	工藤 明子	2					
75年	50年	12年目	坂本 孝温	坂本 孝温	木内千恵子	北村 智子	5		I部3位			3位
76年	51年	13年目	坂本 孝温	坂本 孝温	佐瀬 裕子	狩野 孝江	1		I部3位			
77年	52年	14年目	坂本 孝温	坂本 孝温	狩野 孝江	佐久間若子	2	I部2位	I部4位			
78年	53年	15年目	坂本 孝温	坂本 孝温	石橋久美子	千葉 優子	5	I部4位	I部4位			
79年	54年	16年目	坂本 孝温	坂本 孝温	大町 直子	佐藤 由美	4	I部3位	I部2位	ベスト32		ベスト8
80年	55年	17年目	坂本 孝温	柴田 幸男	松尾 敏恵	太田 文子	2	I部1位	I部1位			優勝
81年	56年	18年目	坂本 孝温	柴田 幸男	鶴田 美穂	大谷 富江	1	I部1位	I部1位			優勝
82年	57年	19年目	坂本 孝温	柴田 幸男	小瀬川真帆	大谷 富江	4	I部1位	I部2位	ベスト32		優勝
83年	58年	20年目	坂本 孝温	柴田 幸男	押野 恵美	大滝 勤	2	I部1位	I部1位	ベスト16		準優勝
84年	59年	21年目	坂本 孝温	柴田 幸男	大森由起子	小菅けい子	5	I部1位	I部1位			優勝
85年	60年	22年目	坂本 孝温	柴田 幸男	多田真江子	小野 正文	3	I部1位	I部1位	ベスト32		優勝
86年	61年	23年目	坂本 孝温	柴田 幸男	信楽ゆたか	横山 直哉	1	I部1位	I部1位	ベスト32		優勝
87年	62年	24年目	柴田 幸男	柴田 幸男	蜂谷 瑞枝	岩瀬 潔	1	I部2位	I部1位	ベスト16		3位
88年	63年	25年目	柴田 幸男	柴田 幸男	高橋 寿子	岩瀬 潔	3	I部1位	I部1位	7位		
89年	平成元年	26年目	柴田 幸男	柴田 幸男	中村はるみ	鈴木 博	4	I部1位	I部1位	ベスト16	伊藤利恵子 15位	優勝
90年	2年	27年目	柴田 幸男	柴田 幸男	佐々木美加子	柴原 優	4	I部1位	I部1位	ベスト16		優勝
91年	3年	28年目	柴田 幸男	柴田 幸男	田宮千代美	後藤信太郎	4	I部1位	I部1位	ベスト32		優勝
92年	4年	29年目	柴田 幸男	柴田 幸男	山本みゆき	大澤 敏行	1	I部1位	I部1位	ベスト32		優勝
93年	5年	30年目	柴田 幸男	柴田 幸男	斉藤 靖子	高橋 俊行	5	I部1位	I部1位	6位	胡敏 11位	優勝
94年	6年	31年目	柴田 幸男	柴田 幸男	長谷川恵理子	栗崎 正勝	3	I部1位	I部1位	ベスト16		優勝
95年	7年	32年目	柴田 幸男	柴田 幸男	山本 真弓	三浦 浩治	4	I部1位	I部1位	ベスト16		優勝
96年	8年	33年目	柴田 幸男	柴田 幸男	白滝 裕子	三浦 浩治	5	I部1位	I部1位	3位		優勝

女子卓球部（設立と同時に加盟。女子加入は昭和39年、男女分離は同62年）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	リーグ戦春	同 秋	全日本大学対抗	全日本学生	東北総体
97年	9年	34年目	柴田 幸男	柴田 幸男	寒河江美輝	小林 道生	5	I部1位	I部2位	3位	金京 優勝	優勝
98年	10年	35年目	柴田 幸男	柴田 幸男	木下 晴子	大柳 徳寿	4	I部1位	I部1位	ベスト16	劉2位 金京3位	優勝
99年	11年	36年目	柴田 幸男	柴田 幸男	小田亜朱香	岩橋 聖高	3	I部1位	I部1位	ベスト32		優勝
2000年	12年	37年目	柴田 幸男	柴田 幸男	佐々木亜由美	高橋 康晃	5	I部1位	I部1位	ベスト16		優勝
01年	13年	38年目	柴田 幸男	柴田 幸男	蜂谷 祥子	高橋 康晃	5	I部1位	I部1位	3位	劉 優勝	優勝
02年	14年	39年目	柴田 幸男	柴田 幸男	春木 美鈴	今井 智子	5	I部1位	I部1位	ベスト16		優勝
03年	15年	40年目	柴田 幸男	柴田 幸男	武井亜沙子	野村 智宏	5	I部1位	I部1位	ベスト16		優勝
04年	16年	41年目	柴田 幸男	柴田 幸男	赤川 佳	平岩 徹	5	I部1位	I部1位	ベスト16		優勝
05年	17年	42年目	柴田 幸男	柴田 幸男	三原 沙織	西澤 尚輝	5	I部1位	I部1位	ベスト16		優勝
06年	18年	43年目	柴田 幸男	柴田 幸男	玉木 杏子	西澤 尚輝	4	I部1位	I部1位	ベスト16	王木杏子 ベスト8	
07年	19年	44年目	柴田 幸男	柴田 幸男	小泉 裕子	仲田 貴保	2	I部1位	I部1位	ベスト32		
08年	20年	45年目	柴田 幸男	柴田 幸男	島津 美紀	矢野 達也	2	I部1位	I部1位	ベスト32		
09年	21年	46年目	柴田 幸男	柴田 幸男	曹 嘉	刑部 貴明	7	I部1位	I部1位	ベスト32		
10年	22年	47年目	柴田 幸男	柴田 幸男	橋本 斐	刑部 貴明	3	I部2位	I部1位	ベスト32		
11年	23年	48年目	柴田 幸男	柴田 幸男	須藤真紀子	永澤 潤	6	I部1位	I部1位	ベスト32		
12年	24年	49年目	柴田 幸男	柴田 幸男	五十嵐真美	菅野 智史	4	I部2位	I部1位	ベスト32		
13年	25年	50年目	柴田 幸男	柴田 幸男	松田亜由美	寺田 健太	5	I部1位	I部1位	ベスト32		
14年	26年	51年目	柴田 幸男	柴田 幸男	山岸央里恵	森田 浩之	6	I部1位	I部1位	ベスト32		
15年	27年	52年目	柴田 幸男	柴田 幸男	大滝 幹実	小山 郷	4	I部1位	I部1位	ベスト32		
16年	28年	53年目	柴田 幸男	柴田 幸男	米倉 希	小山 郷	3	I部1位	I部1位	ベスト32		
17年	29年	54年目	柴田 幸男	柴田 幸男	貝塚 杏香	小山 郷	3	I部1位	I部1位	ベスト32		
18年	30年	55年目	柴田 幸男	本間 雅人	山崎 麗奈	遠藤 大丘	5	I部1位	I部1位	ベスト32		
19年	令和元年	56年目	本間 雅人	岩周 宏展	山崎 麗奈	遠藤 大丘	4	I部1位	I部1位	ベスト32		
20年	2年	57年目	本間 雅人	岩周 宏展	柳田 校子	阿部美紗希	4			(すべて中止)		
21年	3年	58年目	本間 雅人	岩周 宏展	松田 涼花	阿部美紗希	4	I部1位	中止	ベスト32		
22年	4年	59年目	本間 雅人	岩周 宏展	本間 柚衣	長岩 楓子	5	I部1位	I部2位	予選敗退		
23年	5年	60年目	本間 雅人	岩周 宏展	伊藤穂南美	佐藤理佳子	2	I部1位	I部1位	ベスト32		
24年	6年	61年目	本間 雅人	岩周 宏展	三浦亜加利	佐藤理佳子	6	I部2位	I部1位	ベスト32		
							計 121					

テニス部 (設立と同時に加盟、平成 16 年にソフトテニス部から名称変更)

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	男	歴代主将	女	歴代主務	卒業人数	男	東北総体	女	男	全日本王座	女
1960 年	昭和 35 年	1 年目							0						
61 年	36 年	2 年目							4						
62 年	37 年	3 年目							1						
63 年	38 年	4 年目							0						
64 年	39 年	5 年目			百瀬 俊風				1						
65 年	40 年	6 年目			西 孝彰				3						
66 年	41 年	7 年目			樋沢 晃				1						
67 年	42 年	8 年目			尾上 公敏				3						
68 年	43 年	9 年目			吉田 明洋				0						
69 年	44 年	10 年目			吉田 明洋				6						
70 年	45 年	11 年目	渡辺 勝人		松本 賢二				4						
71 年	46 年	12 年目	渡辺 勝人		松本 賢二				3						
72 年	47 年	13 年目	高橋 俊郎		太田 有時				6						
73 年	48 年	14 年目	高橋 俊郎		若林 清				3						
74 年	49 年	15 年目	今泉 芳邦		菅野 悦雄				6						
75 年	50 年	16 年目	今泉 芳邦		高橋 保行				3						
76 年	51 年	17 年目	今泉 芳邦		大野 定利				2						
77 年	52 年	18 年目	小松 紘		野田伊津岐				7						
78 年	53 年	19 年目	小松 紘		春摘 暢仁			渋井 智子	5						
79 年	54 年	20 年目	小松 紘		兼子 直美			中山 玲子	3						
80 年	55 年	21 年目	小松 紘		永山 晋			佐藤 和子	6						
81 年	56 年	22 年目	小松 紘		森田 仁司			庄司 晴美	7					大会開始	
82 年	57 年	23 年目	小松 紘	菊池 正孝	志賀 裕			岡本 和宏	7	優勝					
83 年	58 年	24 年目	小松 紘	菊池 正孝	北野 誠			高橋 直人	7	3 位					
84 年	59 年	25 年目	小松 紘	菊池 正孝	門間 巧			高橋 光治	4	優勝					
85 年	60 年	26 年目	谷藤 悦史	菊池 正孝	小野 哲			熊谷 新二	6						
86 年	61 年	27 年目	谷藤 悦史	菊池 正孝	荒井 謙二			小松 龍哉	6						
87 年	62 年	28 年目	谷藤 悦史	菊池 正孝	岸 貴晴			鈴木 要	4				予選敗退		
88 年	63 年	29 年目	谷藤 悦史	菊池 正孝	千葉 高			伊藤 哲也	8		優勝				
89 年	平成元年	30 年目	寺下 明	菊池 正孝	加藤 慎一			和田 瑞弘	9		優勝			3 位	
90 年	2 年	31 年目	寺下 明	菊池 正孝	高橋 孝信			夏堀 一彦	8		優勝		3 位	予選敗退	
91 年	3 年	32 年目	藤井 浩司	菊池 正孝	伊藤 隆一			石井 宏行	6	優勝				予選敗退	

テニス部 (設立と同時に加盟、平成16年にソフトテニス部から名称変更)

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	男	歴代主将	女	歴代主務	卒業人数	男	東北総体	女	男	全日本王座	女
92年	4年	33年目	藤井 浩司	菊池 正孝	佐久間正和	佐藤 淳子	北林 真	15			優勝				
93年	5年	34年目	藤井 浩司	菊池 優子	米川 健	須藤 陽子	小山 浩美	9		2位	優勝		予選敗退		
94年	6年	35年目	梶原 洋	菊池 優子	藤沢 勉吾	千葉 清美	小山 浩美	9			優勝		予選敗退		予選敗退
95年	7年	36年目	梶原 洋	菊池 優子	伊藤 秀之	藤原 由佳	小松 泉	6			優勝				
96年	8年	37年目	梶原 洋	菊池 優子	加藤 雅哉	吉田 昌世	小松 泉	2			優勝				
97年	9年	38年目	小野寺五典	菊池 優子	佐藤 慎一	鍾水 幸恵	田部 桂	6			優勝				
98年	10年	39年目	江尻 行男	菊池 優子	富樫 仁	北林芽久美	田部 桂	3		2位	優勝			予選敗退	予選敗退
99年	11年	40年目	江尻 行男	菊池 優子	熊谷 祐介	平野 恭子	奥山 豪	10		ベスト8	優勝		予選敗退		
2000年	12年	41年目	江尻 行男	菊池 優子	佐藤 圭一	山崎 良子	佐渡 悠記	9		ベスト8	優勝		予選敗退		
01年	13年	42年目	江尻 行男	今野 優子	吉田 和正	工藤 史恵	木村 文恵	7		優勝	優勝		予選敗退		
02年	14年	43年目	江尻 行男	今野 優子	川原 大樹	山本さと美	白石 賢三	1		優勝	準優勝		予選敗退		予選敗退
03年	15年	44年目	江尻 行男	今野 優子	佐藤 俊一	山本さと美	白石 賢三	10		優勝	準優勝		4位		
04年	16年	45年目	江尻 行男	今野 優子	安藤 寛	猪瀬 直美	藤林 卓也	10		優勝	準優勝		準優勝		
05年	17年	46年目	江尻 行男	今野 優子	佐々木洋介	藤澤 美帆	中野目貴士	10		優勝	優勝		3位		
06年	18年	47年目	江尻 行男	今野 優子	高見 弘明	丸井絵美子	中野目貴士	16		優勝	優勝		予選敗退	4位	
07年	19年	48年目	江尻 行男	今野 優子	柳沼 拓弥	北田 美穂	佐藤 大和	10		優勝	優勝		4位		予選敗退
08年	20年	49年目	江尻 行男	今野 優子	高橋 洸希	大宮 美咲	佐藤 大和	18		優勝	優勝		準優勝		予選敗退
09年	21年	50年目	江尻 行男	今野 優子	森田 祐哉	大山 祐奈	斎藤 達也	17		優勝	優勝		予選敗退		予選敗退
10年	22年	51年目	江尻 行男	今野 優子	若梅 弘敏	河瀬 有貴	高山 昌樹	9		準優勝	準優勝		予選敗退		予選敗退
11年	23年	52年目	江尻 行男	今野 優子	林 瑞樹	堤 竜理	横山 栄人	9		中止	中止		予選敗退		予選敗退
12年	24年	53年目	江尻 行男	今野 優子	野崎 諒	小瀬村淳美	岡田 健斗	6		優勝	優勝		予選敗退		予選敗退
13年	25年	54年目	江尻 行男	石森 慶哉 今野 優子	岩城 剛	小瀬村淳美	白石 愛美 男子 小山	6		優勝	優勝		予選敗退		予選敗退
14年	26年	55年目	菅原 好秀	菅原 隆志 男子 今野 優子	田中 健	沼尻 裕美	男子 江刺 考基 女子 金内みさき	11		優勝	準優勝		予選敗退		予選敗退
15年	27年	56年目	菅原 好秀	菅原 隆志 男子 今野 優子	佐藤 孝一	成田 絢子	男子 富塚 経平 女子 高橋 未来	5		準優勝	準優勝		予選敗退		
16年	28年	57年目	菅原 好秀	菅原 隆志 男子 今野 優子	前田 恭輔	木谷 優美	男子 富塚 経平 女子 高崎 里歩	6		優勝	優勝		リーグ敗退		準優勝
17年	29年	58年目	菅原 好秀	菅原 隆志 男子 今野 優子	阿部 智貴	小野寺 萌	男子 藤原 優平 女子 高崎 里歩	6		優勝	ベスト8		4位		リーグ敗退
18年	30年	59年目	菅原 好秀	菅原 隆志 男子 今野 優子	吉川 智朗	久保 智子	男子 菅原 隆志 女子 上村 優人	5		優勝	優勝		リーグ敗退		リーグ敗退
19年	令和元年	60年目		菅原 隆志 男子 今野 優子	玉澤 直人	小松田美優	男子 工藤 可惟 女子 上村 琴江	10		優勝	優勝		リーグ敗退		
20年	2年	61年目		菅原 隆志 男子 今野 優子	早坂隆之介	小林 萌	男子 工藤 可惟 女子 戸来 文音	5		(すべて中止)					
21年	3年	62年目		菅原 隆志 男子 今野 優子	松田 直大	戸来 文音	男子 山口 順寛 女子 戸来 文音	6		準優勝				中止	
22年	4年	63年目		菅原 隆志 男子 今野 優子	高橋 俊貴		男子 村田 和馬 女子	3		準優勝				中止	
23年	5年	64年目		菅原 隆志 男子 今野 優子	飯淵 新大		男子 村田 和馬	7		準優勝					
24年	6年	65年目		菅原 隆志 男子 今野 優子	葛西 侑音		男子 吉川 柊太	4		準優勝			リーグ敗退		
									計	405					

バドミントン部 (前身は昭和41年にさかのぼる。卒業生も同44年までに7人がいた。設立と同時に加盟)

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	リーグ戦				東北総体		東日本		全日本	
								男子		女子		男子	女子	男子	女子	男子	女子
								春	秋	春	秋						
1970年	昭和45年	1年目	須田 勝弥				1										
71年	46年	2年目	武田 忠				0										
72年	47年	3年目	武田 忠				1										
73年	48年	4年目	内海 正				2										
74年	49年	5年目	内海 正				1										
75年	50年	6年目	内海 正				7										
76年	51年	7年目	横田 信義				5										
77年	52年	8年目	横田 信義				5										
78年	53年	9年目	横田 信義				1										
79年	54年	10年目	横田 信義		阿部 義明	越野 之博	2										
80年	55年	11年目	横田 信義		木立 三男	佐藤 誠一	6		4位								
81年	56年	12年目	横田 信義		矢口 但	鈴木美恵子	1			優勝		優勝					
82年	57年	13年目	横田 信義		佐藤 光一	浅石 優子	3			優勝		優勝					
83年	58年	14年目	横田 信義		駒井 雅康	大條 淳子	2			優勝		優勝					
84年	59年	15年目	横田 信義		駒井 雅康	久保上 滋	5					4位					
85年	60年	16年目	横田 信義		佐藤 勝彦	久保上 滋	5		3位			優勝					
86年	61年	17年目	横田 信義		阿部 久	横田なおみ	7	優勝	準優勝			優勝					
87年	62年	18年目	横田 信義		早坂 信幸	横田なおみ	5		準優勝	優勝		優勝					
88年	63年	19年目	横田 信義		小針 功	寛野 裕恵	2	優勝	準優勝	優勝		優勝					
89年	平成元年	20年目	横田 信義		菅原 資浩	寛野 裕恵	7	準優勝	優勝	優勝		優勝					
90年	2年	21年目	横田 信義		鈴木 理之	佐藤 秋二	7	準優勝	優勝	準優勝		優勝					
91年	3年	22年目	横田 信義		片桐 英二	黒須 由佳	8	優勝	優勝	準優勝		優勝					
92年	4年	23年目	横田 信義		佐藤 純一	保志 和裕	12	準優勝	優勝	優勝		優勝					
93年	5年	24年目	横田 信義		飯泉 哲也	相澤 美佐	7	優勝	準優勝	準優勝		優勝					
94年	6年	25年目	小玉 一彦	大場 信悦	馬場 貴人	遠藤 庸子	7	準優勝	準優勝	準優勝	3位						
95年	7年	26年目	横田 信義	田所 光男	福田 学	中島 誠	7	準優勝	準優勝	準優勝		優勝					
96年	8年	27年目	横田 信義	保志 和裕	石橋 孝之	竹本 妙子	5	準優勝	準優勝	優勝		優勝	準優勝				
97年	9年	28年目	横田 信義	保志 和裕	小柳 一広	竹本 妙子	7	4位	3位	優勝		優勝		優勝			
98年	10年	29年目	横田 信義	保志 和裕	深井 祐介	板橋 雅子	7	準優勝	4位	優勝		優勝	準優勝				
99年	11年	30年目	横田 信義	保志 和裕	石田 博光	板橋 雅子	7	II部優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝		ベスト16	ベスト16	

バドミントン部 (前身は昭和41年にさかのぼる。卒業生も同44年までに7人がいた。設立と同時に加盟)

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	リーグ戦				東北総体		東日本		全日本	
								男子		女子		男子	女子	男子	女子	男子	女子
								春	秋	春	秋						
2000年	12年	31年目	横田 信義	保志 和裕	加藤 隆弘	佐藤 寛美		準優勝	準優勝	優勝	優勝	準優勝	優勝		ベスト16		ベスト16
01年	13年	32年目	横田 信義	保志 和裕	高橋伸太郎	木村佳奈子	9	3位	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	ベスト16	ベスト16		ベスト16
02年	14年	33年目	横田 信義	保志 和裕	関根 正浩	須永祐未子	4	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝				
03年	15年	34年目	横田 信義	保志 和裕	千葉健太郎	石川 ゆか	8	準優勝	準優勝	準優勝	準優勝	3位	優勝				
04年	16年	35年目	横田 信義		別井 一彦	石川 ゆか	8	優勝	優勝	3位	3位	3位	準優勝				
05年	17年	36年目	横田 信義		関谷 聖	前佛 理恵	9	準優勝	優勝	準優勝	準優勝	優勝	準優勝	ベスト16	ベスト16		
06年	18年	37年目	横田 信義		宮川 真	千葉 麻綾	9	準優勝	優勝	優勝	準優勝	優勝	優勝	ベスト16	ベスト16		
07年	19年	38年目	横田 信義		阿部 亮介	村上和加奈	10	3位	3位	3位	3位	優勝	準優勝	ベスト16	ベスト16		
08年	20年	39年目	横田 信義	早坂 信幸	根本 克俊	武内 美菜	4	優勝	4位	優勝	2位	優勝	3位				
09年	21年	40年目	横田 信義	早坂 信幸	斎藤 司	武内 美菜	8	優勝	2位	3位	優勝	3位	3位				
10年	22年	41年目	横田 信義	五十嵐 守	山口 大貴	佐藤 有梨	6	3位	3位	3位	優勝	3位	3位				
11年	23年	42年目	横田 信義	五十嵐 守	今野 裕基	伊深 顕絵	7	準優勝	準優勝	5位	準優勝	中止	中止				
12年	24年	43年目	横田 信義	五十嵐 守	小池 毅	伊深 顕絵	9	3位	準優勝	準優勝	準優勝	優勝	優勝				
13年	25年	44年目	五十嵐 守	田原 洋幸	伊深 顕絵	齋藤 千愛	6	2部昇格1部昇格	2部昇格1部昇格	2部昇格1部昇格	1部昇格	4位	2位	一回戦	一回戦	出場	出場
14年	26年	45年目	五十嵐 守	田原 洋幸	小原 洋幸	優美 千愛	2	2位	4位	2位	2位	優勝	優勝	1回戦敗退	1回戦敗退	1回戦敗退	1回戦敗退
15年	27年	46年目	五十嵐 守	田原 洋幸	齋藤 千愛	小俣 水月	5	4位	3位	2位	2位	優勝	優勝	1回戦敗退	1回戦敗退	不出場	1回戦敗退
16年	28年	47年目	五十嵐 守	田原 洋幸	吉田 知世	伊藤 祐実	10	4位	優勝	3位	準優勝	準優勝	優勝	2回戦敗退	1回戦敗退	不出場	不出場
17年	29年	48年目	田原 洋幸	谷内 貴昭	伊藤 祐実	小沼 琴	7	3位	3位	3位	4位	4位	2位	1回戦敗退	1回戦敗退	不出場	不出場
18年	30年	49年目	田原 洋幸	谷内 貴昭	青木 望	高橋 芽衣	8	3位	1部4位	3位	優勝	1回戦敗退	優勝	2回戦敗退	1回戦敗退	個人ダブルス出場	個人ダブルス出場
19年	令和元年	50年目	田原 洋幸	谷内 貴昭	高橋 芽衣	原田 淑麗	6	2部1位2部1位	優勝	優勝	2位	2回戦敗退		1回戦敗退	2回戦敗退	不出場	中止
20年	2年	51年目	田原 洋幸	谷内 貴昭	村山 可純	山崎 風	5	中止	2部1位	中止	1位			(中止)			
21年	3年	52年目	五十嵐 守	谷内 貴昭	山崎 風	開発 莉子	7	中止	1部3位	優勝	優勝	中止	中止	中止	中止	不出場	1回戦敗退
22年	4年	53年目	五十嵐 守	谷内 貴昭	早川 凜	奥村 友梨	6	1部4位1部3位	優勝	優勝	2位	中止	中止	1回戦敗退	ベスト16	不出場	1回戦敗退
23年	5年	54年目	五十嵐 守	谷内 貴昭	高谷 洗輔	志田 遙	5	1部4位1部3位1部3位	1部3位1部3位	1部3位1部3位	1部3位	中止	中止	2回戦敗退	1回戦敗退	個人ダブルス・シングルス出場	個人ダブルス・シングルス出場
24年	6年	55年	五十嵐 守	谷内 貴昭	橋爪 良介	小野 玲来	1	2部1位2部1位	1部3位1部2位					1回戦敗退	1回戦敗退		個人シングルス・ダブルス出場、混合ダブルス出場
							計 306										

剣 道 部 (前身は昭和46年の同好会。設立と同時に部になり加盟)

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	男	東北総体	女	男	東北学生	女
1972年	昭和47年	1年目	前田 正徳				1						
73年	48年	2年目	越智 猛夫	千葉 春治	神本 和明		1						
74年	49年	3年目	越智 猛夫	千葉 春治	木村 講二	永崎 靖彦	1						
75年	50年	4年目	越智 猛夫	千葉 春治	関 浩爾	平石 和一	5						
76年	51年	5年目	越智 猛夫	千葉 春治	谷口 豊治	石橋 昭夫	3						
77年	52年	6年目	越智 猛夫	千葉 春治	桜井 工	渡辺 敏彦	3						
78年	53年	7年目	越智 猛夫	千葉 春治	結城 輝夫	田村 正行	8						
79年	54年	8年目	越智 猛夫	千葉 春治	柿崎 慎一	伊藤 さき	5						
80年	55年	9年目	越智 猛夫	千葉 春治	立田 鉄雄	阿部 正彦	3						
81年	56年	10年目	越智 猛夫	佐藤 正敏	古村 靖尚	遅沢 宏人	5	2位					3位
82年	57年	11年目	越智 猛夫	佐藤 正敏	長田 弘幸	丹野 國広	10						
83年	58年	12年目	越智 猛夫	佐藤 正敏	本村 誠	矢野 誠	11						
84年	59年	13年目	越智 猛夫	佐藤 正敏	川上 浩嗣	岡本 憲次	6						
85年	60年	14年目	越智 猛夫	佐藤 正敏	会津 和夫	榊 聡	4	3位					
86年	61年	15年目	越智 猛夫	佐藤 正敏	三浦 一純	榊 聡	6	1位					
87年	62年	16年目	越智 猛夫	佐藤 正敏	渡辺 智久	犬養浩一郎	9				3位		1位
88年	63年	17年目	越智 猛夫	佐藤 正敏	前田 博敏	高山 芳文	7						
89年	平成元年	18年目	辻 義人	佐藤 正敏	太田 善久	石川 友康	6						3位
90年	2年	19年目	辻 義人	佐藤 正敏	加藤 真人	鈴木 政徳	12						2位
91年	3年	20年目	辻 義人	佐藤 正敏	斉藤 幸信	伊藤 浩二	6						
92年	4年	21年目	寺下 明	佐藤 正敏	窪内 隆善	安斎 郁子	6						
93年	5年	22年目	明 寺下	佐藤 正敏	小野 能久	蜂谷 佳尚	7						
94年	6年	23年目	明 寺下	加藤 明彦	坪井 亨	富岡 玲治	12						
95年	7年	24年目	明 寺下	加藤 明彦	伊藤 雄介	関内 秀博	14				2位		
96年	8年	25年目	明 寺下	加藤 明彦	鈴木 和人	小林美也子	7						
97年	9年	26年目	明 寺下	加藤 明彦	加藤 淳	齋藤 憲樹	8						
98年	10年	27年目	明 寺下	加藤 明彦	川島 寿美	周藤美由紀	5	3位			2位		2位
99年	11年	28年目	明 寺下	加藤 明彦	結城 卓	我妻 一茂	7	ベスト8	ベスト4		3位		3位
2000年	12年	29年目	明 寺下	加藤 明彦	結城 卓	我妻 一茂	5	2位	3位				3位

剣 道 部 (前身は昭和46年の同好会。設立と同時に部にになり加盟)

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	男	東北総体	女	男	東北学生	女
01年	13年	30年目	明	加藤 明彦	伊藤 貴之	土田 育代	11	予選敗退	ベスト8		予選敗退	1位	
02年	14年	31年目	明	加藤 明彦	今野 実	高橋 真澄	4	予選敗退	ベスト8		3位	3位	
03年	15年	32年目	明	加藤 明彦	藤嶋 高史	菅野 元清	5	予選敗退	ベスト8		3位	2位	
04年	16年	33年目	明	加藤 明彦	沼田 長浩	滝沢 憲弘	5	2位	ベスト8		ベスト8	3位	
05年	17年	34年目	明	千葉 春秀	水澤 起弥	滝沢 憲弘	6	2位	優勝		予選敗退	3位	
06年	18年	35年目	金	千葉 春秀	石川 祐	小林 初美	9	2回戦敗退	3位		予選敗退	3位	
07年	19年	36年目	金	千葉 春秀	長谷川隆雄	高橋 和	6	2位	優勝		予選敗退	ベスト8	
08年	20年	37年目	金	千葉 春秀	庄司 康浩	宇賀神 歩	9	3位	ベスト8		予選敗退	優勝	
09年	21年	38年目	金	千葉 春秀	黒木 理広	池田健太郎	8	1回戦敗退	優勝		3位	ベスト8	
10年	22年	39年目	金	千葉 春秀	石原 尚生	小澤 直輝	8	1回戦敗退	1回戦敗退		2位予選敗退	準優勝	
11年	23年	40年目	金	千葉 春秀	伊東 海	廣田 貴紀	7	中止	中止		予選敗退	3位	
12年	24年	41年目	金	千葉 春秀	小林 史明	藤枝 誠	14	1回戦敗退	準優勝		ベスト8	ベスト8	
13年	25年	42年目	金	義信 金	今野 祐希	武藤 照宜	7	3位	準優勝		予選敗退	3位	
14年	26年	43年目	金	義信 金	穴戸 雅弥	青沼枝里香	13	2回戦敗退	2回戦敗退		予選敗退	ベスト8	
15年	27年	44年目	金	義信 金	長谷部 亨	青沼枝里香	5	2回戦敗退	2回戦敗退		ベスト8	3位	
16年	28年	45年目	金	義信 金	小林 信眼	齋藤 邑海	10	1回戦敗退	準優勝		予選敗退	ベスト8	
17年	29年	46年目	金	義信 金	井上 敦生	齋藤 邑海	8	1回戦敗退	第3位		予選敗退	ベスト8	
18年	30年	47年目	金	義信 金	金 信太郎	鈴木 貴臣	5	ベスト8	3位		ベスト8	予選敗退	
19年	令和元年	48年目	金	義信 金	鈴木 貴臣	永井 一成	6	1回戦敗退	1回戦敗退		予選敗退	ベスト8	
20年	2年	49年目	金	義信 金	鈴木 貴臣	永井 一成	7	(すべて中止)					
21年	3年	50年目	金	義信	山尾 宗平	大平 智也	7					3位	
22年	4年	51年目	金	義信 太田 善久	岡本 敬杜	伊藤 安理	6	予選敗退	予選敗退		3位	3位	
23年	5年	52年目	金	義信 太田 善久	山崎 雄規	小野寺 蓮	7	1回戦敗退	3位		13位	予選敗退	
24年	6年	53年目	金	義信 太田 善久	小野寺 蓮	千葉 昂	7	予選敗退	予選敗退		16位	1回戦敗退	
							計 363						

柔 道 部 (前身は愛好会を経て同好会。昭和49年に加盟。卒業生の記載は同52年から)

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	男	東北総体	女	男	東北学生	女	全日本学生体重別
1970年	昭和45年	1年目	高橋 俊郎				0							
71年	46年	2年目	高橋 俊郎				0							
72年	47年	3年目	小野寺浩三	小野寺浩三			0							
73年	48年	4年目	小野寺浩三	小野寺浩三			0							
74年	49年	5年目	小野寺浩三	小野寺浩三			0							
75年	50年	6年目	小野寺浩三	小野寺浩三			0							
76年	51年	7年目	小野寺浩三	小野寺浩三			0							
77年	52年	8年目	小野寺浩三	小野寺浩三	柿木 尚登	川島 和雄	4							
78年	53年	9年目	小野寺浩三	小野寺浩三	細谷 晋	庄田 大一	2							
79年	54年	10年目	小野寺浩三	小野寺浩三	野崎 治幸	加藤 善光	5				2位			
80年	55年	11年目	小野寺浩三	小野寺浩三	小野寺一史	桂島 良一	2							
81年	56年	12年目	小野寺浩三	小野寺浩三	坂野 寿	恵比根 実	5							
82年	57年	13年目	小野寺浩三	小野寺浩三	高橋 保浩	柏木 智弘	8							
83年	58年	14年目	小野寺浩三	小野寺浩三	渡部 康光	葛岡 浩二	1							
84年	59年	15年目	小野寺浩三	小野寺浩三	葛岡 浩二	久田 友昭	4							
85年	60年	16年目	小野寺浩三	小野寺浩三	館野 宗男	久田 友昭	6							95 ^キ ベスト8 樋山勝美
86年	61年	17年目	小野寺浩三	小野寺浩三	浄土 洋	伊藤 広也	4							
87年	62年	18年目	小野寺浩三	小野寺浩三	内村 秀樹	勝田 好宣	8							95 ^キ ベスト8 朝比奈敏夫
88年	63年	19年目	小野寺浩三	小野寺浩三	朝比奈敏夫	久保田一正	4							
89年	平成元年	20年目	小野寺浩三	小野寺浩三	佐藤 公則	松本 忠明	7	3位						
90年	2年	21年目	小野寺浩三	小野寺浩三	石田 雄光	鈴木 和仁	8	3位						
91年	3年	22年目	小野寺浩三	小野寺浩三	吉田 秀幸	大木 宏樹	2	3位			3位			
92年	4年	23年目	小野寺浩三	小野寺浩三	鈴木 宏明	下条 弘文	6	3位						
93年	5年	24年目	小野寺浩三	小野寺浩三	佐藤 篤史	飯塚 雄之	4	3位						
94年	6年	25年目	小野寺浩三	小野寺浩三	伊勢 ごう	三浦 康宏	4	3位						
95年	7年	26年目	高橋 俊郎	吉川 修	矢吹 健大	原 一宣	9	3位						
96年	8年	27年目	高橋 俊郎	吉川 修	遠藤 武将	石川 忍	8	3位						
97年	9年	28年目	小松 洋吉	吉川 修	畑中 正文	高梨 智美	9	3位						
98年	10年	29年目	小松 洋吉	吉川 修	荒井 大輔	三浦 繁晴	0	ベスト8			5位			
99年	11年	30年目	小松 洋吉	吉川 修	荒井 大輔	三浦 繁晴	3	3位	ベスト8		二部1位			
2000年	12年	31年目	小松 洋吉	吉川 修	松山 剛	福島富士子	1	3位	2位		二部1位			
01年	13年	32年目	小松 洋吉	吉川 修	岩松 晋	福島富士子	4	3位	2位			3位		
02年	14年	33年目	小松 洋吉	吉川 修	日渡 大輔	鈴木 祐二	4	3位	優勝		優勝			

柔道部（前身は愛好会を経て同好会。昭和49年に加盟。卒業生の記載は同52年から）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	男	東北総体	女	男	東北学生	女	全日本学生体重別
03年	15年	34年目	小松 洋吉	吉川 修	渡部 裕仁	宮木 政範	4	2位			4位	優勝		
04年	16年	35年目	小松 洋吉	吉川 修	長谷川智宏	結城 未来	6	ベスト8				2位		
05年	17年	36年目	小松 洋吉	渡部 康光	菅 貴志	結城 未来	6	ベスト8				2位		
06年	18年	37年目	小松 洋吉	村上 綾	菅原 泰樹	結城 未来	8	ベスト8				優勝		
07年	19年	38年目	小松 洋吉	村上 綾	島 一貴	結城 未来	15					優勝		
08年	20年	39年目	小松 洋吉	小松 洋吉	笹沼 孝壮	吉野 将太	4					優勝		
09年	21年	40年目	小松 洋吉	小松 洋吉	高嶋 晃	飯塚 綾希	9	ベスト8				4位		
10年	22年	41年目	小松 洋吉	小松 洋吉	金田 知大	桑島 優悟	15	ベスト8				優勝		-60kg級 佐藤恵太出場
11年	23年	42年目	小松 洋吉	小松 洋吉	横山 智樹	武田 雅行	9	中止	中止					
12年	24年	43年目	小松 洋吉	小松 洋吉	廣野 新也	武田 雅行	8				5位	優勝		100kg級 浅井大祐出場
13年	25年	44年目	小松 洋吉	小松 洋吉	遠藤 敬太	塚田 尚基	5	3位			5位	準優勝		
14年	26年	45年目	小野寺浩三	渡部 康光	佐藤 快	福土 実紀	4	中止	中止		5位	優勝		
15年	27年	46年目	小野寺浩三	渡部 康光	小針 翔太	田村 泰裕 高橋美佑紀	5				7位	準優勝		
16年	28年	47年目	小野寺浩三	渡部 康光	新田 和希	阿部 敏也	1							
17年	29年	48年目	三浦 友和	三浦 友和	田中 悠将	鈴木 若菜	1		2位		2位			66kg級 山田日南人出場
18年	30年	49年目	三浦 友和	三浦 友和	宮澤 陸	鈴木 若菜 佐藤 杏純	1		2位		1位			66kg級 山田日南人出場
19年	令和元年	50年目	三浦 友和	三浦 友和	宮澤 陸	鈴木 若菜 佐藤 杏純	1		2位					
20年	2年	51年目	三浦 友和	三浦 友和	小林 真士	佐藤 杏純	7				(すべて中止)			
21年	3年	52年目	三浦 友和	三浦 友和	小林 真士	佐藤 蝦名 琴音	14		2位		1位			60kg級 高橋昇平出場
22年	4年	53年目	三浦 友和	三浦 五戸 芳	高橋 昇平	蝦名 西出 寛吾	6		3位		2位			60kg級 高橋昇平出場
23年	5年	54年目	三浦 友和	三浦 五戸 芳	秋保 丞志	蝦名 琴音	3		3位		3位			60kg級 大坂颯希出場 女子団体出場
24年	6年	55年目	三浦 友和	三浦 五戸 芳	笹森 翔夢	蛸名 西出 寛吾	9	なし	3位		2位			60kg級 大坂颯希出場
							計 263							

スキ一部（前身は同好会。昭和52年に部になり加盟）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	男	東北地区大学	女	男	全日本学生選手権	女
1975年	昭和50年	1年目	平野 恵弘		中島 真二		0						
76年	51年	2年目	平野 恵弘		中島 真二		0						
77年	52年	3年目	平野 恵弘		石崎 道憲	石上 雅幸	2						
78年	53年	4年目	平野 恵弘		谷 秀史	石上 雅幸	6						
79年	54年	5年目	平野 恵弘		豊村 聡	高梨 順子	3						
80年	55年	6年目	平野 恵弘		塚本 英典	佐々木美保	6						
81年	56年	7年目	平野 恵弘		塚本 英典	佐々木美保	0						
82年	57年	8年目	平野 恵弘		武田 圭史	工藤 薫	3				4部33位		
83年	58年	9年目	平野 恵弘		笠原 正浩	工藤 薫	1				4部39位		
84年	59年	10年目	平野 恵弘		川端 直道	大西 秀徳	4				4部39位		
85年	60年	11年目	平野 恵弘		高橋 泰徳	大西 秀徳	4				4部52位		
86年	61年	12年目	平野 恵弘		小笠原恒典	木戸 久美	5				4部7位		
87年	62年	13年目	平野 恵弘		田鎖 利明	木戸 久美	2				3部26位		
88年	63年	14年目	平野 恵弘		川俣 安行	木戸 久美	4	優勝	準優勝		3部7位		
89年	平成元年	15年目	平野 恵弘		小野寺彦吾	中村 友香	6				3部11位		
90年	2年	16年目	平野 恵弘		安孫子幸弘	三浦 香織	3		準優勝		3部6位		
91年	3年	17年目	平野 恵弘		遠藤 和久	高木真理子	6				3部3位	2部30位	
92年	4年	18年目	平野 恵弘		斉藤 知道	高田 和美	6	優勝	準優勝		2部4位	2部11位	
93年	5年	19年目	平野 恵弘		高橋 理	伊藤真希子	6	優勝	優勝		2部12位	2部12位	
94年	6年	20年目	平野 恵弘	塚本 英典・三浦 澄男	下山 穰	伊藤真希子	7	優勝	3位		2部24位	2部9位	
95年	7年	21年目	平野 恵弘	塚本 英典・三浦 澄男	中村 巖	小山田園子	8	優勝	優勝		2部14位	2部13位	
96年	8年	22年目	平野 恵弘	塚本 英典・三浦 澄男	及川 盛貴	小山田園子	6	優勝	準優勝		2部8位	2部8位	
97年	9年	23年目	平野 恵弘	塚本 英典・三浦 澄男	金田 範	小山田詩子	5	3位	3位		2部16位	2部1位	
98年	10年	24年目	平野 恵弘	塚本 英典・三浦 澄男	清野 一基	小山田詩子	5	優勝	準優勝		2部11位	1部9位	
99年	11年	25年目	平野 恵弘	塚本 英典・三浦 澄男	鳥山 真也	下山 沙知	8	優勝	準優勝		2部11位	1部9位	
2000年	12年	26年目	平野 恵弘	塚本 英典・三浦 澄男	益子 曉式	下山 沙知	6	優勝	準優勝		2部4位	1部5位	
01年	13年	27年目	平野 恵弘	塚本 英典・三浦 澄男	伊藤 崇	宮川 善弘	9	優勝	優勝		2部3位	1部8位	
02年	14年	28年目	平野 恵弘	塚本 英典・三浦 澄男	三上 雄太	宮川 善弘	7	優勝	3位		2部5位	1部9位	
03年	15年	29年目	平野 恵弘	塚本 英典・三浦 澄男	竹林 洋	宮川 善弘	7	優勝	優勝		2部12位	1部10位	
04年	16年	30年目	平野 恵弘	塚本 英典・三浦 澄男	梶内 徳仁	小池 康彰	7	優勝	2位		2部16位	1部13位	
05年	17年	31年目	平間 正志	塚本 英典・三浦 澄男	八島 徹也	小池 康彰	4	優勝	3位		2部14位	1部13位	
06年	18年	32年目	平間 正志	塚本 英典・三浦 澄男	宮田 広大	佐藤 友理	9						

スキ一部（前身は同好会。昭和52年に部になり加盟）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督		歴代主将	卒業人数	男	東北地区大学	女	男	全日本学生選手権	女
07年	19年	33年目	平間 正志	塚本 英典・三浦 澄男	及川 郭 澄男	佐藤 友理	8						
08年	20年	34年目	平間 正志	塚本 英典・三浦 澄男	大宮隆太郎 澄男	柳本 えみ	1	優勝	優勝		2部11位	1部15位	
09年	21年	35年目	平間 正志	三浦 澄男	佐藤 勇太	柳本 えみ	9	優勝	3位		2部15位	2部18位	
10年	22年	36年目	平間 正志	三浦 澄男	帷子 千仁	柳本 えみ	0	—	—	—	2部9位	2部13位	
11年	23年	37年目	平間 正志	三浦 澄男	佐々木栄太郎	松澤 聖雪	5	—	—	—	2部16位	2部1位	
12年	24年	38年目	平間 正志	三浦 澄男	大宮大次郎	松澤 聖雪	5	—	—	—	2部23位	1部13位	
13年	25年	39年目	平間 正志	三浦 澄男	大津 将達	矢島 花恵	3	—	—	—	3部1位	1部11位	
14年	26年	40年目	平間 正志	平間 正志	奥山 達哉	加藤 美希	1				2部12位	1部13位	
15年	27年	41年目	平間 正志	平間 正志	高橋 岳	鳥居 駆	1	—	—	—	2部11位	1部14位	
16年	28年	42年目	平間 正志	平間 正志	高橋 岳	鳥居 駆	4	—	—	—	2部8位	2部4位	
17年	29年	43年目	平間 正志	平間 正志	五十嵐達徳	鳥居 駆	3	—	—	—	2部14位	2部2位	
18年	30年	44年目	平間 正志	平間 正志	大森 裕介	亀田 純礼	5	—	—	—	2部14位	1部14位	
19年	令和元年	45年目	平間 正志	平間 正志	工藤なつみ	亀田 純礼	3	—	—	—	2部21位	2部11位	
20年	2年	46年目	平間 正志	平間 正志	阿部 健	亀田 純礼	6		—		2部2位	2部8位	
21年	3年	47年目	平間 正志	平間 正志	秋葉 幸穂	辻 楓	1	—	—	—			
22年	4年	48年目	平間 正志	佐々木栄太郎	上山 倅大	辻 楓	1	—	—	—	2部15位	2部30位	
23年	5年	49年目	平間 正志	佐々木栄太郎	上山 倅大	辻 楓	3	—	—	—			
24年	6年	50年目	佐々木栄太郎	佐々木栄太郎	浅井 征人	宮坂 涼太	1	—	—	—	2部19位	2部8位	
計 215													

陸上競技部（前身は同好会であり、昭和52年に加盟）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	男	東北インカレ	女	男	東北総体	女
1977年	昭和52年	1年目	久保 健	久保 健			0						
78年	53年	2年目	久保 健	久保 健			0						
79年	54年	3年目	小松 洋吉	小松 洋吉	小松 寛	小林由紀乃	0		総合 3位				
80年	55年	4年目	小松 洋吉	小松 洋吉	木幡 雅喜	堀井 春代	5						
81年	56年	5年目	小松 洋吉	小松 洋吉	横田 聡	浅田恵理子	7		総合 4位				
82年	57年	6年目	小松 洋吉	小松 洋吉	横田 聡	浅田恵理子	7						
83年	58年	7年目	小松 洋吉	小松 洋吉	久住 薫	古沢 直子	5						
84年	59年	8年目	恵美 敦子	恵美 敦子	高橋 喜彦	清水 靖久	4						
85年	60年	9年目	恵美 敦子	恵美 敦子	加藤 克臣	清水 靖久	10						
86年	61年	10年目	恵美 敦子	恵美 敦子	矢口 功	熊谷 雅子	10						
87年	62年	11年目	恵美 敦子	恵美 敦子	林 幸喜	尾田 秀樹	9						
88年	63年	12年目	恵美 敦子	恵美 敦子	今村 勤	本間 真	12	総合 5位	総合 4位				
89年	平成元年	13年目	恵美 敦子	恵美 敦子	本田 誠	武田 浩明	16		総合 3位				
90年	2年	14年目	恵美 敦子	恵美 敦子	八木 和芳	佐々木修二	16	総合 4位	総合 3位	総合 4位		総合 2位	
91年	3年	15年目	恵美 敦子	恵美 敦子	大崎 貴志	増子 雅義	16	総合 4位	総合 3位	総合 3位		総合 2位	
92年	4年	16年目	恵美 敦子	恵美 敦子	小崎 浩信	佐藤 一美	10						
93年	5年	17年目	恵美 敦子	恵美 敦子	富堅 和人	神戸 俊一	9	総合 6位	総合 3位	総合 9位		総合 3位	
94年	6年	18年目	恵美 敦子	恵美 敦子	加藤 仁敏	荒木 志保	10	総合 6位	総合 4位	総合 6位		総合 7位	
95年	7年	19年目	恵美 敦子	恵美 敦子	山田 宗伸	体石路美子	10	総合 6位	総合 4位	総合 5位		総合 6位	
96年	8年	20年目	恵美 敦子	恵美 敦子	角田 俊哉	山家 淳子	6	総合 8位		総合 6位		総合 9位	
97年	9年	21年目	恵美 敦子	小崎 浩信	富堅 和茂	佐野 朝子	5		総合 6位				
98年	10年	22年目	柴田 幸男	小崎 浩信	千葉 浩典	佐藤 彩	8						
99年	11年	23年目	柴田 幸男	小崎 浩信	大原 寛和	吹田 耕子	4	総合 11位	総合 5位				
2000年	12年	24年目	小玉 一彦	小崎 浩信	近藤 誉之	堀 文	4	総合 9位	総合 11位				
01年	13年	25年目	小玉 一彦	小崎 浩信	石川 正洋	平山 五月	6	総合 4位	総合 8位	総合 3位		総合 4位	
02年	14年	26年目	小玉 一彦	小崎 浩信	星 智	小山 貴司	3	総合 5位	総合 4位	総合 5位		総合 6位	
03年	15年	27年目	小玉 一彦	小崎 浩信	岩崎 宏司	小山 貴司	8	総合 8位	総合 4位	総合 2位		総合 4位	
04年	16年	28年目	小玉 一彦	小崎 浩信	村井 直人	綿引 正夫	8	総合 4位	総合 4位	総合 4位		総合 3位	
05年	17年	29年目	小玉 一彦	小崎 浩信	齋藤 靖之	綿引 正夫	13	総合 4位	総合 3位	総合 6位		総合 6位	
06年	18年	30年目	広浦 幸一	小崎 浩信・千葉 英俊	遠藤 俊一	中村 友紀	12	総合 4位	総合 3位	総合 3位		総合 3位	
07年	19年	31年目	広浦 幸一	小崎 浩信・千葉 英俊	相澤 賢	馬宮 沙織	12	総合 2位	総合 4位	総合 3位		総合 4位	
08年	20年	32年目	広浦 幸一	小崎 浩信・千葉 英俊	児玉 悠史	矢野亜佑実	13	総合 4位	総合 4位	総合 3位		総合 4位	
09年	21年	33年目	広浦 幸一	小崎 浩信・千葉 英俊	森 克紀	矢野亜佑実	19	総合 2位	総合 3位	総合 3位		総合 3位	

陸上競技部（前身は同好会であり、昭和52年に加盟）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	男	東北インカレ	女	男	東北総体	女
10年	22年	34年目	広浦 幸一	小崎 浩信	嶋貫 大地	武田 香織	18	総合 1位	総合 3位	総合 3位	総合 2位	総合 3位	
11年	23年	35年目	広浦 幸一	小崎 浩信・千葉 英俊	川村 元気	武田 香織	20	総合 1位	総合 3位				
12年	24年	36年目	広浦 幸一	小崎 浩信	高橋 拓也	越村 亮太	18	総合 2位	総合 2位	総合 2位	総合 2位	総合 2位	総合 2位
13年	25年	37年目	広浦 幸一	小崎 浩信	赤津 邦紀	大崎 里歩	17	総合 3位	総合 2位	総合 3位	総合 3位	総合 3位	総合 2位
14年	26年	38年目	広浦 幸一	広浦 幸一	里見 昌則	大波 淳宏	12	7位	2位		2位	優勝	
15年	27年	39年目	広浦 幸一	冠木 雅守	佐藤 優太	大家 聡	19	総合 6位	総合 2位	総合 2位	総合 5位	総合 3位	
16年	28年	40年目	広浦 幸一	冠木 雅守	大波 淳宏	石川 史也	14	総合 4位	総合 3位	総合 2位	総合 2位	総合 2位	
17年	29年	41年目	広浦 幸一	冠木 雅守・永浦 和也	石川 史也	鈴木 菜未	10	総合 7位	総合 2位	総合 6位	総合 6位	総合 9位	
18年	30年	42年目	広浦 幸一	冠木 雅守・永浦 和也	菊池 樹	川上 雄人	9	総合 7位	総合 4位	総合 5位	総合 5位	総合 8位	
19年	令和元年	43年目	広浦 幸一	冠木 雅守・永浦 和也	川上 雄人	原田 悠平	10	総合 5位	総合 5位	総合 3位	総合 3位	総合 9位	
20年	2年	44年目	広浦 幸一	冠木 雅守・永浦 和也	佐藤耕太郎	鈴木 海	19	総合 10位	総合 10位	(中止)	(中止)		
21年	3年	45年目	広浦 幸一	冠木 雅守・永浦 和也	野田 大聖	大内 奎吾	12	総合 6位	総合 4位				
22年	4年	46年目	広浦 幸一	永浦 和也	大内 奎吾	菊池 拓哉	2	総合 8位			総合 5位		
23年	5年	47年目	太田 義久	永浦 和也	菊池 拓哉	齋藤 陸杜	4	総合 10位			総合 4位		
24年	6年	48年目	太田 義久	永浦 和也	菊池 拓哉 齋藤 陸杜	陸杜 俊弥 齋藤 俊弥	4	総合 8位			総合 4位		
							計 465						

女子陸上競技部（陸上競技部としては1972年に体育会加盟、女子陸上競技部は2022年創部）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	全日本大学女子駅伝	富士山女子駅伝
22年	4年	1年目	冠木 雅守	冠木 雅守	小松 莉菜	栗野萌々香	4	13位	11位
23年	5年	2年目	太田 義久	冠木 雅守	梅村 光理	栗野萌々香	2	8位	8位
24年	6年	3年目	太田 義久	冠木 雅守	鈴木 華奈	柴田 梨花	3	5位	9位
							計 9		

男子サッカー部

(前身は同好会。昭和52年に部になり、同53年に加盟)

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	東北総体	東北リーグ
1977年	昭和52年	1年目	福富 哲也	福富 哲也	高野 智広	江川千栄子	1		
78年	53年	2年目	福富 哲也	福富 哲也	高野 智広	江川千栄子	3		
79年	54年	3年目	福富 哲也	福富 哲也	大塚 昌之	大竹 雅夫	3	2回戦敗退	
80年	55年	4年目	福富 哲也	福富 哲也	高橋 忠明	大竹 雅夫	8	2部準優勝	
81年	56年	5年目	福富 哲也	福富 哲也	岡田 稔	進藤 和美	6	2部優勝	
82年	57年	6年目	小玉 一彦	小玉 一彦	速水 克敏	関念 利寿	6	2部準優勝	7位
83年	58年	7年目	小玉 一彦	小玉 一彦	斉藤 浩	関念 利寿	6	2部優勝	7位
84年	59年	8年目	小玉 一彦	小玉 一彦	神村 恭弘	門脇 由	5	2部準優勝	2部4位
85年	60年	9年目	小玉 一彦	小玉 一彦	鈴木 隆	門脇 由	5	2部3位	2部優勝
86年	61年	10年目	小玉 一彦	小玉 一彦	岡田 浩之	安藤 正志	4	3回戦敗退	2部優勝 1部昇格
87年	62年	11年目	小玉 一彦	小玉 一彦	西村 嘉孝	羽立 俊士	5	3回戦敗退	3位
88年	63年	12年目	小玉 一彦	小玉 一彦	矢崎 良典	羽立 俊士	8	3回戦敗退	3位
89年	平成元年	13年目	小玉 一彦	小玉 一彦	菊池 浩之	浜松 良樹	8	3回戦敗退	3位
90年	2年	14年目	小玉 一彦	小玉 一彦	荒井 厚志	辰巳 修	11	ベスト8	6位
91年	3年	15年目	小玉 一彦	小玉 一彦	浜田 清之	須藤 伸樹	11	3位	6位
92年	4年	16年目	小玉 一彦	小玉 一彦	三浦 弘幸	須藤 伸樹	15	ベスト8	3位
93年	5年	17年目	小玉 一彦	小玉 一彦	三浦 祐司	桜井 武司	15	2回戦敗退	6位
94年	6年	18年目	小玉 一彦	小玉 一彦	高浜 繁克	江泉 良教	8	ベスト8	5位
95年	7年	19年目	小玉 一彦	小玉 一彦	太田 修	野中 憲仁	14	ベスト8	8位 2部降格
96年	8年	20年目	小玉 一彦	小玉 一彦	久松康太郎	深沢 一典	13	ベスト8	2部準優勝
97年	9年	21年目	小玉 一彦	小玉 一彦	渡辺 慎介	照井 寿和	11	優勝	2部優勝
98年	10年	22年目	小玉 一彦	小玉 一彦	照井 寿和	只野 良樹	8	3位	1部7位
99年	11年	23年目	小玉 一彦	小玉 一彦	只野 良樹	志田 佳之	3	3位	2部
2000年	12年	24年目	小玉 一彦	小玉 一彦	松川 英智	関根 仁史	5	2回戦敗退	2部
01年	13年	25年目	小玉 一彦	小玉 一彦	照井 貴幸	西崎 正樹	2	2回戦敗退	2部
02年	14年	26年目	小玉 一彦	小玉 一彦	高橋 俊之	西崎 正樹	5	2回戦敗退	
03年	15年	27年目	小玉 一彦	小玉 一彦	安斎 秀律	真山 寛朗	3	1回戦敗退	2部3位
04年	16年	28年目	小玉 一彦	小玉 一彦	中沢 宏光	岡田 敏幸	3	ベスト8	2部4位
05年	17年	29年目	小玉 一彦	小玉 一彦	及川健太郎	関谷 和俊	6	ベスト8	2部3位
06年	18年	30年目	小玉 一彦	小玉 一彦	鈴木 雄大	関谷 和俊	4	ベスト8	2部優勝
07年	19年	31年目	小玉 一彦	小玉 一彦	鈴木 雄大	関谷 和俊	6	2回戦敗退	1部7位
08年	20年	32年目	小玉 一彦	小玉 一彦	林 裕太	堀江 峻広	5	2回戦敗退	2部優勝

男子サッカー部 (前身は同好会。昭和52年に部にとなり、同53年に加盟)

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	東北総体	東北リーグ
09年	21年	33年目	小玉 一彦	小玉 一彦	佐藤 和也	伊藤 功	2	3回戦敗退	1部9位
10年	22年	34年目	小玉 一彦	小玉 一彦	藤本 淳	舟山 賢哉	6	2回戦敗退	2部4位
11年	23年	35年目	小玉 一彦	小玉 一彦	舟山 賢哉	吉田 裕喜	7	中止	2部2位
12年	24年	36年目	小玉 一彦	小玉 一彦	吉田 裕喜	相原 裕紀	9	2回戦敗退	2部2位
13年	25年	37年目	小玉 一彦	小玉 一彦	小林 秀彰	八重畑郁弥	1	ベスト16	2部2位
14年	26年	38年目		吉田 繁喜	八重畑郁弥	吉田 広喜	2	1回戦敗退	2部2位
15年	27年	39年目		吉田 繁喜	高橋 大朗	吉田 靖耶	7	1回戦敗退	2部6位
16年	28年	40年目	大野 光吉	吉田 繁喜	吉田 靖耶	濱 悠太郎	5	1回戦敗退	2部6位
17年	29年	41年目	大野 光吉	吉田 繁喜	濱 悠太郎	菊地 成美	6	2回戦敗退	2部6位
18年	30年	42年目	大野 光吉	吉田 繁喜	高橋健太郎	鎌田 隆成	3	ベスト8	2部6位
19年	令和元年	43年目	大野 光吉	吉田 繁喜	山縣 真大	井上 弘規	5	1回戦敗退	3部Bグループ1位
20年	2年	44年目	大野 光吉	男子 吉田繁喜 女子 松村利子	星 元気	管井 勝哉	12	中止	3部2位
21年	3年	45年目	大野 光吉	男子 吉田繁喜 女子 平野貴之	森岡和貴 女子 蒲澤愛奏	男子 菅原遼太郎 女子 沼崎瑞稀	9 0	中止 なし	2部南2位 3位
22年	4年	46年目	大野 光吉	男子 吉田繁喜 女子 平野貴之	男子 青木格真 女子 沼崎瑞稀	男子 鈴木 悠生 女子 福原亜美香	11 0	不参加 なし	2部南2位 3位
23年	5年	47年目	大野 光吉	國井 精一	鈴木 悠生	金野 太亮	2	なし	2部南1位 1部昇格
24年	6年	48年目	大野 光吉	國井 精一	鈴木 悠生	武藤 愛可	7	なし	1部8位
							計 310		

女子サッカー部

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	東北地域大 学女子サッ カーリーグ	ビーチサッカー大会
23年	5年	1年目	大野 光吉	平野 貴之	福原亜美香	須田 千尋	6	なし	4位
24年	6年	2年目	大野 光吉	平野 貴之	須田 千尋	柿木詩央里	7	ベスト4	ベスト3
							計 13		

躰道部（前身は同好会。昭和53年に部になり加盟）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	全 国 学 生
1976年	昭和51年	1年目	渡辺 信英	今野 清男			0	
77年	52年	2年目	渡辺 信英	今野 清男			0	
78年	53年	3年目	工藤 啓	今野 清男	中塚 晶	松田 一	7	
79年	54年	4年目	工藤 啓	今野 清男	佐藤 哲	酒井 俊明	0	
80年	55年	5年目	工藤 啓	今野 清男	佐藤 哲	酒井 俊明	2	
81年	56年	6年目	工藤 啓	今野 清男	佐藤 三三	長崎 淳	2	
82年	57年	7年目	工藤 啓	今野 清男	佐藤 文昭	向山 泰庸	1	新人団体法形3位
83年	58年	8年目	工藤 啓	今野 清男	平山 明	向山 泰庸	3	団体法形3位
84年	59年	9年目	工藤 啓	今野 清男	工藤 聡	渥美 浩一	4	個人法形2位 舩田高順
85年	60年	10年目	工藤 啓	今野 清男	斉藤 政浩	斉藤 圭一	2	
86年	61年	11年目	工藤 啓	今野 清男	平田 良彦	坂上 和人	4	
87年	62年	12年目	工藤 啓	今野 清男	桜庭 知巳	関口 義英	1	個人法形優勝 門馬史和
88年	63年	13年目	工藤 啓	今野 清男	桜庭 知巳	関口 義英	5	個人法形優勝 門馬史和
89年	平成元年	14年目	工藤 啓	今野 清男	中村 敬	工藤 道也	2	個人法形優勝 門馬史和
90年	2年	15年目	工藤 啓	今野 清男	石川 成一	小野寺 学	6	総合3位 個人法形優勝 奥山樹子 同3位 門馬史和
91年	3年	16年目	宇田川一夫	今野 清男	川村 紳	佐藤 仁美	2	
92年	4年	17年目	宇田川一夫	今野 清男	川村 紳	須田 仁	2	
93年	5年	18年目	宇田川一夫	今野 清男	山口 徹	須田 仁	6	団体法形2位 個人実戦3位 須田 仁
94年	6年	19年目	宇田川一夫	今野 清男	涌村 実	熊谷 知子	2	
95年	7年	20年目	宇田川一夫	今野 清男	福田 秀昭	佐野由美子	4	
96年	8年	21年目	宇田川一夫	今野 清男	林 学	清野 哲也	6	個人実戦2位 阿部浩太郎
97年	9年	22年目	宇田川一夫	今野 清男	中島 力	遠藤 真二	9	総合4位 団体法形2位 個人法形優勝 中島 力 伊藤好恵
98年	10年	23年目	宇田川一夫	今野 清男	寺崎 友和	松本 樹里	8	女子団体実戦2位
99年	11年	24年目	宇田川一夫	今野 清男	岡野 敬介	南 裕樹	5	
2000年	12年	25年目	宇田川一夫	今野 清男	齋藤 晴彦	山之内善弘	5	
01年	13年	26年目	宇田川一夫	今野 清男	鈴木 智之	盛田 一栄	2	
02年	14年	27年目	山川 敏久	今野 清男	持田千恵子	安瀬まゆみ	5	団体法形4位
03年	15年	28年目	山川 敏久	今野 清男	赤間 健司	岡田 典子	6	女子団体実践優勝
04年	16年	29年目	山川 敏久	今野 清男	館鼻 美雪	青木 寛敏	3	
05年	17年	30年目	山川 敏久	今野 清男	青木 寛敏	浅沼 徹彦	4	
06年	18年	31年目	山川 敏久	今野 清男	佐藤 敏頭	池嶋 香苗	3	
07年	19年	32年目	山川 敏久	今野 清男	結城 麻衣	池嶋 香苗	4	

躰道部（前身は同好会。昭和53年に部になり加盟）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	全 国 学 生
08年	20年	33年目	山川 敏久	今野 清男	荒木 昭美	草野 克哉	3	個人法形ベスト8 熊谷夏樹
09年	21年	34年目	山川 敏久	今野 清男	後藤 裕介	後藤 裕介	1	
10年	22年	35年目	山川 敏久	今野 清男	熊谷 夏樹	加藤 高史	0	
11年	23年	36年目	山川 敏久	今野 清男	熊谷 夏樹	加藤 高史	0	
12年	24年	37年目	山川 敏久	今野 清男	熊谷 夏樹	加藤 高史	0	
13年	25年	38年目	山川 敏久	青木 寛敏	熊谷 夏樹	加藤 高史	2	
14年	26年	39年目	山川 敏久	青木 寛敏	菅原 森音	坂本 裕美	4	
15年	27年	40年目	山川 敏久	青木 寛敏	奈良部早紀	米倉 茉佑	2	
16年	28年	41年目	中塚 晶	青木 寛敏	金沢 柚子	金沢 柚子	0	
17年	29年	42年目	山川 敏久	今野 清男	金沢 柚子	金沢 柚子	0	
18年	30年	43年目	山川 敏久 中塚 晶	今野 清男 青木 寛敏	井上 秀東	井上 秀東	0	
19年	令和元年	44年目	山川 敏久 中塚 晶	今野 清男 青木 寛敏	森 真機	越戸あかり	0	
20年	2年	45年目	中塚 晶	青木 寛敏	森 真機	越戸あかり	0	
21年	3年	46年目	中塚 晶	青木 寛敏	森 真機	越戸あかり	0	
22年	4年	47年目	武田 圭矢	青木 寛敏	森 真機	越戸あかり	2	
23年	5年	48年目	武田 圭矢	青木 寛敏	岡崎 克祐	高見 双葉	0	
24年	6年	49年目	武田 圭矢	青木 寛敏	岡崎 克祐	高見 双葉	0	
							計 129	

弓 道 部（前身は同好会。昭和55年に部になり加盟）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	男	東北総体	女	男	全日本学生	女
1977年	昭和52年	1年目	百瀬 俊鳳				0						
78年	53年	2年目	百瀬 俊鳳				0						
79年	54年	3年目	百瀬 俊鳳		松川 弘	奥山日登美	4	不参加	不参加	不参加	不参加	不参加	不参加
80年	55年	4年目	百瀬 俊鳳		梅津 和彦	近藤 桂子	3	予選落ち	予選落ち	予選落ち	不参加	不参加	不参加
81年	56年	5年目	百瀬 俊鳳		梅津 和彦	野田 泰弘	9	予選落ち	予選落ち	予選落ち	不参加	不参加	不参加
82年	57年	6年目	百瀬 俊鳳		畠山 正己	丹野 孝雄	7	予選落ち	3位	不参加	不参加	不参加	不参加
83年	58年	7年目	百瀬 俊鳳		中沢 紀雄	小川 弥	2	予選落ち	予選落ち	予選落ち	不参加	不参加	不参加
84年	59年	8年目	小野 禎一		中沢 紀雄	小川 弥	9	ベスト6	ベスト6	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち
85年	60年	9年目	溝口 謙三		岩田 進	佐藤 文彦	12	予選落ち	2位	不参加	不参加	不参加	不参加
86年	61年	10年目	溝口 謙三		山岡 久弘	柴田 雅則	5	予選落ち	2位	予選落ち	予選落ち	ベスト16	ベスト16
87年	62年	11年目	溝口 謙三		小松崎智幸	佐久間善幸	9	予選落ち	2位	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち
88年	63年	12年目	溝口 謙三		船橋 正人	吉田 秀昭	8	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち
89年	平成元年	13年目	溝口 謙三		米沢 勇人	星 勉	12	予選落ち	2位	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち
90年	2年	14年目	岡田 清一		中村 忠司	山野 隆紀	11	4位	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち
91年	3年	15年目	岡田 清一		伊藤 拓	岡田 真善	15	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち
92年	4年	16年目	岡田 清一		森戸 茂	伊藤 大輔	10	4位	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち
93年	5年	17年目	岡田 清一		久山 幸宏	松川 剛	9	4位	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち
94年	6年	18年目	岡田 清一	佐藤真二郎	小山 卓三	高村 忍	3	予選落ち	5位	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち
95年	7年	19年目	岡田 清一	佐藤真二郎	鈴木 良和	田子 裕子	8	4位	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち
96年	8年	20年目	岡田 清一	佐藤真二郎	宮田 和信	金澤 純子	2	5位	予選落ち	予選落ち	不参加	予選落ち	予選落ち
97年	9年	21年目	岡田 清一	佐藤真二郎	柳沼 知弘	若杉 和代	7	3位	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち
98年	10年	22年目	岡田 清一	佐藤真二郎	根岸 徹	根岸 徹	9	優勝	優勝	優勝	予選落ち	予選落ち	予選落ち
99年	11年	23年目	岡田 清一	佐藤真二郎	大堀 典昭	稲葉 祐介	6	4位	優勝	優勝	予選落ち	予選落ち	予選落ち
2000年	12年	24年目	岡田 清一	佐藤真二郎	永井 健夫	菅野 美和	6	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち
01年	13年	25年目	岡田 清一	佐藤真二郎	千釜 智宏	鈴木 英恵	7	ベスト8	ベスト8	ベスト6	予選落ち	予選落ち	予選落ち
02年	14年	26年目	岡田 清一	佐藤真二郎	鈴木 和典	能倉久美子	9	ベスト8	優勝	優勝	予選落ち	ベスト8	ベスト8
03年	15年	27年目	岡田 清一	佐藤真二郎	三浦 亮介	中野渡万暉	5	ベスト8	優勝	優勝	予選落ち	ベスト8	ベスト8
04年	16年	28年目	岡田 清一	佐藤真二郎	佐々木貞美	石井 淑	4	ベスト8	4位	ベスト16	ベスト24	ベスト16	ベスト16
05年	17年	29年目	岡田 清一		佐藤 真幸	松井 祐子	10	予選落ち	3位	予選落ち	ベスト8	予選落ち	予選落ち
06年	18年	30年目	岡田 清一		草皆 洋輔	齋藤 知佳	10	5位	3位	ベスト16	ベスト24	ベスト16	ベスト16
07年	19年	31年目	岡田 清一		天内 啓介	白勢 純子	10	準優勝	3位	予選落ち	ベスト24	予選落ち	予選落ち
08年	20年	32年目	岡田 清一		小山 峻英	三浦 梨左	8	3位	5位	ベスト16	予選落ち	ベスト16	ベスト16

弓道部（前身は同好会。昭和55年に部になり加盟）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	男	東北総体	女	男	全日本学生	女
09年	21年	33年目	岡田 清一		佐藤 聡聖	中村 彩	7	3位	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち	
10年	22年	34年目	岡田 清一		桃野 憲	高梨龍之介	5	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち	
11年	23年	35年目	岡田 清一		塚原 隆文	島守 智美	6	中止	中止	予選落ち	予選落ち	予選落ち	
12年	24年	36年目	岡田 清一	佐藤 真幸	太田 嵩宗	齋藤 彩	8	ベスト8	3位	予選落ち	予選落ち	予選落ち	
13年	25年	37年目	岡田 清一	佐藤 真幸	飯塚 翔	森 千花子	6	予選敗退	優勝	予選落ち	予選落ち	ベスト8	
14年	26年	38年目	岡田 清一	佐藤 真幸	江上 光紀	高上 卓也	3	準優勝	3位	予選落ち	予選落ち	予選落ち	
15年	27年	39年目	岡田 清一	佐藤 真幸	中村 巧	庄子 裕佳	2	予選落ち	4位	ベスト16	ベスト24		
16年	28年	40年目	岡田 清一	佐藤 真幸	生亀 大輝	末永 夏美	8	準優勝	3位	予選落ち	予選落ち	予選落ち	
17年	29年	41年目	松本 祥子	佐藤 真幸	藪 光太郎	齋藤 瑞穂	6	優勝	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち	
18年	30年	42年目	松本 祥子	佐藤 真幸	鈴木 秀孟	吉田 裕亮	2	4位	予選落ち	予選落ち	予選落ち	予選落ち	
19年	令和元年	43年目	松本 祥子	佐藤 真幸	渡邊 雄真	吉田 裕亮	5	優勝	3位	予選敗退	予選敗退	予選敗退	
20年	2年	44年目	松本 祥子	佐藤 真幸	熊谷 健汰	太田 蒼子	4	(中止)	(中止)	予選敗退	予選敗退	本選出場	
21年	3年	45年目	松本 祥子	佐藤 真幸	齋藤 巧樹	小山 耕大	11	(中止)	(中止)	予選敗退	予選敗退	予選敗退	
22年	4年	46年目	松本 祥子	佐藤 真幸	川上 雄飛	丹野 陸	6	不参加		予選敗退	予選敗退	ベスト24	
23年	5年	47年目	松本 祥子	佐藤 真幸	大友 駿輔	中塩 永貴	6						
24年	6年	48年目	松本 祥子	佐藤 真幸	中澤 未来	中澤 愛美	2		5位			予選敗退	
							計 318						

男子ハンドボール部（前身は同好会。昭和59年に卒業生2人あり。同63年に加盟）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	リーグ戦春	同 秋	東北総体	東日本選手権	全日本選手権
1985年	昭和60年	1年目	青柳 勉		根来 宏之		3	一部6位	一部6位	2回戦敗退		
86年	61年	2年目	青柳 勉		金城 輝幸		6	一部6位	一部6位	2回戦敗退		
87年	62年	3年目	青柳 勉		和田 明人		2	一部6位	一部6位	2回戦敗退	出場	
88年	63年	4年目	青柳 勉		国井 弘行	小方 潔	3	一部6位	一部5位	2回戦敗退	出場	
89年	平成元年	5年目	青柳 勉		高橋 晃	福田 浩	2	優勝	準優勝	準優勝	出場	
90年	2年	6年目	青柳 勉		大沼 覚	金田 真則	4	準優勝	準優勝	準優勝	出場	
91年	3年	7年目	青柳 勉		金子 周一	工藤 英明	10	優勝	準優勝	準優勝	出場	
92年	4年	8年目	青柳 勉		市川 正人	伊藤 史	7	準優勝	優勝	優勝	ベスト12	
93年	5年	9年目	青柳 勉		須藤 勝俊	岡部 豊	6	準優勝	準優勝	準優勝	出場	
94年	6年	10年目	青柳 勉	山路 康男	佐藤 正樹	岡部 豊	8	3位	準優勝	準優勝	出場	
95年	7年	11年目	青柳 勉	山路 康男	菅井 正則	四戸 匠	6	3位	3位	3位	出場	
96年	8年	12年目	青柳 勉	山路 康男	山口 秀之	野沢 康良	6	3位	3位	3位	出場	
97年	9年	13年目	青柳 勉	山路 康男	田中 洋平	仁田原 勲	7	優勝	準優勝	準優勝	出場	出場
98年	10年	14年目	青柳 勉	山路 康男	間島 照結	水谷 吉宏	5	準優勝	優勝	準優勝	出場	出場
99年	11年	15年目	青柳 勉	山路 康男	斉藤 慎	菅間 豊和	7	優勝	優勝	優勝	ベスト 8	出場
2000年	12年	16年目	青柳 勉	山路 康男	千葉 伸彦	我孫子広知	7	優勝	優勝	優勝	ベスト16	出場
01年	13年	17年目	青柳 勉	山路 康男	星川 雄二	我孫子広知	3	優勝	優勝	優勝	出場	出場
02年	14年	18年目	青柳 勉	山路 康男	二瓶 一貴	小山 泰裕	4	優勝	優勝	優勝	ベスト16	ベスト16
03年	15年	19年目	青柳 勉	山路 康男	岡野 友樹	本 健一	4	優勝	優勝	優勝	ベスト16	出場
04年	16年	20年目	青柳 勉	山路 康男	白澤 信	本 健一	5	優勝	2位	2位	ブロック1位	ベスト16
05年	17年	21年目	青柳 勉	和田 明人	熱海 雄介	永窪 健太	5	4位	3位	2位	ブロック1位	出場
06年	18年	22年目	青柳 勉	和田 明人	渡辺 直	熊谷 篤	8	2位	4位	優勝	ブロック2位	出場
07年	19年	23年目	青柳 勉	和田 明人	圓谷 陽	横 隼人	7	2位	3位	優勝	ブロック3位	出場
08年	20年	24年目	青柳 勉	和田 明人	大橋 厚太	丹木健一郎	2	3位	優勝	優勝	ブロック2位	ベスト16
09年	21年	25年目	青柳 勉	和田 明人	原田 晃樹	丹木健一郎	8	優勝	優勝	優勝	ブロック1位	ベスト16
10年	22年	26年目	青柳 勉	和田 明人	赤坂英太郎	角田 光宏	0	2位	2位	2回戦敗退	ブロック2位	出場
11年	23年	27年目	青柳 勉	和田 明人	関口 秀	奥崎 健人	7	3位	3位	中止	ブロック2位	
12年	24年	28年目	青柳 勉	和田 明人	山崎 大輔	奥崎 健人	7	3位	準優勝	準優勝	ブロック優勝	一回戦敗退
13年	25年	29年目	和田 明人	千葉 伸彦	高橋 亮太	豊崎 大介	1	優勝	準優勝	3位	ブロック2位	一回戦敗退
14年	26年	30年目	和田 明人	千葉 伸彦	大野 貴之	豊崎 大介	8	準優勝	3位	優勝	ブロック1位	一回戦敗退
15年	27年	31年目	和田 明人	千葉 伸彦	相田 英貴	影山 陽大	6	3位	3位	準優勝	ブロック1位	一回戦敗退
16年	28年	32年目	和田 明人	千葉 伸彦	谷藤 雄大	畠山 航	7	優勝	優勝	優勝	ブロック2位	一回戦敗退

男子ハンドボール部（前身は同好会。昭和59年に卒業生2人あり。同63年に加盟）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	リーグ戦春	同 秋	東北総体	東日本選手権	全日本選手権
17年	29年	33年目	和田 明人	千葉 伸彦	小原 遼大	橋本 大和	7	優勝	準優勝	3回戦敗退	ブロック2位	
18年	30年	34年目	和田 明人	千葉 伸彦	高橋 海晴	橋本 大和	2	準優勝	準優勝	2回戦敗退	ブロック2位	
19年	令和元年	35年目	和田 明人	千葉 伸彦	羽場 大地	渡邊 一希	4	準優勝	3位		ブロック2位	
20年	2年	36年目	和田 明人	千葉 伸彦	佐藤 海大	半谷 慧太	9	(すべて中止)				
21年	3年	37年目	和田 明人	千葉 伸彦	村上裕次郎	半谷 慧太	0	3位	中止		出場	ベスト16
22年	4年	38年目	千葉 伸彦	影山 陽大	立花 佑太	半谷 慧太	7	準優勝	準優勝		ブロック2位	一回戦敗退
23年	5年	39年目	千葉 伸彦	影山 陽大	岡部 颯	坪谷 光	2	4位	3位		ブロック2位	
24年	6年	40年目	千葉 伸彦	影山 陽大	櫻井 一成	岩淵 大和	5	準優勝	優勝		ブロック2位	1回戦敗退
							計 207					

女子ハンドボール部（昭和61年に加盟。それ以前は同好会）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	リーグ戦春	同 秋	東北総体	東北学生選手権	東日本選手権*	全日本
1981年	昭和56年	1年目	渡辺 秀彦	山路 康男	中村 純子		0						
82年	57年	2年目	渡辺 秀彦	山路 康男	中村 純子		0						
83年	58年	3年目	鈴木 智彦	山路 康男	中村 純子		0						
84年	59年	4年目	鈴木 智彦	山路 康男	中村 純子		4						
85年	60年	5年目	鈴木 智彦	山路 康男	本間久美子		1						
86年	61年	6年目	鈴木 智彦	山路 康男	葛巻 睦子	武者 真理	4						
87年	62年	7年目	鈴木 智彦	山路 康男	沼澤 央枝	三浦 育子	3		優勝			予選敗退	1 回戦敗退
88年	63年	8年目	鈴木 智彦	山路 康男	阿部 真実	山口智恵子	4	優勝	優勝			予選敗退	1 回戦敗退
89年	平成元年	9年目	鈴木 智彦	山路 康男	神尾 純子	佐々木悦子	3	優勝	優勝			予選敗退	1 回戦敗退
90年	2年	10年目	鈴木 智彦	山路 康男	中井 恭子	森屋 純子	3	優勝	優勝			予選敗退	1 回戦敗退
91年	3年	11年目	鈴木 智彦	山路 康男	伊原 美和	松山 由紀	7	優勝	優勝			予選敗退	1 回戦敗退
92年	4年	12年目	鈴木 智彦	山路 康男	木下 陽子	伴野 圭子	7	優勝	優勝			予選敗退	1 回戦敗退
93年	5年	13年目	鈴木 智彦	山路 康男	大島 美恵	桜井 恵美	8	優勝	優勝			予選敗退	1 回戦敗退
94年	6年	14年目	鈴木 智彦	山路 康男	星川生恵子	小野寺 彩	6	優勝	優勝			予選敗退	1 回戦敗退
95年	7年	15年目	鈴木 智彦	山路 康男	沼倉 恵美	志賀 友美	4	優勝	優勝			予選敗退	1 回戦敗退
96年	8年	16年目	鈴木 智彦	山路 康男	石田 朋子	赤澤 真樹	3	優勝	優勝			ベスト8	1 回戦敗退
97年	9年	17年目	鈴木 智彦	山路 康男	石川 和美	深田 寿江	4	優勝	優勝			ベスト8	2 回戦敗退
98年	10年	18年目	鈴木 智彦	山路 康男	川口有美子	松本美美子	8	優勝	優勝	優勝		ベスト8	2 回戦敗退
99年	11年	19年目	鈴木 智彦	山路 康男	高山 尚子	松本美美子	6	優勝	準優勝	優勝		ベスト8	1 回戦敗退
2000年	12年	20年目	鈴木 智彦	渡辺 信英	田村 志穂	松原 里奈	3	優勝	優勝	優勝		ベスト8	2 回戦敗退
01年	13年	21年目	鈴木 智彦	渡辺 信英	田村真理子	佐々木美子	8	優勝	優勝	優勝		ベスト8	2 回戦敗退
02年	14年	22年目	鈴木 智彦	渡辺 信英	小野 書子	大柴加奈子	5	優勝	優勝	優勝		ベスト8	1 回戦敗退
03年	15年	23年目	鈴木 智彦	渡辺 信英	庄内 美友	半澤 智子	6	優勝	優勝	優勝		ベスト8	2 回戦敗退
04年	16年	24年目	鈴木 智彦	駒野 真司	花井咲有理	半澤 智子	9	優勝	優勝	優勝		(ブロック)優勝	2 回戦敗退
05年	17年	25年目	鈴木 智彦	駒野 真司	及川まり子	高橋 祐子	6	優勝	優勝	準優勝		(ブロック)優勝	2 回戦敗退
06年	18年	26年目	鈴木 智彦	駒野 真司	佐藤あゆみ	平塚 夏実	11	優勝	準優勝			(ブロック)優勝	2 回戦敗退
07年	19年	27年目	鈴木 智彦	駒野 真司	池田 沙織	大内 寛子	4	優勝	優勝			(ブロック)優勝	1 回戦敗退
08年	20年	28年目	鈴木 智彦	駒野 真司	佐藤 寛子	片山 由依	4	準優勝	準優勝			3 位	1 回戦敗退
09年	21年	29年目	鈴木 智彦	鈴木 智彦	畑村 彩	片山 由依	6	準優勝	準優勝			ブロック 2 位	1 回戦敗退
10年	22年	30年目	鈴木 智彦	鈴木 智彦	駒屋 郁乃	片山 由依	7	3 位	準優勝				1 回戦敗退
11年	23年	31年目	鈴木 智彦	鈴木 智彦	中村ひとみ	町屋 佑子	7	優勝	準優勝			ブロック優勝	1 回戦敗退
12年	24年	32年目	青柳 勉	駒野 真司	菅野 絢香	町屋 佑子	5	準優勝	準優勝			ブロック 2 位	1 回戦敗退
13年	25年	33年目	青柳 勉	駒野 真司	鈴木 千琴	鹿原 花純	4	優勝	優勝			ブロック優勝	2 回戦敗退

女子ハンドボール部（昭和61年に加盟。それ以前は同好会）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	リーグ戦春	同 秋	東北総体	東北学生選手権	東日本選手権*	全日本
14年	26年	34年目	青柳 勉	駒野 真司	針生 華奈	鹿原 花純	2	準優勝	準優勝			ブロック2位	2回戦敗退
15年	27年	35年目	青柳 勉	駒野 真司	三上 慎唯	牧野 結葵	3	準優勝	準優勝			ブロック2位	1回戦敗退
16年	28年	36年目	青柳 勉	齋藤 昌宏	飯島可奈子	牧野 結葵	7	Aリーグ2位	Aリーグ2位			ブロック2位	1回戦敗退
17年	29年	37年目	青柳 勉	佐藤あゆみ	鈴木あゆみ	佐々木優衣	5	Aリーグ2位	Aリーグ3位			ブロック優勝	2回戦敗退
18年	30年	38年目	斎藤 昌宏	千葉 伸彦	伊藤 佳奈	佐々木優衣	4	Aリーグ2位	Aリーグ2位			ブロック優勝	1回戦敗退
19年	令和元年	39年目	斎藤 昌宏	千葉 伸彦	芦名 桜	田母神千夏	4	Aリーグ2位	Aリーグ1位			ブロック2位	2回戦敗退
20年	2年	40年目	斎藤 昌宏	千葉 伸彦	佐藤あずさ	村上 真優	3	(中止)	Aリーグ1位			(中止)	(中止)
21年	3年	41年目	斎藤 昌宏	千葉 伸彦	大友 美怜	村上 真優	2	リーグ2位	中止			ブロック優勝	1回戦敗退
22年	4年	42年目	斎藤 昌宏	千葉 伸彦	加藤 杏菜	柿崎 花純	3	優勝	準優勝		優勝	ブロック優勝	1回戦敗退
23年	5年	43年目	斎藤 昌宏	千葉 伸彦	彩乃 庄子	柳原ひとゑ	1	優勝	準優勝			ブロック優勝	1回戦敗退
24年	6年	44年目	斎藤 昌宏	千葉 伸彦	松田帆乃佳	柳原ひとゑ	2	優勝	準優勝			ブロック2位	1回戦敗退
							計 196						

※ 2004 年度から開催規定が変わり、女子は8チーム（4チーム×2ブロック）の参加でした。
福祉大はbブロック1位になりました。（各ブロック1位が全日本出場権獲得）

水 泳 部 (平成元年に愛好会から部に名称変更。同3年に加盟)

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	男	東北総体	女	男	北部学生	女	全日本
1986年	昭和61年	1年目	菅本 昭夫		田中 孝	大友美香子	0							
87年	62年	2年目	菅本 昭夫		田中 孝	大友美香子	0	3位			4部優勝			
88年	63年	3年目	菅本 昭夫		小林 英明	中村真知子	5	3位	3位	3位	3部3位	2部3位		
89年	平成元年	4年目	菅本 昭夫		坂本 浩司	屋敷 真湖	5	3位	3位	3位	3部準優勝	2部3位		
90年	2年	5年目	菅本 昭夫		長尾 信	酒井 通江	3	3位	準優勝	準優勝	3部優勝	2部準優勝		
91年	3年	6年目	菅本 昭夫		長尾 信	戸田 英子	5	3位	優勝	優勝	2部6位	1部6位		
92年	4年	7年目	菅本 昭夫		兵藤 衛	葛岡 正勝	8	3位	準優勝	準優勝	2部6位	1部9位		
93年	5年	8年目	菅本 昭夫		佐藤 智之	小田島久子	7	準優勝	準優勝	準優勝	2部6位	1部6位		
94年	6年	9年目	菅本 昭夫		佐藤 智之	小田島久子	7	3位	準優勝	準優勝	2部6位	1部8位		
95年	7年	10年目	菅本 昭夫		平山 英伸	根田 修	8	優勝	優勝	優勝	2部5位	2部準優勝		
96年	8年	11年目	菅本 昭夫		斎藤 孝弘	根田 修	11	準優勝	3位	3位	2部4位	1部8位		
97年	9年	12年目	菅本 昭夫		坂本 光央	遠藤 瑞穂	9	準優勝	準優勝	準優勝	2部7位	2部優勝		
98年	10年	13年目	菅本 昭夫		佐々木智至	葛岡 香	6	準優勝	優勝	優勝	2部6位	1部9位		
99年	11年	14年目	菅本 昭夫		大原 慎	高橋 淳雄	7	優勝	優勝	優勝	2部準優勝	1部7位		
2000年	12年	15年目	菅本 昭夫	高橋 淳雄	堀井 信博	藤原枝理子	11	優勝	優勝	優勝	2部3位	1部5位	國分七緒子二百背8位 國分七緒子百背6位	
01年	13年	16年目	菅本 昭夫	坂上 剛志	星 直樹	藤原枝理子	8	優勝	優勝	優勝	2部3位	1部8位		
02年	14年	17年目	菅本 昭夫	坂上 剛志	堀井 宏明	原 健太郎	7	優勝	優勝	優勝	2部1位	2部3位		
03年	15年	18年目	菅本 昭夫	坂上 剛志	梶谷幸次郎	中川 峻一	6	優勝	優勝	優勝	1部9位	2部5位		
04年	16年	19年目	菅本 昭夫	坂上 剛志	梅津 亮	金子 優樹	6	優勝	優勝	優勝	2部3位	2部6位		
05年	17年	20年目	菅本 昭夫	坂上 剛志	向山 洋央	畠山 亘	11	準優勝	優勝	優勝	2部2位	2部5位		
06年	18年	21年目	菅本 昭夫	坂上 剛志	畠山 亘	鈴木 智子	6	優勝	優勝	優勝	1部8位	2部6位		
07年	19年	22年目	菅本 昭夫	坂上 剛志	安藤 大悟	越前 悠	8	優勝	優勝	優勝	2部4位	2部8位		
08年	20年	23年目	菅本 昭夫	坂上 剛志	笹森 康寛	越前 悠	6	準優勝	優勝	優勝	男 北部学生 準優勝	女 優勝		
09年	21年	24年目	菅本 昭夫	坂上 剛志	斎藤 良太	長内 佳祐	8	3位	準優勝	準優勝	3位	準優勝		
10年	22年	25年目	菅本 昭夫	坂上 剛志	長内 佳祐	石成 和久	7	3位	準優勝	準優勝	3位	準優勝		
11年	23年	26年目	菅本 昭夫	坂上 剛志	大館健太郎	石成 和久	7	中止	中止	中止	3位	準優勝		
12年	24年	27年目	菅本 昭夫	坂上 剛志	高田 雅人	幸野 祐香	4	3位	優勝	優勝	準優勝	優勝		
13年	25年	28年目	幕内 孝		赤井澤智司	石田 健人	6	準優勝	優勝	優勝	準優勝	優勝		
14年	26年	29年目	幕内 孝		江本 遼	伊藤 雅也	8	準優勝	優勝	優勝	準優勝	準優勝		
15年	27年	30年目	幕内 孝		伊藤 雅也	小池 智大	5	3位	準優勝	準優勝	5位	準優勝		

水 泳 部（平成元年に愛好会から部に名称変更。同3年に加盟）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	男	東北総体	女	男	北部学生	女	全日本
16年	28年	31年目	幕内 孝		阿部 悠太	近藤 璃奈	3	準優勝	3位		6位	7位		
17年	29年	32年目	幕内 孝		渡邊 優	浅利 優太	4	3位	中止		4位	7位		
18年	30年	33年目	幕内 孝		神賀 滉	浅利 優太	1	準優勝	4位		5位	5位		
19年	令和元年	34年目	幕内 孝		峯田 佳知	佐藤 彩音	3	4位	4位		6位	5位		予選敗退
20年	2年	35年目	幕内 孝		上原 蓮	五内川創太	1	(すべて中止)						
21年	3年	36年目	幕内 孝		今 黎矢	齋藤 小梅	5	(すべて中止)						
22年	4年	37年目	幕内 孝		今 黎矢	齋藤 小梅	7	4位	3位		4位	3位		予選敗退
23年	5年	38年目	幕内 孝	清水石 寛	宮 輪太郎	中村 柚希	8	4位	3位		4位	4位		2名出場予選敗退
24年	6年	39年目	幕内 孝	清水石 寛	小堺虎太郎	中村 柚希	3	4位	2位		4位	4位		3名出場
							計 230							

ゴルフ部 (前身はゴルフサークル、平成3年に名義加盟し、同11年に加盟)

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	所属	男	全日本対抗	女	男	信夫杯争奪	女
1989年	平成元年	1年目	大竹 榮	阿部 靖彦			0							
90年	2年	2年目	大竹 榮	阿部 靖彦	藤田 雅也		0	関東 G						
91年	3年	3年目	大竹 榮	阿部 靖彦	飯野 渉	簡井 聖	1	関東 F						
92年	4年	4年目	大竹 榮	阿部 靖彦	飯野 渉	簡井 聖	6	関東 D						
93年	5年	5年目	大竹 榮	阿部 靖彦	菊地 秀寿	宮村 秀幸	6	関東 B				4位		
94年	6年	6年目	大竹 榮	阿部 靖彦	若生 将志	渡邊祐一郎	5	関東 A				13位		
95年	7年	7年目	大竹 榮	阿部 靖彦	梶井 亮介	今井 康博	10	関東 A				5位		
96年	8年	8年目	大竹 榮	阿部 靖彦	大友 正幸	久保田浩二	15	関東 A				4位		
97年	9年	9年目	大竹 榮	阿部 靖彦	新井 竜也	増子 譲	16	関東 A	準優勝			準優勝		
98年	10年	10年目	大竹 榮	阿部 靖彦	大野 良徳	竹沢 学	14	関東 A	優勝			優勝		
99年	11年	11年目	大竹 榮	阿部 靖彦	星野 英正	高橋 潤	17	関東 A	優勝	6位		優勝	5位	
2000年	12年	12年目	大竹 榮	阿部 靖彦	谷原 秀人	永井 完治	20	関東 A	優勝	準優勝		優勝	優勝	
01年	13年	13年目	大竹 榮	阿部 靖彦	大塚 泰三	佐藤 賢和	16	関東 A	準優勝	3位		準優勝	準優勝	
02年	14年	14年目	大竹 榮	阿部 靖彦	宮里 優作	佐藤 賢和	10	関東 A	優勝	優勝		優勝	準優勝	
03年	15年	15年目	大竹 榮	阿部 靖彦	藤島 豊和	大上 寿	22	関東 A	優勝	優勝		優勝	優勝	
04年	16年	16年目	大竹 榮	阿部 靖彦	権 奇澤	和田 朗	16	関東 A	優勝	優勝		大会中止	大会中止	
05年	17年	17年目	大竹 榮	阿部 靖彦	藤島 晴雄	花山 大輔	11	関東 A	優勝	優勝		優勝	優勝	
06年	18年	18年目	大竹 榮	阿部 靖彦	藤島 征次	花山 大輔	9	関東 A	優勝	優勝		優勝	準優勝	
07年	19年	19年目	大竹 榮	阿部 靖彦	池田 勇太	井上項音士	15	関東 A	3位	6位		優勝	8位	
08年	20年	20年目	大竹 榮	阿部 靖彦	安本 大祐	内田 卓弥	8	関東 A	優勝	9位		優勝	5位	
09年	21年	21年目	大竹 榮	阿部 靖彦	岡部 大輔	内田 卓弥	9	関東 A	準優勝	5位		大会中止	大会中止	
10年	22年	22年目	大竹 榮	阿部 靖彦	松岡 勇作	江上 莉奈	11	関東 A	準優勝	準優勝		優勝	準優勝	
11年	23年	23年目	大竹 榮	阿部 靖彦	藤本 佳則	江上 莉奈	13	関東 A	優勝	準優勝		優勝	優勝	
12年	24年	24年目	大竹 榮	阿部 靖彦	塩見 好輝	西山 茜菜	12	関東 A	優勝	準優勝		優勝	優勝	
13年	25年	25年目	大竹 榮	阿部 靖彦	松山 英樹	西山 茜菜	17	関東 A	3位	優勝		準優勝	優勝	
14年	26年	26年目	大竹 榮	阿部 靖彦	吉田 幸希	山川 修主	18	関東 A	優勝	4位		優勝	準優勝	
15年	27年	27年目	大竹 榮	阿部 靖彦	佐藤 大平	植竹 勇太	14	関東 A	3位	準優勝		準優勝	不出場	
16年	28年	28年目	大竹 榮	阿部 靖彦	小西 健太 高久あずさ	植竹 勇太 石井 友梨	20	関東 A	優勝	3位		準優勝	優勝	
17年	29年	29年目	大竹 榮	阿部 靖彦	佐藤 太地 下室 舞弥	山下 将司 石井 友梨	12	関東 A	優勝	優勝		準優勝	準優勝	
18年	30年	30年目	大竹 榮	阿部 靖彦	岡村 了 高久ゆうな	上松 佑平 松浦 美侑	14	関東 A	優勝	優勝		優勝	優勝	

ゴルフ部（前身はゴルフサークル、平成3年に名義加盟し、同11年に加盟）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	所属	男 全日本対抗	女	男 信夫杯争奪	女
19年	令和元年	31年目	大竹 榮	阿部 靖彦	関 将太 樋口 璃乃	上松 佑平 松浦 美侑	12		準優勝	4位	優勝	準優勝
20年	2年	32年目	阿部 靖彦	阿部 靖彦	金谷 拓実 上松 佑平	小西 瑞穂 松浦 美侑	9		優勝	4位	(中止)	
21年	3年	33年目	阿部 靖彦	阿部 靖彦	米澤 蓮 上松 佑平	向井 七海 和田 優歩	16	関東 A	優勝	優勝	優勝	優勝
22年	4年	34年目	阿部 靖彦	阿部 靖彦	蛭川 泰果 倉林 大聖	木内 真衣 内田 夢乃	13	関東 A	優勝	優勝	準優勝	準優勝
23年	5年	35年目	阿部 靖彦	阿部 靖彦	岡田 晃平 佐藤 美優	柿沼 琥珀 斎藤 彩絵	19	関東 A	3位	優勝	準優勝	3位
24年	6年	36年	阿部 靖彦	阿部 靖彦	唐下 明徒 橋本 美月	柿沼 琥珀 斎藤 彩絵	11	関東 A	2位	2位		
							計 437					

軟式野球部 (平成 11 年に名義加盟、同 17 年に加盟)

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	東北大会	全日本	東日本*	選抜大会
1989 年	平成元年	1 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	佐々木智彦	大友 英孝	9				
90 年	2 年	2 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	黒沢 誠	大友 英孝	4				
91 年	3 年	3 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	浜田 真吾	大友 英孝	10				
92 年	4 年	4 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	永友 仁	大友 英孝	6	優勝	準優勝	3 位	
93 年	5 年	5 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	今井 賢知	土橋 照好	9	優勝	優勝	2 回戦	
94 年	6 年	6 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	安井 知之	藤井 学	14	優勝	3 位	ベスト 8	
95 年	7 年	7 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	松下大志明	齋藤 睦	11	優勝	ベスト 8		
96 年	8 年	8 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	鹿又 源州	武田 英俊	14	優勝	準優勝		
97 年	9 年	9 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	秋元 伸隆	武田 英俊	21	優勝	ベスト 8		
98 年	10 年	10 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	鈴木 賢	小林 勝行	19	優勝	ベスト 8		
99 年	11 年	11 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	森内 嘉則	富樫 純平	16	優勝	4 位	1 回戦	
2000 年	12 年	12 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	神原 伸吾	谷 哲文	11	準優勝			
01 年	13 年	13 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	永山 久志	柳瀬 高裕	8	優勝	2 回戦	1 回戦	
02 年	14 年	14 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	荒井 基光	柳瀬 高裕	6	準優勝		1 回戦	
03 年	15 年	15 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	大山 重隆	土屋みさえ	7	準優勝			
04 年	16 年	16 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	根来 奉典	土屋みさえ	5	準優勝			
05 年	17 年	17 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	石井 聖	神山 美穂	4	優勝	1 回戦		
06 年	18 年	18 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	佐々木大輔	吉田絵梨子	5	優勝	2 回戦	1 回戦	
07 年	19 年	19 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	佐々木大輔	吉田絵梨子	5	準優勝	2 回戦	3 回戦	
08 年	20 年	20 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	鈴木裕次朗	菅原 舞	11	優勝	2 回戦	1 回戦	
09 年	21 年	21 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	田巻 正嵩	吉澤 優	6	優勝	1 回戦		
10 年	22 年	22 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	吉田 研吾	吉澤 優	8	優勝		準優勝	
11 年	23 年	23 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	樋山 大生	柴田 裕哉	6	ベスト 8			
12 年	24 年	24 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	鈴木 雄太	狩野 杏佳	7	優勝	準優勝	1 回戦	
13 年	25 年	25 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	鈴木 雄太	狩野 杏佳	15	優勝	優勝	2 回戦	
14 年	26 年	26 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	板垣 健司	高嶋 玲奈	8	ベスト 4	出場なし	準優勝	
15 年	27 年	27 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	小畑 賢人	佐藤 真由	2	ベスト 4	出場なし	ベスト 8	
16 年	28 年	28 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	小笠原理貴	佐藤 真由	3	優勝	1 回戦	2 回戦	
17 年	29 年	29 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	奥田 祐平	吉田菜々子	6	優勝	1 回戦	1 回戦	
18 年	30 年	30 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	吉澤 輝樹	吉田菜々子	14	優勝	優勝	優勝	
19 年	令和元年	31 年目	大竹 榮	阿部 靖彦	大友 新太	井澤亜里紗	9	優勝	ベスト 8	出場なし	
20 年	2 年	32 年目	阿部 靖彦	阿部 靖彦	西岡俊之介	井澤亜里紗	13	ベスト 4	(中止)		

軟式野球部（平成11年に名義加盟、同17年に加盟）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	東北大会	全日本	東日本*	選抜大会
21年	3年	33年目	阿部 靖彦	阿部 靖彦	高橋 良平	井澤亜里紗	7	優勝	2回戦		出場なし
22年	4年	34年目	阿部 靖彦	阿部 靖彦	小野寺広夢	山本 彩乃	5	準優勝	出場なし		2回戦
23年	5年	35年目	阿部 靖彦	阿部 靖彦	栗飯原虎之介	山本 彩乃	18	優勝	出場		
24年	6年	36年目	阿部 靖彦	山内 純護	栗飯原虎之介	水本 華蓮	12	優勝	2回戦		2回戦
							計 334				

* 令和3年より東日本大会廃止。→全日本大学軟式野球選抜大会

アイヌホッケ部（平成10年に部として名義加盟、同17年に加盟）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	宮城リーグ戦	東北大会	インカレ
1998年	平成10年	1年目	千葉 幸喜	吉田 孝	渡辺 伸彦	長濱麻由子	0	3位		
99年	11年	2年目	千葉 幸喜	吉田 孝	渡辺 伸彦	長濱麻由子	0	優勝	3位	予選3位
2000年	12年	3年目	千葉 幸喜	吉田 孝	渡辺 伸彦	長濱麻由子	0	優勝	優勝	1回戦敗退
01年	13年	4年目	千葉 幸喜	吉田 孝	渡辺 伸彦	梶原 研哉	5	優勝	優勝	ベスト 8
02年	14年	5年目	千葉 幸喜	吉田 孝	梶原 研哉	土屋 賢介	7	優勝	優勝	1回戦敗退
03年	15年	6年目	千葉 幸喜	吉田 孝	土屋 賢介	伊藤 慶洋	2	優勝	3位	
04年	16年	7年目	千葉 幸喜	吉田 孝	高瀬 博司	高橋 孝多	4	優勝	優勝	ベスト16
05年	17年	8年目	千葉 幸喜	吉田 孝	坂本 恵介	松尾 弘美	0	優勝	3位	
06年	18年	9年目	千葉 幸喜	吉田 孝	伊藤 竜太	松尾 弘美	6	優勝	準優勝	
07年	19年	10年目	吉田 孝	吉田 孝	藤井 拓美	松尾 弘美	4	準優勝	優勝	
08年	20年	11年目	吉田 孝	渡辺 伸彦	古川 洋	中村 和平	1	準優勝	優勝	出場
09年	21年	12年目	吉田 孝	渡辺 伸彦	島田 信吾	今藤 裕希	7	優勝	優勝	ベスト16
10年	22年	13年目	吉田 孝	渡辺 伸彦	今藤 裕希	柿沼 優太	4	3位	優勝	出場
11年	23年	14年目	吉田 孝	渡辺 伸彦	豊川 直樹	大橋 亮介	5	3位	準優勝	出場
12年	24年	15年目	門馬 和光	渡辺 伸彦	大橋 亮介	渡辺 翔伊	4	3位	4位	出場権なし
13年	25年	16年目	門馬 和光	渡辺 伸彦	佐々木恭介	渡邊 真史	3	同率2位	4位	出場権なし
14年	26年	17年目	門馬 和光	渡辺 伸彦	渡邊 真史	高橋 寛司	2	4位	4位	出場権なし
15年	27年	18年目	門馬 和光	渡辺 伸彦	高橋 寛司	石橋 嶺太	4	4位	準優勝	出場
16年	28年	19年目	門馬 和光	渡辺 伸彦	高橋 信博	石橋 嶺太	3	4位	4位	出場権なし
17年	29年	20年目	門馬 和光	渡辺 伸彦	佐々木優武	大瀧 伶奈	4	5位	4位	出場権なし
18年	30年	21年目	門馬 和光	門馬 利光	斉藤 雅人	前田 彩花	5	4位	4位	出場権なし
19年	令和元年	22年目	門馬 和光	門馬 利光	高橋リック	大瀧 伶奈	11	3位	3位	1回戦敗退
20年	2年	23年目	門馬 和光	今村雄太朗	牛尾 七海	安東 希	1	5位	3位	中止
21年	3年	24年目	門馬 和光	今村雄太朗	三浦悠太郎	松本 玲奈	4	5位	4位	なし
22年	4年	25年目	門馬 和光	今村雄太朗	那須野留唯	宮腰真里江	1	5位	4位	なし
23年	5年	26年目	門馬 和光	今村雄太朗	深田 真治	宮腰真里江	4	5位	5位	2nd 準優勝
24年	6年	27年目	門馬 和光	今村雄太朗	後村 大輔	高橋 満央	7	5位	4位	2nd 優勝
							計 98			

女子ソフトボール部（前身は同好会。平成13年に部になり、名義加盟、同17年に加盟）

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	東北大会	東日本大会	全日本	全日本大学
1997年	平成9年	1年目	上岡 良一	菊地 昌昭	天堤美由紀	小松 真希	0				
98年	10年	2年目	上岡 良一	菊地 昌昭	天堤美由紀	小松 真希	3				
99年	11年	3年目	上岡 良一	菊地 昌昭	内出みちる	岡本 典子	3				
2000年	12年	4年目	上岡 良一	菊地 昌昭	内藤 真紀	松本百合子	3				
01年	13年	5年目	上岡 良一	菊地 昌昭	佐藤咲南江	横田 律子	3	2位			
02年	14年	6年目	上岡 良一	舟山 健一	高橋 真美	塩川 聡子	3	2位	ベスト16	1回戦敗退	
03年	15年	7年目	上岡 良一	舟山 健一	近江 有理	塩川 聡子	0	優勝	準優勝		1回戦敗退
04年	16年	8年目	上岡 良一	舟山 健一	村中 梢	関根 加織	2	準優勝	準優勝	1回戦敗退	1回戦敗退
05年	17年	9年目	舟山 健一	舟山 健一	村中 梢	関根 加織	10	優勝	優勝		優勝
06年	18年	10年目	千葉 幸喜	舟山 健一	新山亜也子	鈴木むつみ	8	準優勝	優勝		ベスト8
07年	19年	11年目	千葉 幸喜	舟山 健一	村中 梢	鈴木むつみ	6	優勝	ベスト8		3位
08年	20年	12年目	千葉 幸喜	舟山 健一	加藤 恵理	五十嵐恭子	13	優勝	第3位	1回戦敗退	優勝
09年	21年	13年目	千葉 幸喜	舟山 健一	増田奈津美	松井絵理奈	17	優勝	優勝	2回戦敗退	優勝
10年	22年	14年目	千葉 幸喜	舟山 健一	井上 愛	松井絵里奈	9	優勝	第3位		3位
11年	23年	15年目	千葉 幸喜	舟山 健一	小林 杏奈	本田久美子	5	準優勝	ベスト8	1回戦敗退	ベスト16
12年	24年	16年目	千葉 幸喜	舟山 健一	酒井 梨花	本田久美子	12	優勝	1回戦敗退	1回戦敗退	ベスト16
13年	25年	17年目	千葉 幸喜	舟山 健一	小泉ちづか	加藤 奈央	13	優勝	3位	回戦敗退	ベスト16
14年	26年	18年目	千葉 幸喜	舟山 健一	池田 唯	櫻井 美江	10	優勝	ベスト16	1回戦敗退	1回戦敗退
15年	27年	19年目	千葉 幸喜	舟山 健一	岩上 加歩	坂本 彩	10	準優勝	ベスト16	2回戦敗退	1回戦敗退
16年	28年	20年目	千葉 幸喜	舟山 健一	館野なつみ	秋野 唯	9	優勝	ベスト16	1回戦敗退	2回戦敗退
17年	29年	21年目	千葉 幸喜	舟山 健一	和島野乃香	堀口 理未	3	準優勝	ベスト8	1回戦敗退	1回戦敗退
18年	30年	22年目	千葉 幸喜	舟山 健一	山下 真穂	三浦 愛佳	8	準優勝	1回戦敗退	1回戦敗退	3位
19年	令和元年	23年目	千葉 幸喜	舟山 健一	保坂 鼓	阿部 綾乃	2	優勝	ベスト8	1回戦敗退	1回戦敗退
20年	2年	24年目	千葉 幸喜	舟山 健一	早坂 瑞希	印南 若奈	4	準優勝		(中止)	
21年	3年	25年目	千葉 幸喜	舟山 健一	南 重子	印南 若奈	11	準優勝	第3位	1回戦敗退	2回戦敗退
22年	4年	26年目	千葉 幸喜	舟山 健一	門脇 杏実	岩松 真白	10	優勝	1回戦敗退	1回戦敗退	準優勝
23年	5年	27年目	千葉 幸喜	舟山 健一	上原 千風	横江 美咲	10	優勝	ベスト8	1回戦敗退	ベスト8
24年	6年	28年目	長谷川 潔	舟山 健一	三橋 愛葉	松本 芽生	2	優勝	ベスト16	1回戦敗退	1回戦敗退
							計189				

空手道部 (平成 24 年体育会加盟)

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	男 東北総体	女	男 東北選手権	女	男 東日本	女	男 全日本	女
2012 年	平成 24 年	1 年目	石澤 優紀	阿部 晋二	田中 覚	高橋 将史	5	優勝	優勝	準優勝	準優勝	2 回戦	2 回戦	2 回戦	1 回戦
13 年	25 年	2 年目	石澤 優紀	阿部 晋二	瀬谷 龍介	佐々木杏菜	4	優勝	準優勝	優勝	優勝	1 回戦	2 回戦	2 回戦	2 回戦
14 年	26 年	3 年目	石澤 優紀	阿部 晋二	我妻 昂	浅田 紗希	3	優勝	優勝	優勝	優勝	1 回戦	2 回戦	1 回戦	2 回戦
15 年	27 年	4 年目	石澤 優紀	阿部 晋二	石川 麻実	細貝亜沙海	1	準優勝	優勝	優勝	優勝	2 回戦	2 回戦	1 回戦	2 回戦
16 年	28 年	5 年目	石澤 優紀	阿部 晋二	石本 佳祐	細貝亜沙海	6	準優勝	優勝	優勝	優勝	2 回戦	2 回戦	2 回戦	2 回戦
17 年	29 年	6 年目	石澤 優紀	阿部 晋二	高橋 直弥	大須賀 光	2	優勝	優勝	3 位	優勝	1 回戦	1 回戦	1 回戦	1 回戦
18 年	30 年	7 年目	石澤 優紀	阿部 晋二	高橋 千春	大須賀 光	3	優勝	優勝	準優勝	優勝	2 回戦	2 回戦	1 回戦	1 回戦
19 年	令和元年	8 年目	石澤 優紀	阿部 晋二	佐藤 湧紀	大泉 そよ	5	3 位	優勝	優勝	優勝	2 回戦	3 回戦	2 回戦	2 回戦
20 年	2 年	9 年目	石澤 優紀	阿部 晋二	鈴木 渉平	高桑 勇也	6	(すべて中止)							
21 年	3 年	10 年目	石澤 優紀	阿部 晋二	前田 祐也	渡邊 美咲	7	中止	中止	優勝	優勝	中止	中止	2 回戦	2 回戦
22 年	4 年	11 年目	石澤 優紀	阿部 晋二	千葉 輝	渡邊 美咲	6	中止	中止	準優勝	優勝	1 回戦	1 回戦	1 回戦	2 回戦
23 年	5 年	12 年目	石澤 優紀	阿部 晋二	阿久津龍司	佐藤 澄奈	6	優勝	優勝	優勝	優勝	2 回戦	1 回戦	1 回戦	2 回戦
24 年	6 年	13 年目	石澤 優紀	阿部 晋二	相澤 烈夏	佐藤 澄奈	6	優勝	優勝	優勝	優勝	1 回戦	2 回戦	1 回戦	1 回戦
							計 54								

テコンドー部

西暦	元号	年数	歴代部長	歴代監督	歴代主将	歴代主務	卒業人数	全日本学生	全日本選手権
23年	5年	1年目	阿部 靖彦	相原 儀雅	岡崎 陽向		0	46 kg 優勝	49 kg 優勝
24年	6年	2年目	阿部 靖彦	相原 儀雅	岡崎 陽向		0	46 kg 優勝	49 kg 優勝
							計 0		

令和 7 年 3 月 31 日発行

発行者 東北福祉大学体育会

編集者 東北福祉大学体育会常任幹事会
仙台市青葉区国見一丁目 8 番 1 号
TEL (022) 233-3111 (代)

印刷 笹氣出版印刷株式会社
TEL (022) 288-5555